

市川市の図書館

2019



市川市立図書館

はじめに

市川市の図書館は昭和 25 年に市立市川小学校内に設置されたのを嚆矢とし、60 年を超える歴史を刻んでまいりました。昭和 32 年には葛飾八幡宮境内に初めて独立した図書館が設置され、読書会の育成や独自の件名配架、青少年を対象とした少年室など、先駆的かつ本格的な公立図書館サービスを開始しました。その後、自動車図書館による巡回サービスや、行徳、信篤、南行徳の各図書館、平田図書室の整備を経て、平成 6 年には市民の念願であった中央図書館が建設され、地域図書館の支援や、新時代に対応する図書館サービスを展開してまいりました。平成 21 年には指定管理者制度を導入し、J R 市川駅に直結する再開発ビル内に市川駅南口図書館を設置しました。

このほかにも小学校内に設置された市民図書室や公民館図書室、男女共同参画センターや情報プラザなどの図書館関連施設との連携、市内の大学図書館との相互利用や相互貸借、また民間事業者にもご協力いただきながら返却ポストを市内 12 個所に設置するなど、利便性の向上に努めてまいりました。

平成 30 年度は、平成 23 年より稼動している図書館システムを 7 年ぶりに更新することができました。これにより、座席管理システム・デジタルサイネージ・書庫出納管理システムなどを新たに導入し、より一層のサービスの充実が図られました。

また、平成 31 年度の中央図書館での I C 機器導入を目指して立ち上げたプロジェクトチームも本格的な活動を行い、検討を重ねてきております。

さらに、大野公民館図書室に続き、西部公民館図書室でも資料をバーコード化し、蔵書管理・利用者登録等を図書館システムに一元化することで、市北部地域への図書館サービスの拡充を進めております。

その他、地域や行政各部門と連携した企画展示やイベントを展開するなど、図書館の利用普及にも努めてまいりました。

今後も本市図書館は図書館法に規定された各種サービスを着実にを行うとともに、時代のニーズに応じて行くための新たな取り組みも積極的に実施してまいりますので、皆様には更なるご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和 2 年 1 月
市川市中央図書館
館長 大里 宗行

目 次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・1	(11) 千葉県の公共図書館サービス指標	・・・47
2. 図書館の基本方針	・・・2	(12) 関連施設統計	・・・48
3. 図書館のあゆみ	・・・3	10. 平成30年度事業概要	
4. 図書館組織図・委員会等	・・・7	概況	・・・50
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・9	(1) 資料収集と利用状況	・・・50
6. 施設概要		(2) リクエストサービス	・・・51
(1) 中央図書館 こどもとしゃかん	・・・10	(3) レファレンスサービス	・・・52
①中央図書館フロア案内図	・・・11	(4) 類縁機関との連携	・・・52
②こどもとしゃかんフロア案内図	・・・12	(5) 対象別サービス	・・・54
③生涯学習センター（メディアパーク		①児童サービス	・・・54
市川）フロア案内図	・・・13	②ヤングアダルトサービス	・・・55
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・14	③障がい者サービス（図書館利用に	・・・56
(3) 平田図書室	・・・15	障がいのある利用者へのサービ	
(4) 行徳図書館	・・・16	ス）	
(5) 信篤図書館	・・・17	④外国人利用者へのサービス	・・・56
(6) 南行徳図書館	・・・18	⑤団体へのサービス	・・・57
(7) 市川駅南口図書館	・・・19	(6) 資料別サービス	
(8) 関連施設	・・・23	①地域資料	・・・57
7. 図書館コンピュータシステム	・・・25	②視聴覚資料	・・・58
8. 平成31年度予算	・・・30	(7) 主催事業	・・・58
9. 平成30年度統計		(8) 市川駅南口図書館自主事業	
(1) 蔵書冊数	・・・33	（指定管理館）	・・・65
(1－2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・34	(9) 委員会等	・・・67
(1－3) 蔵書冊数の推移	・・・35	(10) 図書館刊行物	・・・69
(2) 分類別貸出冊数	・・・36	(11) 視察・講師派遣等	・・・70
(2－2) 分野別貸出冊数内訳	・・・37	(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・71
(2－3) 貸出点数の推移	・・・38	(13) 市川市立図書館関係テレビ番組	
(3) 蔵書回転率	・・・39	一覧	・・・72
(4) リクエスト統計	・・・40	11. 市川図書館友の会	・・・73
(5) 登録者集計表	・・・41	12. 新聞・雑誌一覧	
(6) 延べ利用者数の推移	・・・41	(1) 購入雑誌一覧	・・・74
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出		(2) 寄贈雑誌一覧	・・・81
点数の推移	・・・42	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊	・・・83
(8) 受入・除籍冊数	・・・43	行物一覧	
(9) 自動車図書館ステーション別	・・・45	(4) 新聞ほか一覧	・・・86
統計		13. 条例・規則等	・・・87
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・46	14. 資料	・・・110

1. 市川市の概要

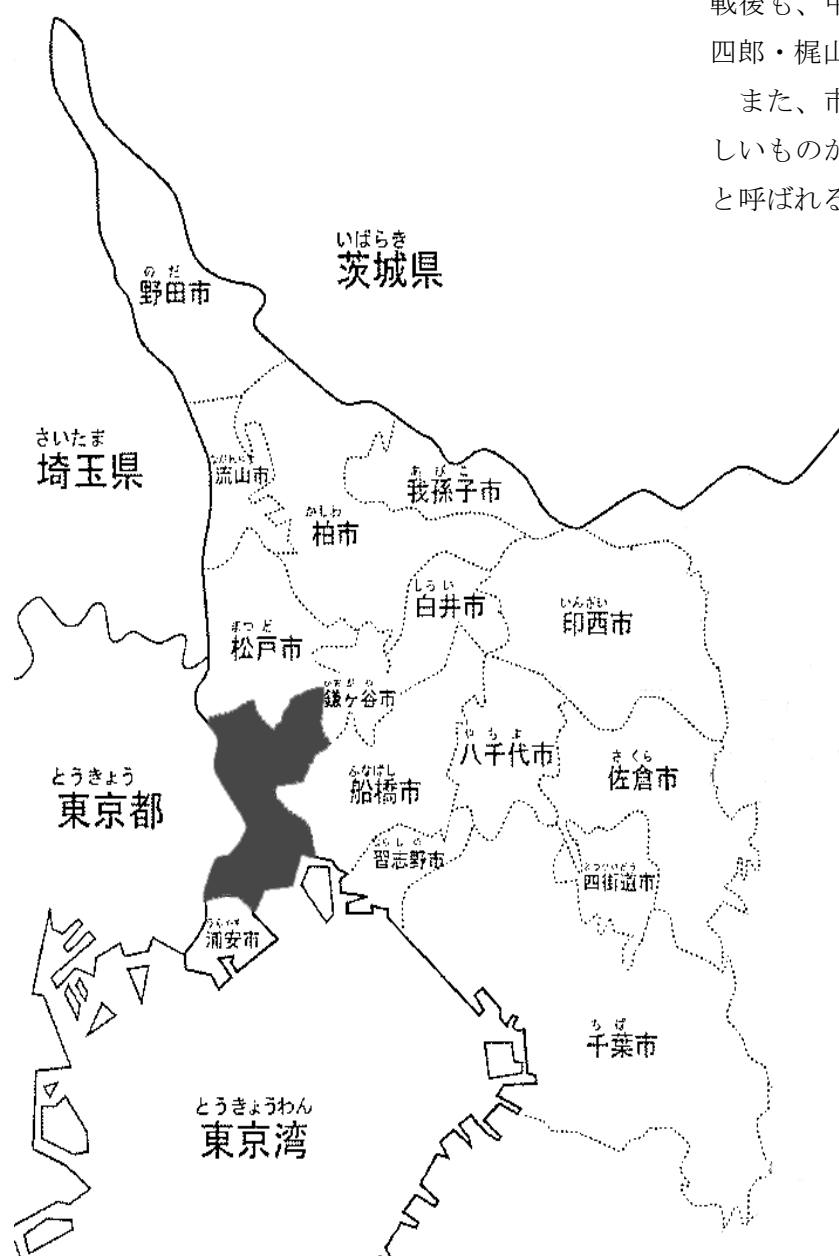
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相對している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50ヶ所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴・東山魁夷・水木洋子・宗左近の終焉の地となった。戦後も、中野孝次・五木寛之・井上ひさし・能村登四郎・梶山俊夫らが住まい、活動の拠点となる。

また、市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



位置 東経 139° 55' 52"
北緯 35° 43' 19"
(市庁舎)

面積 56.39 k m²
東西延長 8.2 k m
南北延長 13.4 k m

人口 488,714人
男 247,809人
女 240,845人
244,974世帯

(住民基本台帳人口
H31.3.31現在)

2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

平成31年度の目標

（１）蔵書の収集と効率的な管理

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づいて、図書館資料の収集と更新を計画的に進めると同時に、ＩＣ機器導入による蔵書管理の効率化をすすめ、利便性の向上や業務の効率化を図る。

（２）市北部地域への図書館サービスの整備

公民館図書室や学校に併設する市民図書室等との連携を行い、市北部地域への図書館サービスの拡充を図る。

（３）子どもの発達に応じた豊かな読書のための環境整備

読み聞かせやブックリストの発行、子どもと本を結びつけるイベントの開催、活字離れを防ぐような読書推進の方策を継続的に行う。

（４）地域文化の保存と継承

地域の文化を後世に伝えるために地域資料を収集し、体系的に整理し保存するとともに、資料の電子化とその効果的な利活用を進める。

（５）接遇対応の向上と市民ニーズへの対応

窓口、電話、ホームページ等での案内をわかりやすく標準化し、サービスマニュアルの更新と整備を行うことで、クレームの件数軽減に努めると同時に、業務改善につなげる。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年開始（～平成5年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～）

平成 6 年	10月	コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1 階に開館（1 日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7 年	9 月	中央図書館第1 回リサイクルブック市開催（10日試行、第2 回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8 年	3 月	市川市読書会連絡協議会解散
	4 月	小倉勸図書館長に就任
9 年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1 月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4 月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
	5 月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
10年	9 月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
	4 月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4 月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6 月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
12年	1 月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8 月	第1 みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4 市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2 公民館図書室（大野、西部）に 図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	13年 3 月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
	4 月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
14年	3 月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
	4 月	漆原利一図書館長に就任
		中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5 月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9 月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
15年	3 月	第2 みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4 月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
	6 月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7 月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 CTI サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8 月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼動開始
	16年 4 月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6 月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	17年 4 月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
	7 月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始
		曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
	10月	千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館

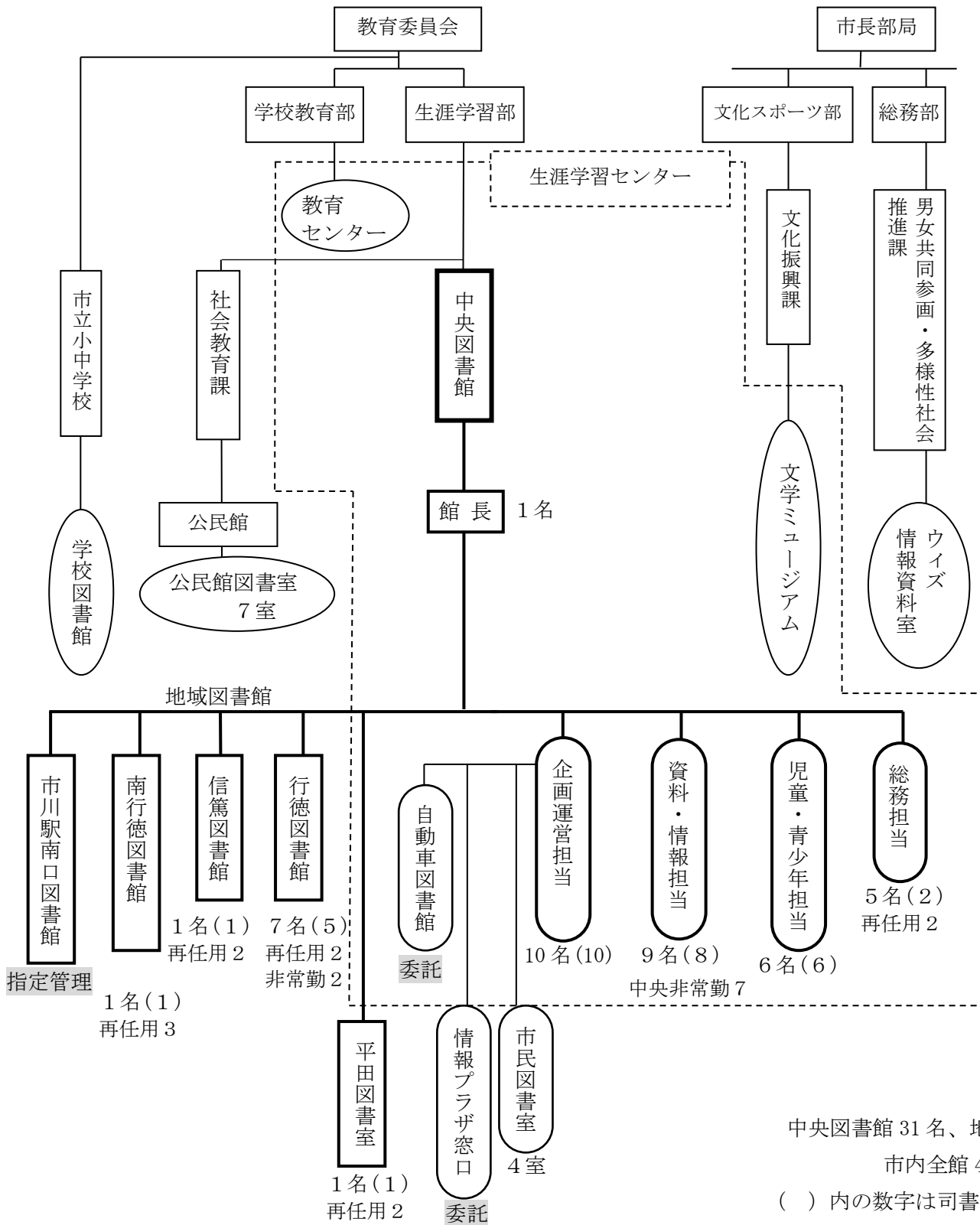
平成18年	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
	10月	予約資料の宅配サービス開始
19年	3月	累積版冊子『本のぽけっと 1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
20年	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
21年	4月	中央・行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
22年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障がい者サービス用機器の寄贈を受ける
23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、毎年満足度調査として実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名 「市川市立図書館中期計画」（平成23～25年度）発行
	10月	地域図書館利用者アンケート実施 eモニターで貸出冊数のアンケート実施
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 システムサーバ14台で構成 クライアントパソコン105台を更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
24年	3月	図書館メールマガジンの配信を開始（平成30年10月20日第152号にて配信終了）
	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
	10月	BDSの更新
25年	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	7月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
	8月	市の刊行物販売を開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催 図書館オリジナルデザイン商品（エコバッグ・クリアファイル）の販売開始
27年	1月	図書館マナーキャンペーン実施
	3月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
	12月	図書館マナーキャンペーン実施

平成28年	1月	ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送開始
	3月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
	4月	乳幼児向け利用券発行開始
	7月	行徳図書館資料をI C化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
		ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送終了
29年	2月	図書館マナーキャンペーン実施
	11月	次期電算システム更新・I C化を見据えて館内に検討会を3グループ（ワーキンググループ1・2・3）を設置
30年	2月	図書館マナーキャンペーン実施
	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名
	6月	市川市中央図書館公式Facebook運用開始
	7月	「だしの力」講演会開催(連携:和洋女子大学准教授)
	11月	千葉県公共図書館協会第2ブロック館長会議開催(ブロック幹事)
	12月	コンピュータシステムを更新し、座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システム、デジタルアーカイブ等の導入
31年	2月	千葉県公共図書館協会第2ブロック研修会「災害と図書館」開催(ブロック幹事)
	3月	千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」巡回展開催(博図公連携)
	3月	西部公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者登録等を図書館システムに一元化
	4月	大里宗行図書館長に就任 職員数41名

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

(平成 31 年 4 月現在)



※ ○ 内の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設

⋯⋯ 内は生涯学習センター内の施設

図書館正規職員数

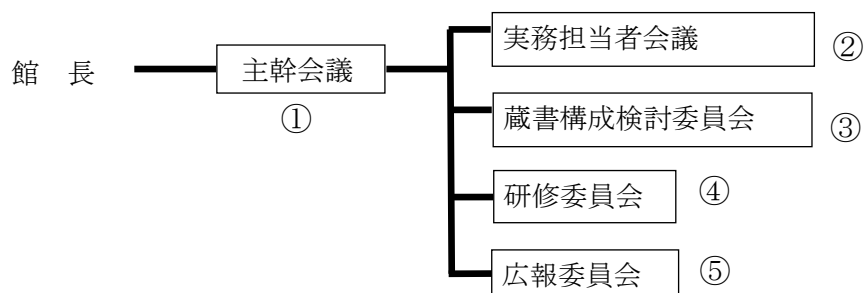
館名	担当	人数	うち司書	司書率
図書館長		1	0	0 %
中央	企画運営担当	10	10	100 %
	資料・情報担当	9	8	88.9%
	児童・青少年担当	6	6	100 %
	総務担当	5	2	40.0%
	合計	31	26	83.9%
平田		1	1	100 %
行徳		7	5	71.4%
信篤		1	1	100 %
南行徳		1	1	100 %
全館		41	34	82.9%

【参考】市川駅南口※	18	12	66.7%
------------	----	----	-------

※市川駅南口図書館は指定管理者制度を導入

(2) 委員会・会議等

(平成 31 年 4 月現在)



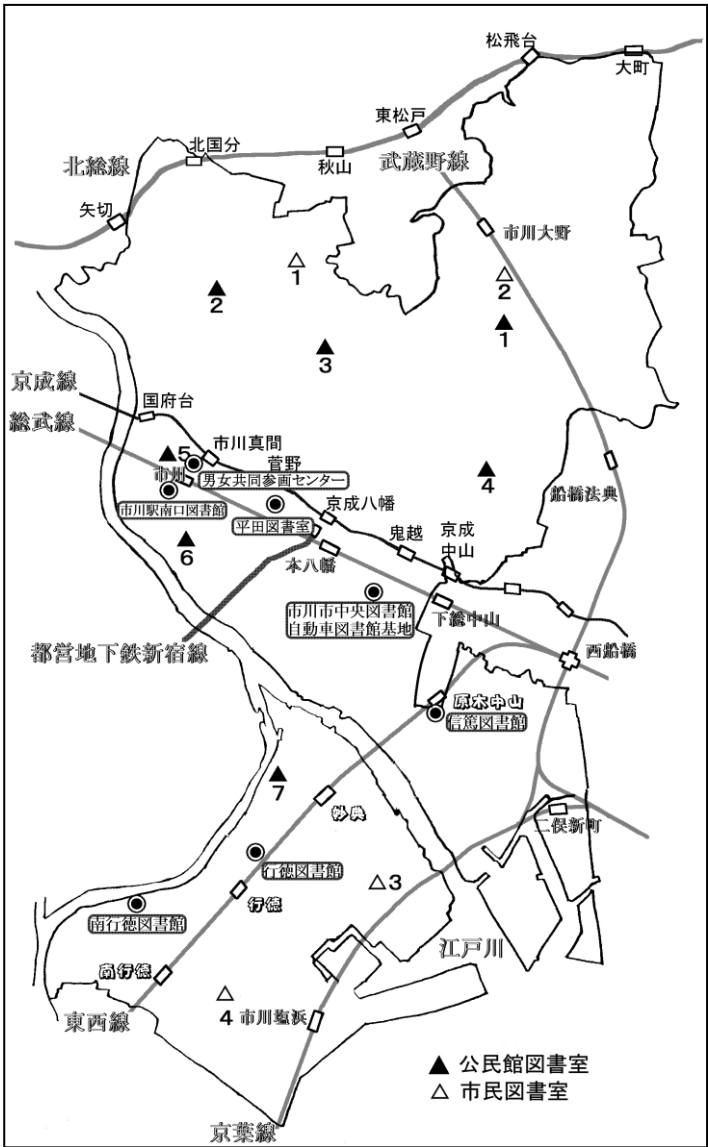
○各会議・委員会の役割

	会 議 名	討 議 内 容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・主幹で構成される。
②	実務担当者会議	実務的な事項について、担当者が必要に応じて、連絡・調整・実施案の作成を行う。
③	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
④	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
⑤	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

平成 31 年 4 月現在

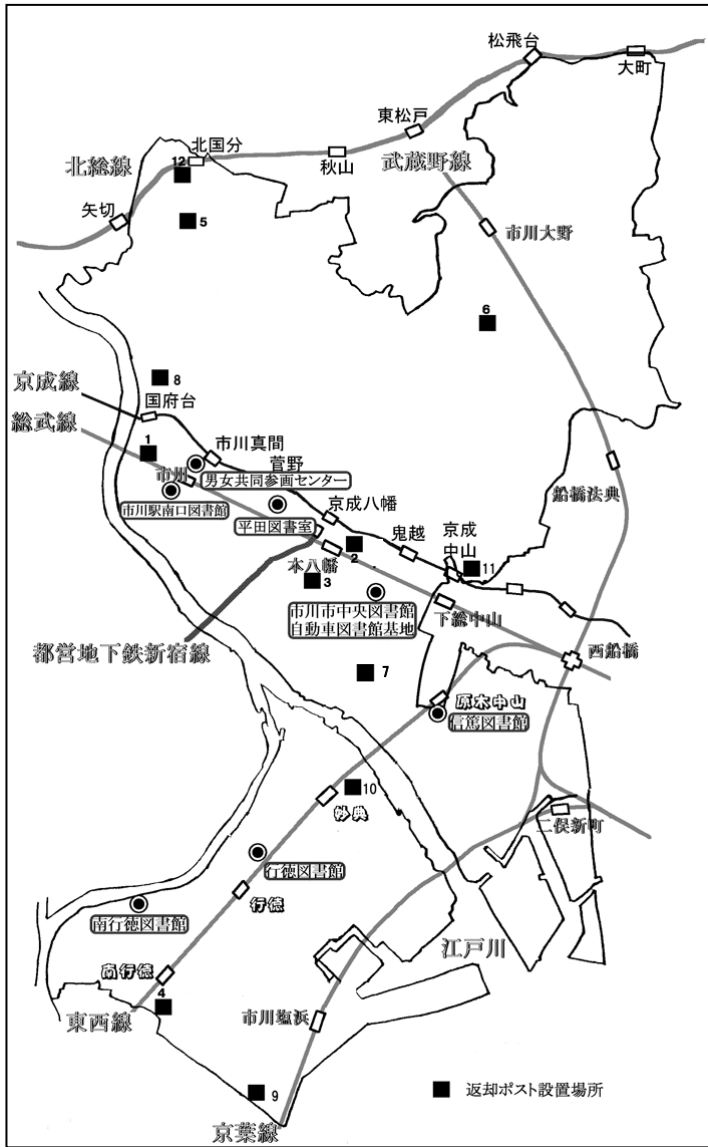
図書館と関連施設の配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野 2 丁目
2	西部公民館図書室	中国分 2 丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷 6 丁目
4	東部公民館図書室	本北方 3 丁目
5	市川公民館図書室	市川 2 丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲 4 丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳 12

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	稲越市民図書室	稲越町 518
2	大柏市民図書室	大野町 2 丁目
3	塩焼市民図書室	塩焼 5 丁目
4	福栄市民図書室	南行徳 2 丁目

返却ポストの配置図



No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川 2 丁目	H14. 5
2	旧八幡市民談話室	八幡 2 丁目	H14. 5
3	情報プラザ 2 階	南八幡 4 丁目	H14. 5
4	南行徳市民センター	南行徳 1 丁目	H14. 8
5	歴史博物館	堀之内 2 丁目	H15. 9
6	大柏出張所 (大野公民館)	南大野 2 丁目	H16. 8
7	市川市役所仮本庁舎	南八幡 2 丁目	H29. 5
8	千葉商科大学付属図書館	国府台 1 丁目	H17. 10
9	塩浜市民体育館	塩浜 4 丁目	H18. 7
10	イオン市川妙典店	妙典 5 丁目	H19. 7 H20. 4 H25. 6
11	中山窓口連絡所	中山 4 丁目	H19. 7
12	ベルクス市川堀之内店	堀之内 3 丁目	H21. 4

6. 施設概要

平成31年4月現在

館 名	中 央	平 田	行 徳	信 篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能 冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	平成元.4.15	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	358席	20席	185席	33席	16席	61席
うち一般	200席	10席	81席	23席	10席	20席
うち児童	60席	10席	63席	10席	6席	11席
その他	98席	-----	41席	-----	-----	30席
駐車場	共有 99台	-----	共有 69台	共有 20台	-----	-----
利用者端末	(※1) 22台	1台	(※3) 6台	1台	1台	(※2) 7台

※1：うちWeb-OPAC 6台、調べものPC 4台、江南区電子図書閲覧パソコン 1台、外部データベース閲覧 3台、障がい者専用 1台含む

※2：うち外部データベース閲覧 3台含む ※3：うち館内Web-OPAC 3台、Web-OPAC（外部データベース閲覧兼用）1台含む

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333 (機械音声応答)

047(320)3346 (直通)

FAX 047(320)3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分
(JR本八幡駅北口よりコルトン
プラザ行無料バスあり)

・地下駐車場 (99台)

・開館時間

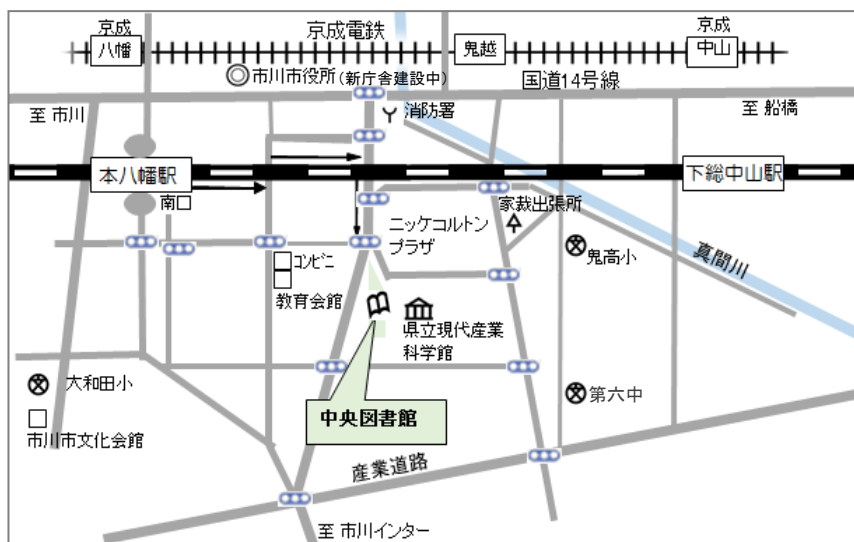
火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

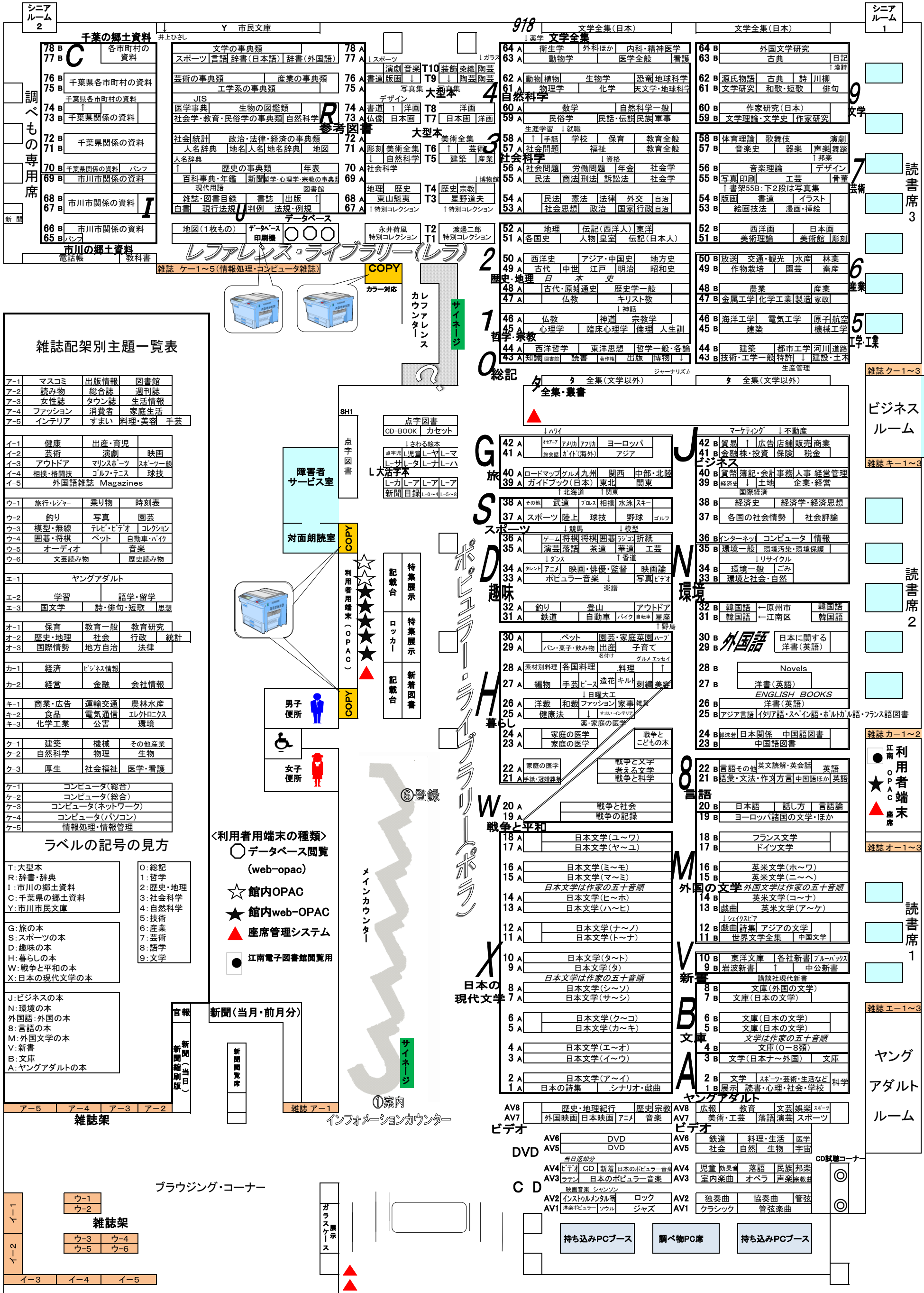
こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

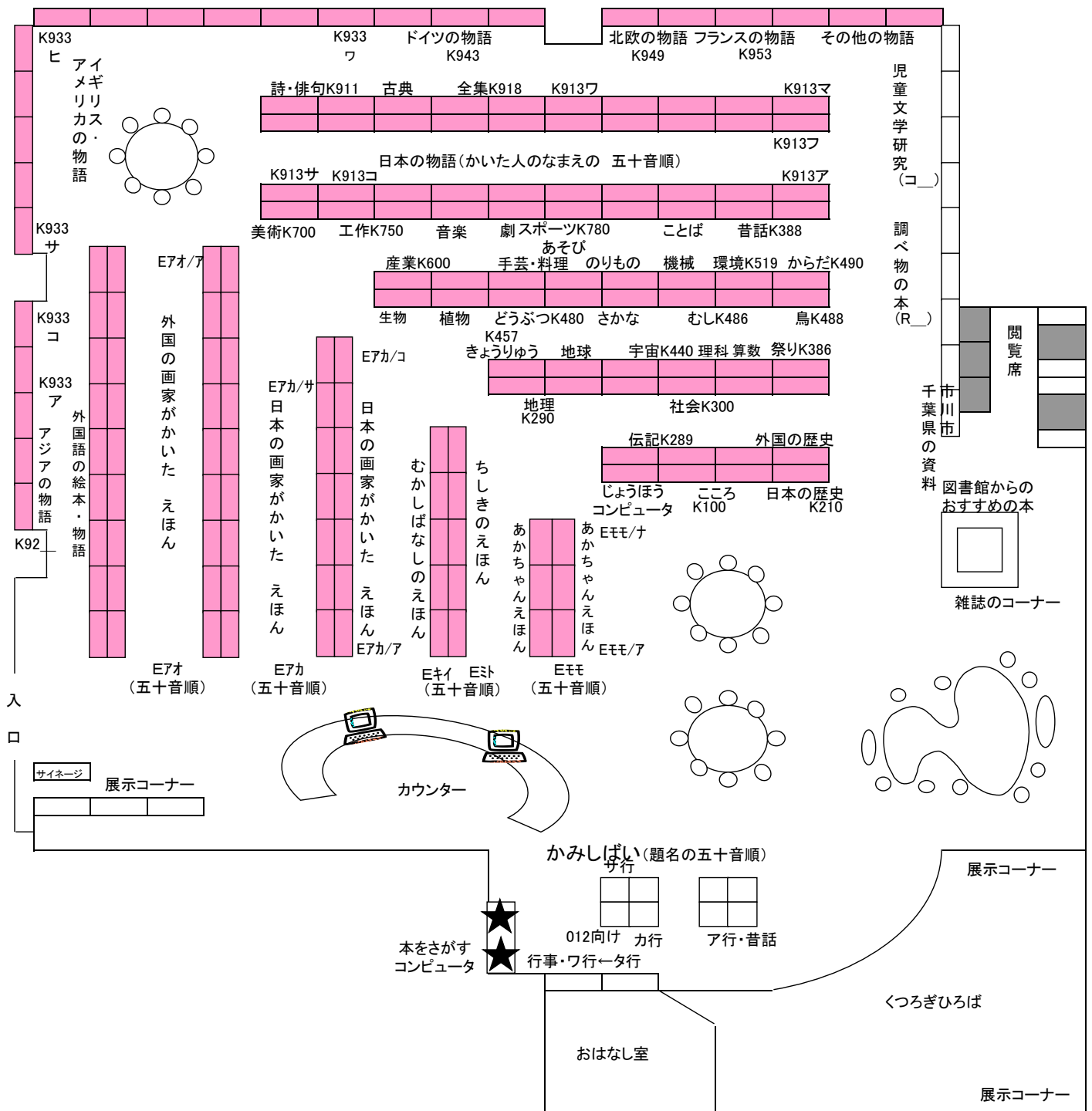
土・日・祝日 10:00～17:00



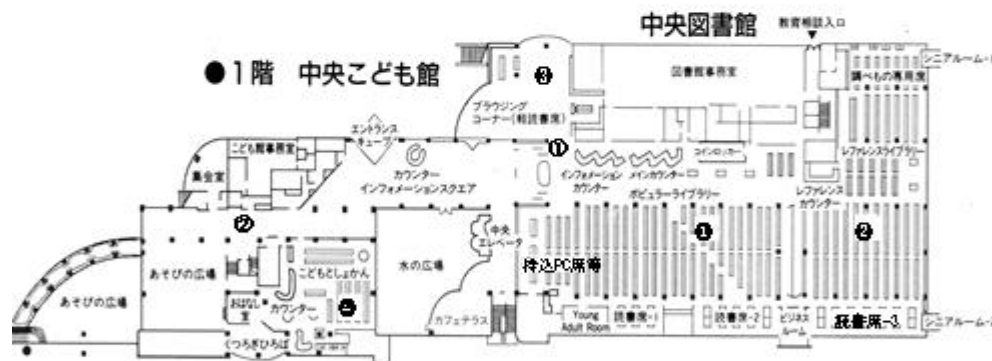
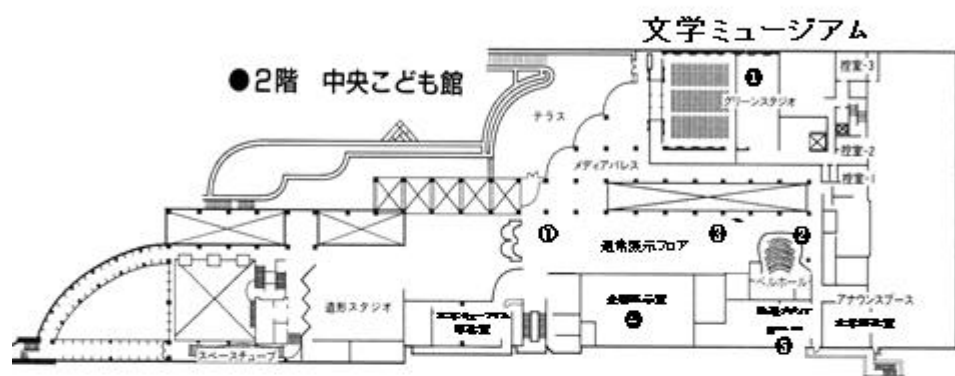
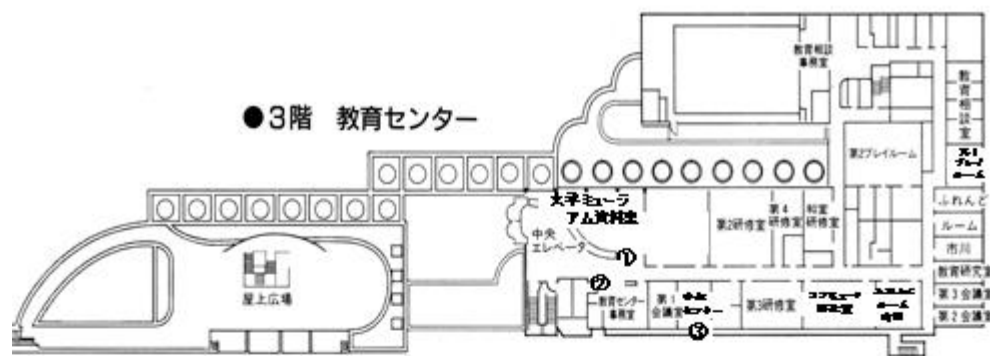
中央図書館フロア案内図(件名編)



②こどもとしょかんフロア案内図



③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図



3 階

①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。

②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。

③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

2 階

①文学ミュージアム：①～⑤

①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で 260 人を収容し、車イスへの対応も可能。

②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。

③通常展示フロア：映画・演劇・小説・
詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの
魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。

④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。

⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

1 階

①中央図書館：①～④

①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・ビデオ・DVDのコーナーも設けている。

②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。

③ブラウジングコーナー（軽読書席）: 各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。

④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃え、定期的に、らっこの会・えほんの会・えほんの会ぶらす・おはなし会・わらべうたであそぼうを開催。

②**中央こども館**：18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設。

地下1階

①音楽スタジオ：少人数の音楽練習向き。
(担当課：2階①文学ミュージアム)

●地下駐車場：99 台収容。
(担当課：1 階①中央図書館)

③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。
(担当課：1階①中央図書館)

(2) 自動車図書館「みどり号」

固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

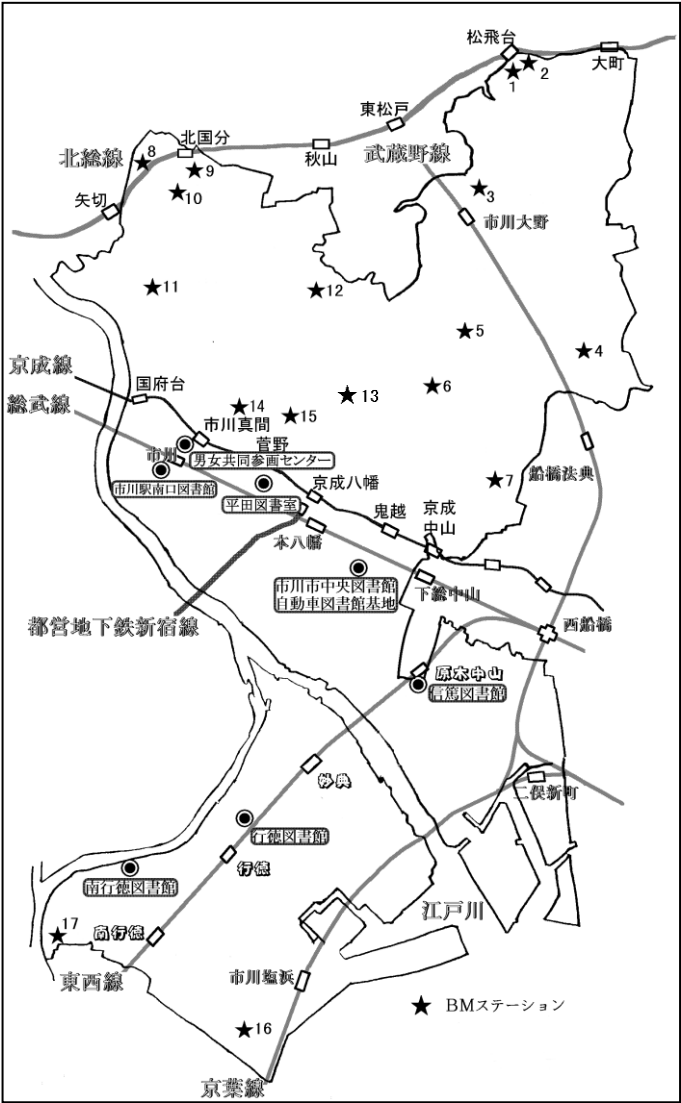
ステーション数は全17箇所、1ステーション当たり30分から50分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

平成31年4月より、塩浜団地商店街広場および宮久保プレーパークへの巡回を開始した。

なお、平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。

車両仕様

名称	みどり号
登録番号	習志野 800 さ 7405
車名	日野
型式	KK-XZU412M
定員	5人
長さ	608cm
幅	206cm
高さ	271cm
燃料	CNG(圧縮天然ガス)
総排気量	4.10kw
登録年月日	平成15年3月27日
製作	京成自動車工業
積載冊数	3,000冊



みどり号巡回表 (平成31年度／令和元年度)

	曜日	午 前	午 後
第1・3週	水		★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:00~2:40
	木	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 10:20~10:50	★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50
	金	★15 (株)クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50
第2・4週	火		★9 堀之内公園 堀之内3-2 2:00~2:40
	水	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 1:30~2:20	★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50
	木	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50
	金	★13 宮久保プレーパーク 宮久保1-8-18 10:20~11:00	★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:00~3:40
		★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★17 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40
			★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 3:10~3:50
			★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 3:00~3:40
			★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:00~3:50
			★2 市営大町第2団地 大町124 2:00~2:40
			★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 2:00~2:40
			★1 市営大町第1団地 大町95 2:00~2:40

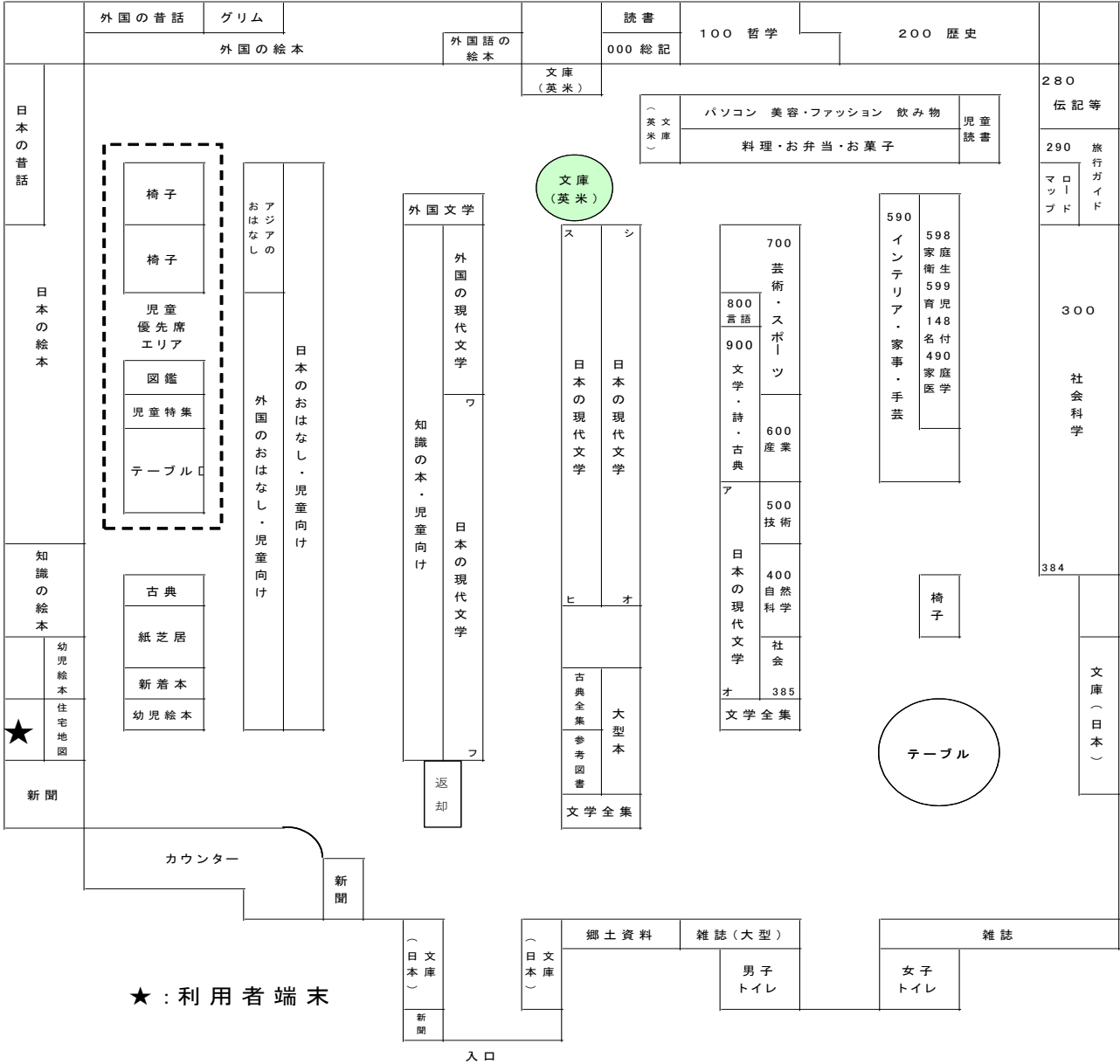
※石橋下公園および塩浜体育館は、平成31年3月で巡回終了

(3) 平田図書室

市川市平田 1-20-16 T E L 047 (321) 2243
F A X 047 (321) 2243



- ・ 交 通 京成菅野駅より徒歩 8 分
 J R 本八幡駅より徒歩 10 分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9 : 30 ～ 17 : 00

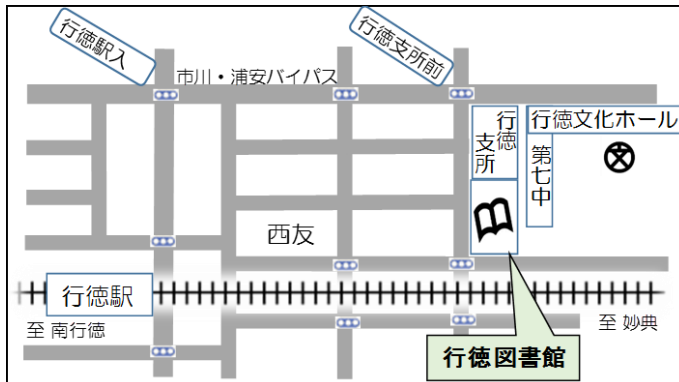


(4) 行徳図書館

市川市末広 1-1-31

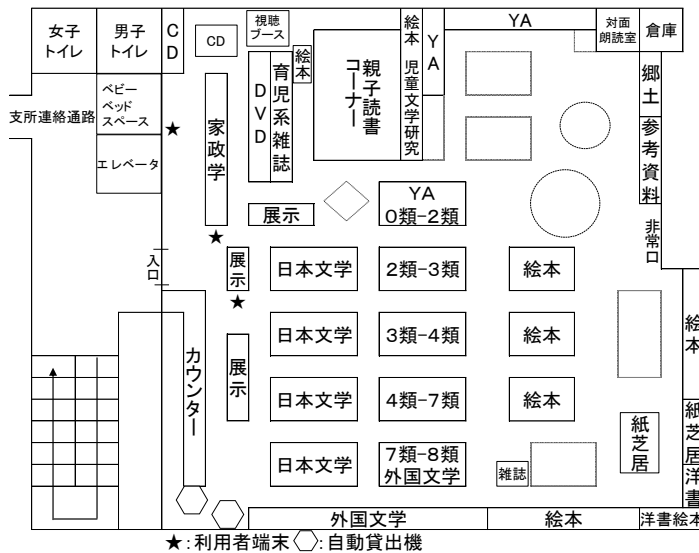
TEL 047 (358) 9011

FAX 047 (358) 9012

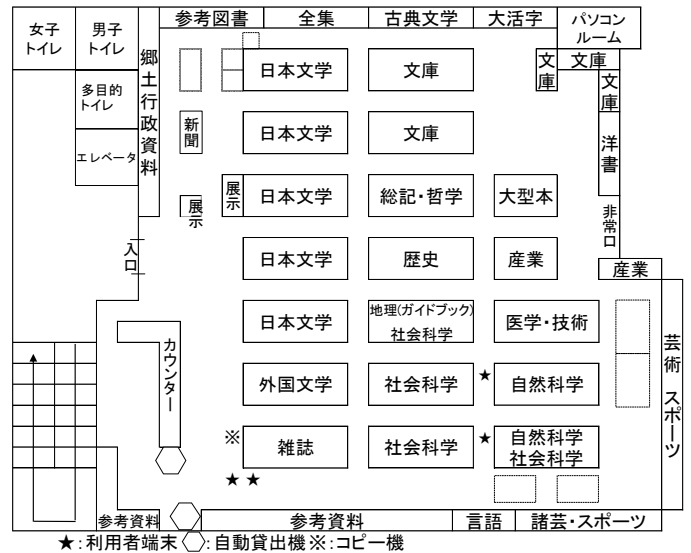


- ・交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- ・開館時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～17:00

2階 こどもの本のフロア



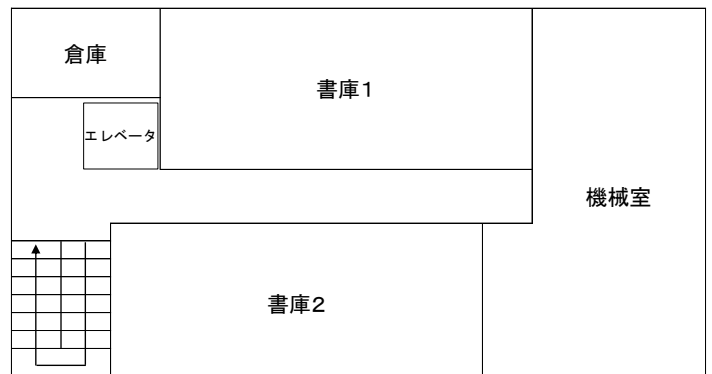
3階 おとなの本のフロア



4階 閲覧室・事務室など



5階 閉架書庫・機械室

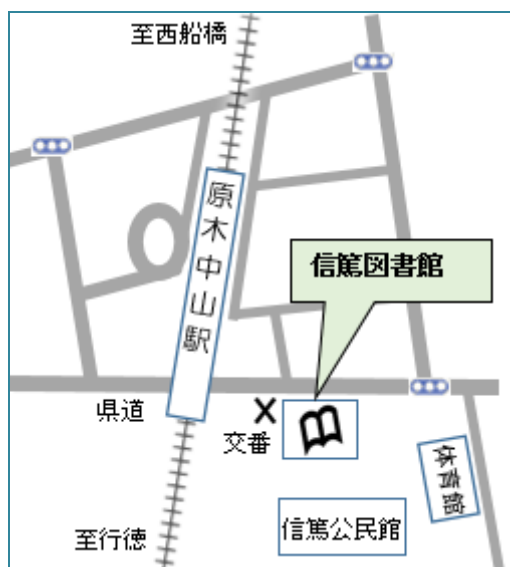


(5) 信篤図書館

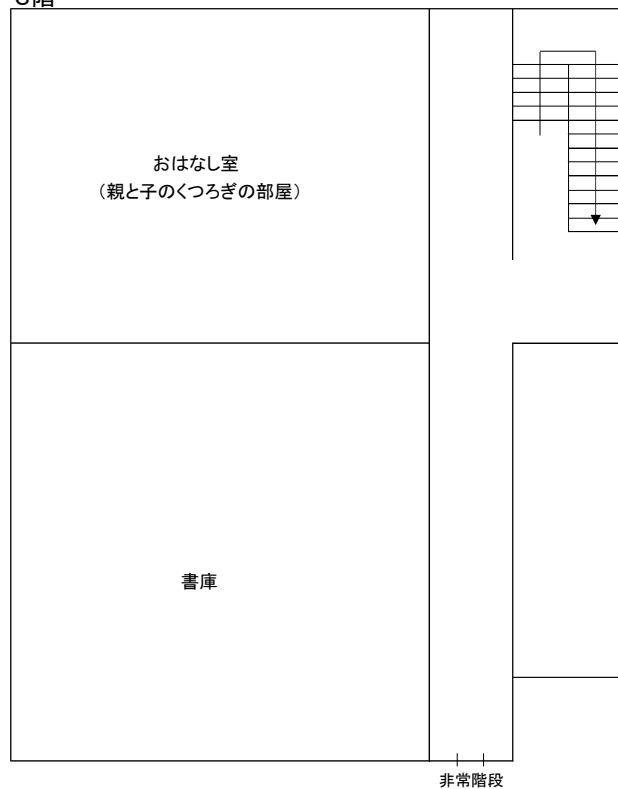
市川市高谷 1-8-1 TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

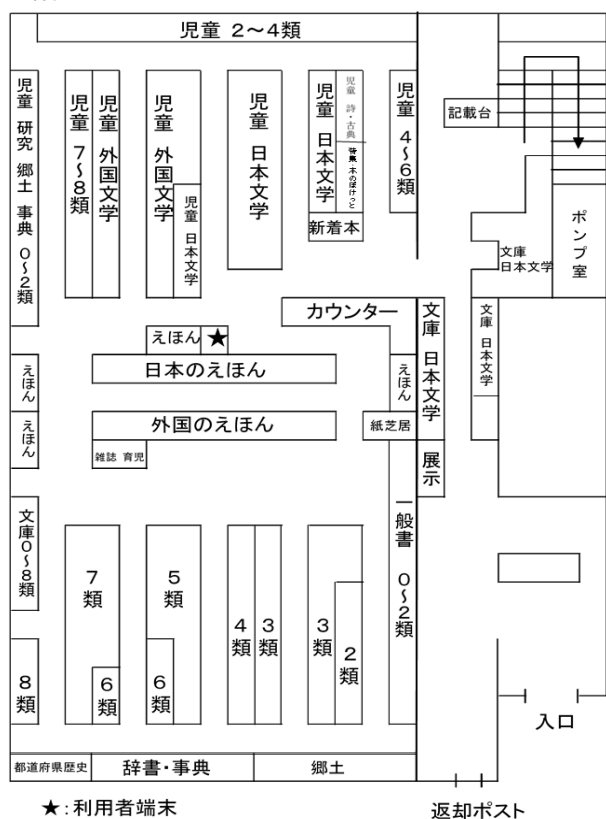
- ・交通 東西線原木中山駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



3階



1階



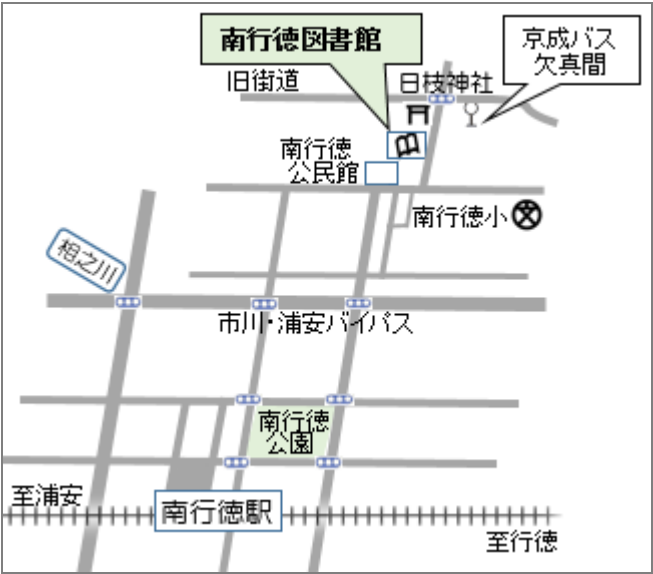
2階



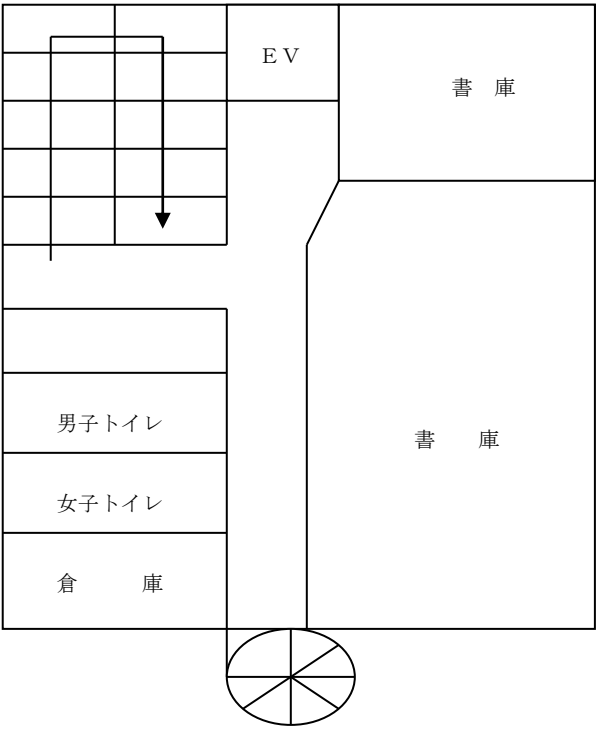
(6) 南行徳図書館

市川市相之川 1－2－4 TEL 047 (357) 4188
FAX 047 (357) 4188

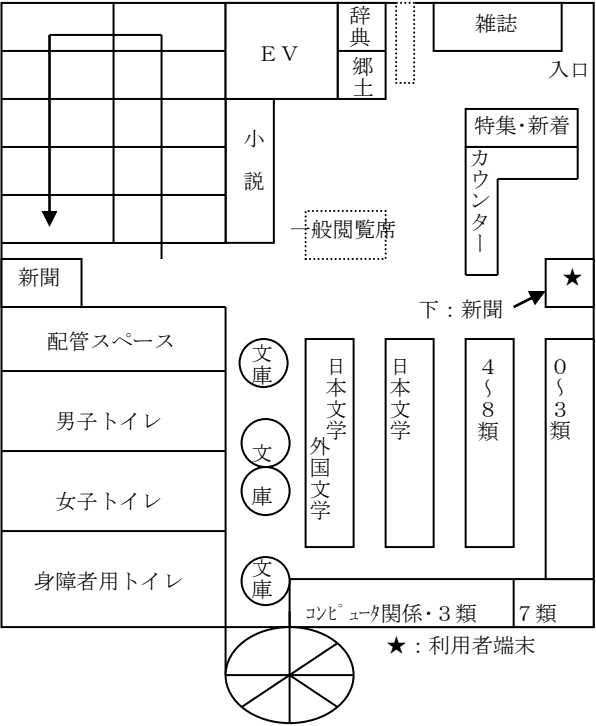
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



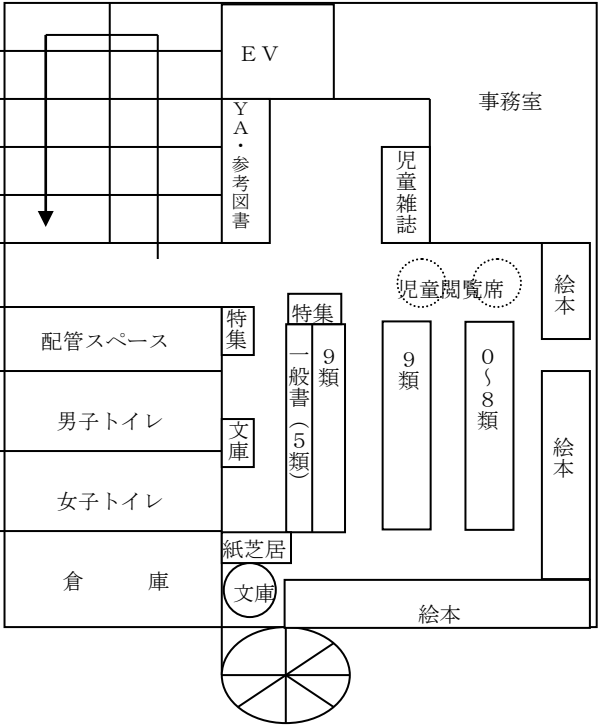
3階（書庫）



1階（一般書）



2階（児童書）



(7) 市川駅南口図書館

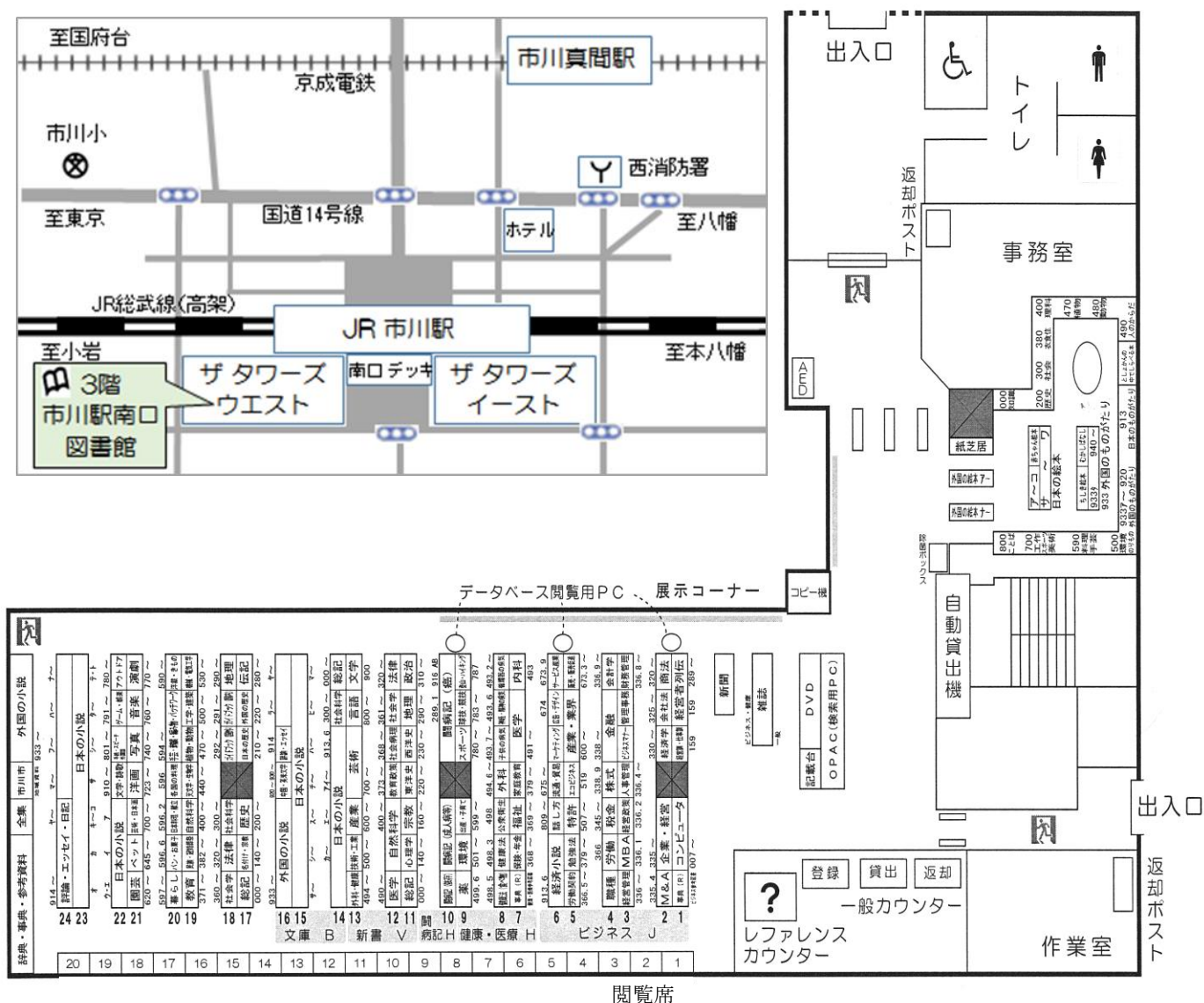
市川市市川南 1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウェスト 3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交 通 J R市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館での設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募。選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定
23年	8月	22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増
24年	8月	23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	3月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による24年度上半期第1次評価（8日）
	6月	中央図書館モニタリング担当者による24年度全期第1次評価（14日）
	7月	評価委員会による24年度全期第2次評価（2日） 選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（31日）
	11月	中央図書館モニタリング担当者による25年度上半期第1次評価（21日）
26年	6月	中央図書館モニタリング担当者による25年度全期第1次評価（13日） 評価委員会による25年度全期第2次評価（30日）
	7月	「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告
	8月	平成25年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による26年度上半期第1次評価（5日）
27年	6月	中央図書館モニタリング担当者による26年度全期第1次評価（19日）
	7月	評価委員会による26年度全期第2次評価（16日）
	8月	平成26年度モニタリング評価の決定
	12月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による27年度上半期第1次評価（18日）
28年	6月	中央図書館モニタリング担当者による27年度全期第1次評価（17日）
	7月	評価委員会による27年度全期第2次評価（14日）
	8月	平成27年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による28年度上半期第1次評価（22日）

29年	6月	中央図書館モニタリング担当者による28年度全期第1次評価（15日）
	7月	評価委員会による28年度全期並びに指定期間全体（24年度～28年度）第2次評価（13日）
	9月	平成28年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による29年度上半期第1次評価（21日）
30年	6月	中央図書館モニタリング担当者による29年度全期第1次評価（15日）
	7月	評価委員会による29年度全期第2次評価（12日）
	10月	平成29年度モニタリング評価の決定
	11月	中央図書館モニタリング担当者による30年度上半期第1次評価（27日）

③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取
	12月	議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
	12月	委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
24年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2回目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	変更基本協定書締結（1日）
	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
	7月	指定管理者公募受付（7/7～7/14）に2社応募
	8月	選考委員会による1次審査（9日）
	10月	選定審査会による2次審査（12日）
	12月	定例教育委員会報告（1日）（第21号）
	12月	議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出 委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決 指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
29年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	3回目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）

評価一覧表 施設名:市川市市川駅南口図書館 指定管理者:(株)ヴィアックス 適用期間:平成30年度全期

No.	大項目	評価視点	1か年度		上半期		
			評価	評価点	評価	評価点	
1	利用者アンケートの実施等に関すること	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2	－	－	
2	利用者の要望及び苦情に関すること	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	A	3	A	3	
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2	
4	5※ 6☆ 職員の配置・補充体制に関すること	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2	
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2	
6☆		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2	
7	個人情報の保護に関すること	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3	
8☆	指定管理者の経理に関すること	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2	
9☆	文書管理に関すること	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2	
10☆	提出書類に関すること	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2	
11※	施設賠償責任保険の付保に関すること	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2	
12※	第三者への一括委託に関すること	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2	
13※	施設の目的外使用に関すること	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2	
14☆	市の財産の管理に関すること	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2	
15☆	施設・備品の維持管理・修繕に関すること	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	B	2	
16		備品は適正に管理しているか。	A	3	B	2	
17	施設の状況に関すること	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2	
18	19 20※ 事故・緊急事態の対応に関すること	事故防止、安全対策がされているか。	A	3	A	3	
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	A	3	A	3	
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2	
21	公共性の尊重に関すること	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2	
22※	法令等の遵守に関すること	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2	
23	情報の公開に関すること	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2	
24☆	指定管理者の経営状況に関すること	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	－	－	
25	図書館サービス業務に関すること	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	A	3	B	2	
26		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか。(外部データベース・ICタグ)	A	3	A	3	
27		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか。	B	2	B	2	
28		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか。	B	2	B	2	
29		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか。	A	3	A	3	
30		行事は適切に行われているか。	A	3	A	3	
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	A	3	
32☆		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2	
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	A	3	A	3	
34		予約業務は適切に行われているか。	A	3	A	3	
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	B	2	B	2	
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2	B	2	
37		資料管理業務は適切に行われているか。	B	2	B	2	
38		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2	
合計点			88		82		
総合評価			良		良		

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

★:B・C・Dの3段階で評価→6.8～10.14,15.24,32

※:B・Dの2段階で評価→5.11～13.20,22

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全38項目(平成30年度全期)

総合評価	合計評価点
優	100点～90点
良	89点～60点
可	59点～ 点
改善	D評価あり

全36項目(平成30年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	95点～85点
良	84点～57点
可	56点～ 点
改善	D評価あり

（８）関連施設

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校４校に設置された。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の非常勤職員が市民ボランティアの協力を得て本の貸出・返却・整理などを行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなどそれぞれ地域に密着したサービスを展開し、地域住民の活動の場ともなっている。併設されている学校との連携も重視している。

- ・利用（貸出）には、市立図書館とは別に、それぞれの図書室で登録が必要。借りた資料は、借りた図書室にのみ返却可能。
- ・図書館とオンライン化されており、市立図書館の蔵書が検索でき、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

（市立図書館の蔵書検索、返却、予約の貸出の手続きは非常勤職員が行っている）

- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回
- ・開室日 水・土・日曜
- ・開室時間 10:00～16:00

② 男女共同参画センター情報資料室

- ・市川市市川 1－24－2 市川西消防署 4 階
- ・TEL 047（322）6700

- ・交通 JR市川駅 京成市川真間駅より徒歩５分
- ・貸出日 火曜～日曜 9:30～17:00
（祝日・毎月最終火曜日は除く）

- ・市立図書館の物流便は、毎週水・金・日曜日に巡回する。

- ・床面積 93㎡

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。蔵書と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館と共通の利用券で利用できる（貸出は10冊まで）。

施設の所管は、総務部男女共同参画・多様性社会推進課だが、図書購入の費用及び運営の非常勤職員の費用は図書館の費目。

③ 情報プラザ２階

- ・市川市南八幡 4－2－5
- ・TEL 047（314）0811
- ・交通 JR本八幡駅南口より徒歩１分
- ・利用時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～18:00
（第４日曜日は除く）

図書館とオンライン化されており、図書館の予約図書・雑誌の受取ができる。また、図書館資料返却用のポストが設置されている。

（平成23年度より情報政策部情報政策担当から図書館へ所管変更）

市民図書室一覧

図書室名	住所・電話番号	床面積	開設年月日
塩 焼 市 民 図 書 室 （塩焼読書センター）	市川市塩焼 5－9－8 047（397）6823	135.0 ㎡	昭和 56 年 10 月 8 日
稲 越 市 民 図 書 室 （ひばり図書室）	市川市稲越町 518－2 047（373）6013	135.0 ㎡	昭和 56 年 10 月 8 日
福 栄 市 民 図 書 室	市川市南行徳 2－2－1 047（395）5020	112.5 ㎡	昭和 60 年 10 月 5 日
大 柏 市 民 図 書 室	大野町 2－1877 047（338）7897	315.0 ㎡	平成 3 年 4 月 1 日

④ 公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館の運営については、社会教育課が所管し、公民館図書室に社会教育指導員を配置している。

市北部地域の図書館サービスを拡充するため、大野公民館図書室は平成26年度から、西部公民館図書室は平成31年度から、中央図書館所管の非常勤職員が運営にあたっている。

図書館では、公民館図書室7室の図書費負担と選書の審査を行っている。

A. 大野・西部公民館図書室…図書館システムによる蔵書管理

大野公民館図書室は平成28年12月から、西部公民館図書室は平成31年3月から、図書室蔵書にバーコードを貼り、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化したことで、市立図書館の利用券で貸出を可能とした。

図書の貸出点数は、市立図書館と同じ20冊まで。また、平成31年4月から、図書館で貸出した視聴覚資料の返却が可能となった。

市立図書館の物流便がほぼ毎日巡回している。

B. 曾谷・東部公民館図書室 …受取拠点

ブラウン式貸出（1人2冊）を採用しており、市立図書館とは別にそれぞれの図書室で利用登録が必要である。貸出した資料は、借りた図書室にのみ返却。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館利用券で、市立図書館所蔵資料の予約（図書・雑誌）の受付・受取、返却、蔵書検索のサービスを受けることができる。

市立図書館の物流便は週2回巡回している。

また、平成29年10月1日より、曾谷公民館図書室は日曜日、東部公民館図書室は火曜日を貸出日とし、週2日から3日に貸出日を拡大した。

C. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

図書室の利用はBグループと同様。

市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

市川と駅南は、集会室の不足を補うため、図書室の規模を縮小している。

公民館図書室一覧（A・Bはオンライン端末設置）

平成31年4月1日現在

グループ	公民館図書室名	住所・電話番号	開室日	貸出日・時間	床面積
A	大野公民館図書室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜～日曜 9:00～17:00	火曜～日曜 9:30～17:00	127.0㎡
	西部公民館図書室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜～日曜 9:30～12:00 13:00～17:00	112.0㎡
B	曾谷公民館図書室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	火曜～日曜 9:00～17:00	水・土・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	144.0㎡
	東部公民館図書室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火曜～日曜 9:00～17:00	火・水・土曜 10:00～12:00 13:00～16:30	81.0㎡
C	市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	40.5㎡
	市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	31.4㎡
	本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水・土・日 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	170.0㎡

7. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。平成 6 年の中央図書館開館に際して 2 回目の更新を行い、可変長 MARC の採用、学校図書館とのパソコン通信連携を実施した。

平成 12 年 10 月に富士通の iLiswing Ver2.0 に 3 回目の更新、また平成 17 年 7 月に同社の iLiswing21/UX+に 4 回目の更新を行い、市内全域へのネットワーク拡大とインターネットでのサービス充実を行った。平成 23 年 11 月に 5 回目の更新を行い富士通の iLisfiera を採用した。平成 28 年 11 月にはこのパッケージが、Internet Explorer 11 を利用した環境下においても正常に稼動するための設定を各機器に対して行っている。平成 30 年度に 6 回目の更新を行い、今後予定されている全館での IC 機器導入に向けて図書館コンピュータシステムの再構築を行った。

市川駅南口図書館では開館した平成 21 年 4 月に、行徳図書館では平成 28 年 7 月に、それぞれ IC タグによる蔵書管理システム iLiscomp を導入し、セキュリティゲートや自動貸出機等を設置。窓口業務や蔵書点検業務の効率化を図った。

平成 30 年度は、更新に合わせ利便性向上のため WEB メニューの多機能化を図った。中央図書館で座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納システムを導入した。

(2) インターネットでのサービス

平成	
12 年 10 月	インターネットでの蔵書情報の公開 利用者自ら ID とパスワードにより 貸出状況・予約状況の照会が可能
14 年 5 月	携帯端末での蔵書検索を実施 メールでのレファレンス受付開始
10 月	図書館ホームページが財団法人高度 映像情報センター (AVCC) の主催する 公共ホームページ Goodsite 賞に 選出
11 月	インターネットで図書・雑誌の予約 受付を開始

15 年 7 月	C T I サーバを導入し、段階的に e メール及び電話による督促通知、 予約通知の自動連絡を開始する
17 年 7 月	C D ・ビデオのネット予約受付開始 図書館ホームページのリニューアル TRC-MARC を U から T タイプに変更 蔵書検索で内容紹介、著者紹介等の 項目が検索対象となる
18 年 3 月	S S L 暗号化通信を導入 市川市が韓国ソウル市江南区電子図 書館の閲覧 I D を配布開始
10 月	予約資料の宅配サービスを開始
20 年 6 月	「青空文庫」作成電子テキストの書 誌データを W e b サーバで一括検索 開始
21 年 6 月	TRC-MARC を全件 T タイプに塗替え TRC 雑誌 MARC を導入
26 年 10 月	Q R コードを利用した目録検索結果 等の読み取りサービス「スマート簡 単検索 (ALPACA)」運用開始
28 年 3 月	スマートフォン対応 Web-OPAC サ ービス開始
30 年 12 月	登録利用者全員 (団体を除く) にパ スワードを付与 Web-OPAC で横断検索、利用者登録申 請、シリーズ予約、貸出履歴の保存、 返却期限通知の設定、My 本棚の作成 が可能 図書館利用券のスマホ対応開始
31 年 3 月	Web-OPAC 書影表示開始

(3) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設。

平成	
12 年 10 月	市立小学校に併設の市民図書室 4 室 (塩焼・稲越・福栄・大柏) 及び公 民館図書室 2 室 (大野・西部) にオ ンライン端末を設置し、図書館の予 約本を取り寄せて、貸出・返却を可 とする
14 年 5 月	情報システム課が情報プラザに移転 本庁ー情報プラザー生涯学習セン ター間が 100Mbps の回線で接続され る

15 年 2 月 情報プラザ 2 階電子市役所での
予約資料受渡しを実施
6 月 曾谷公民館図書室に端末を設置
7 月 情報プラザに端末を設置
16 年 6 月 東部公民館図書室に端末を設置
17 年 10 月 行徳支所まで 100Mbps の回線とな
り、図書館も支所より分岐して接続
千葉商科大学付属図書館に端末を設
置
20 年 全庁的にネットワーク再構築が実施
される
21 年 4 月 市川駅南口図書館開館に伴い、100
Mbps の光回線を接続し、業務端末
9 台、OPAC 4 台、自動貸出機 3
台、セキュリティゲート 2 基を設置
26 年 4 月 大野公民館図書室で CD 返却受付の
試行開始
28 年 7 月 行徳図書館に自動貸出機 4 台、セキ
ュリティゲート 2 基を設置
11 月 図書館情報システムを Internet
Explorer 11 に対応させるための設
定作業を行う
29 年 2 月 大野公民館図書室の蔵書情報を図書
館コンピュータシステムに組入れ、
コンピュータによる蔵書管理を開始
全庁的に情報セキュリティ強化対
策が実施され、図書館業務はインタ
ーネット系回線での利用となる
31 年 3 月 西部公民館図書室の蔵書情報を図書
館コンピュータシステムに組入れ、
コンピュータによる蔵書管理を開始

(4) 図書館内インターネット接続 サービス等

平成

12 年 10 月 館内利用者端末（タッチパネル式）
を増設（全館 26 台、レシートプリン
タ付）
〔中央図書館〕 Web-OPAC（キーボード
式） 3 台を新設
朝日新聞記事全文検索データベース
を導入
ビジネスルームに持ち込みパソコン
のインターネット接続環境を整備、有
線 LAN 接続で 4 席
業務端末は全館全端末が本庁イント
ラ経由でインターネット常時接続が
可能とし、相互協力やレファレンス業
務等でインターネット上の情報源を
利用できるようになる

14 年 5 月 〔中央図書館〕「IT ブース」として、
視聴覚ブースにインターネット用パ
ソコンを 6 台設置、無線 LAN カー
ド貸出により利用提供
ビジネスルームのインターネット接
続を 7 席対応に変更
朝日新聞記事全文検索データベー
スを館内 Web-OPAC で利用者に開放
17 年 7 月 〔中央図書館〕日経テレコン 21 を導
入
ビジネスルームのインターネット接
続を 12 席対応に変更
「IT ブース」を USB キー貸出に変
更
18 年 6 月 〔中央図書館〕 江南区電子図書館閲
覧端末を韓国語資料の書架横に設置
21 年 4 月 〔市川駅南口図書館〕閲覧席 20 席に
情報コンセント（電源、LAN）を
設置、フリースポットでの無線接続
も可能とする
外部データベース閲覧端末 3 台を設
置、プリントアウトサービスを可能
とする
10 月 〔中央図書館〕毎日 News パック、
ヨミダス文書館、聞蔵Ⅱブリタニカ
のオンラインデータベースを館内
Web-OPAC で利用者に開放
12 月 〔中央図書館〕 障がい者専用パソコ
ンを入替え、インターネット接続で、
点訳及び DAISY 等の音声資料対応
23 年 11 月 〔中央図書館〕 コインベンダー式プ
リント導入
ビジネスルームにフリースポット導
入、無線接続を可能とする
〔行徳図書館〕 3 階パソコンルーム
にフリースポット導入、無線接続を
可能とする
26 年 4 月 〔中央図書館・市川駅南口図書館〕
D1-Law.com を導入
6 月 〔中央図書館〕 国立国会図書館「デ
ジタル化資料送信サービス」「歴史
的音源」利用開始
8 月 〔中央図書館〕 障がい者専用パソコ
ンを入替え
27 年 2 月 〔中央図書館〕 新聞閲覧パソコンに
日経ヴェリタス電子版を導入
6 月 〔中央図書館〕 国立国会図書館「デ
ジタル化資料送信サービス」の複写
サービスを開始
8 月 〔中央図書館〕 新聞閲覧パソコンに
主要新聞社等の Web サイト閲覧の
ための環境を整備

- 29 年 4 月 〔中央図書館・市川駅南口図書館〕
LexisNexisJP の公共図書館への配信
中止に伴い、Westlaw. JAPAN の試行導
入を開始
- 6 月 〔行徳図書館〕国立国会図書館「デ
ジタル化資料送信サービス」利用開始
- 30 年 3 月 〔市川駅南口図書館〕ナクソス・ミ
ュージック・ライブラリーの館内視聴開
始
- 30 年 12 月 〔中央図書館〕ビジネスルームの無線
LAN を POPCHAT に変更。IT ブース・CD
試聴ブースを調べもの用インターネ
ットブース 4 席と持ち込み PC 利用ブ
ース 16 席に変更。座席管理システム
での管理を開始
- 31 年 3 月 〔中央図書館・行徳図書館〕館内
Web-OPAC でデジタルアーカイブ公開

〈参考〉

① オンライン・データベース導入一覧

[平成 31 年 4 月 1 日現在]

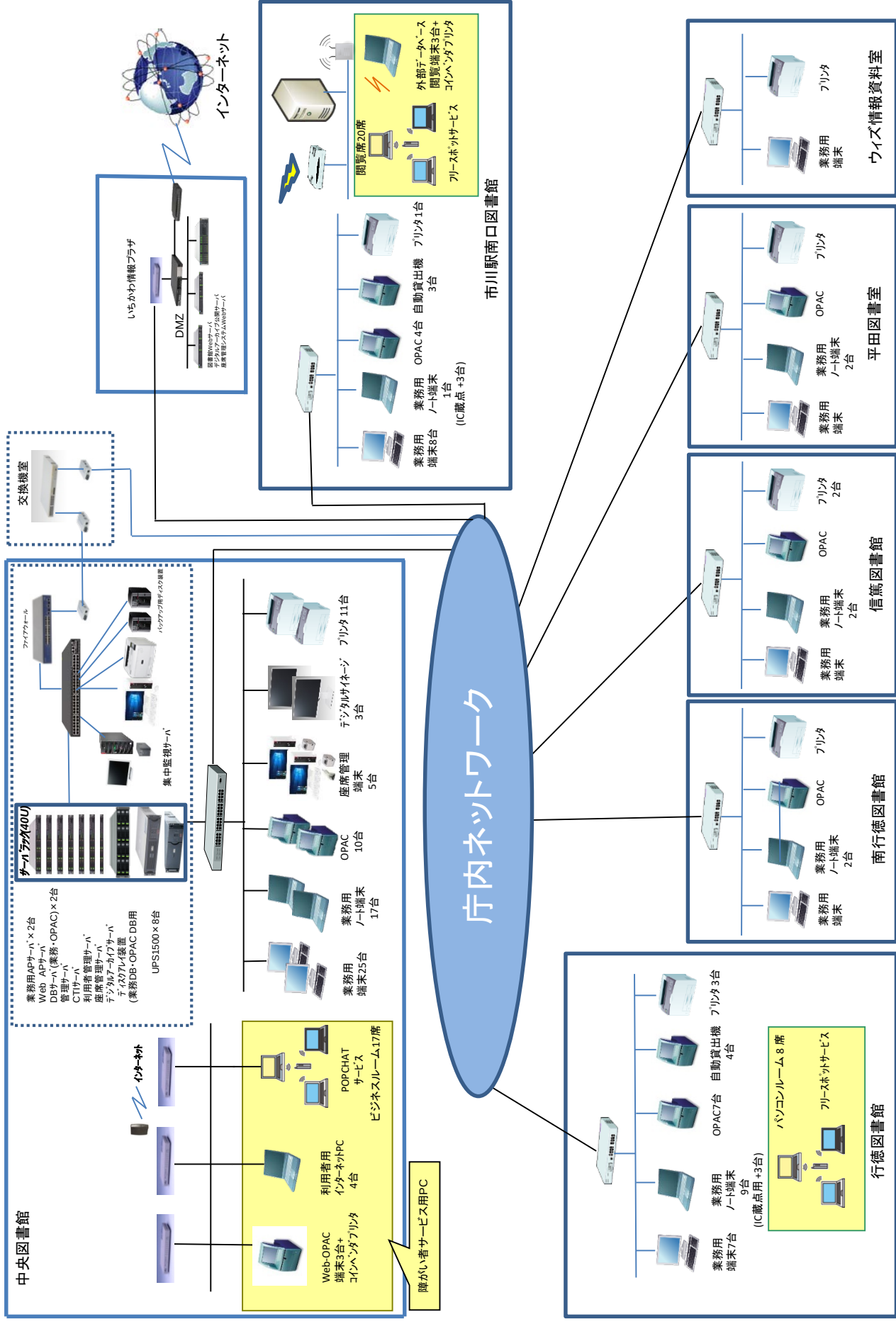
	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	聞蔵Ⅱ：朝日新聞社オンライン記事データベース	○	○		○	○		○	○	
②	ヨミダス文書館：読売新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
④	日経テレコン 21〔図書館向け〕	○	○		○	○		○	○	
⑤	D1-Law.com：第一法規 法情報総合データベース	○	○		○	○		○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○		○	○		○	○	
⑦	ブリタニカオンラインジャパン	○	○					○	○	
⑧	MAGAZINEPLUS（日外アソシエーツ）	○	○					○	○	
⑨	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑩	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
⑪	日経ヴェリタス電子版		○							
⑫	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○

② データベース・プリント枚数(平成 30 年度)

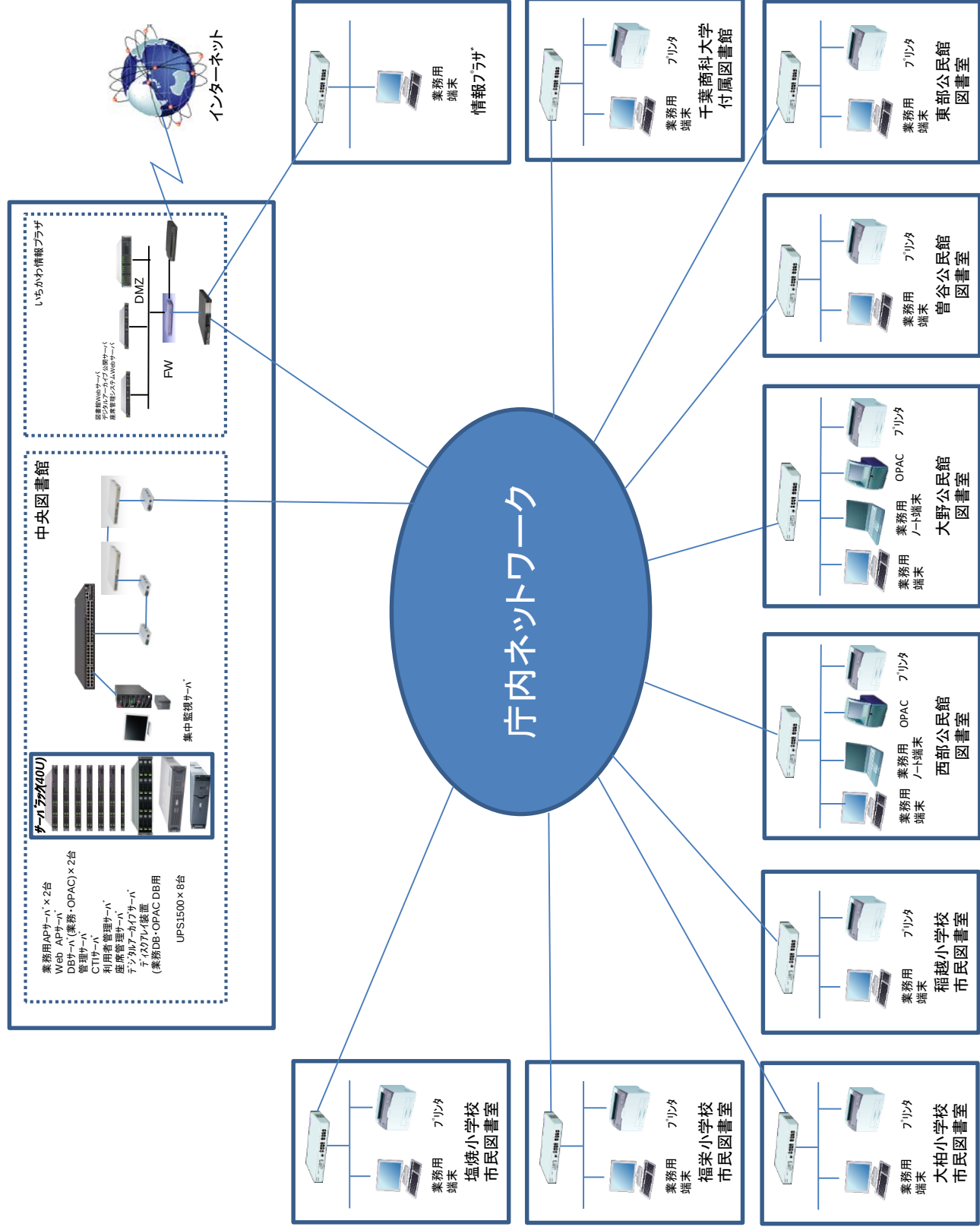
館	枚数	<うち、デジタル化資料送信サービス分>
中央	2,188 枚	<1,125 枚>
行徳	157 枚	—
駅南	383 枚	—

※行徳図書館のデータベースプリンター導入は平成 30 年 12 月より

市川市立図書館システム構成図 (中央図書館及び地域館)



市川市立図書館システム構成図（関連施設）



8. 平成31年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	平成31年度当初予算額	平成30年度当初予算額	対 前 年 度 比
総 額	250,848,000	238,325,000	12,523,000
一般会計	157,800,000	144,000,000	13,800,000
特別会計	74,248,000	74,288,000	△40,000
公営企業会計	18,800,000	20,037,000	△1,237,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	平成31年度当初予算額	平成30年度当初予算額	対 前 年 度 比
一般会計のうち教育費	13,922,000 (一般会計の8.8%)	13,427,000 (一般会計の9.3%)	495,000
教育費のうち図書館費	446,897 (教育費の3.2%)	425,525 (教育費の3.2%)	21,372

(3) 図書館費

(単位：千円)

	平成31年度当初予算額	細 節	平成30年度当初予算額
総 計	446,897		425,525
7. 賃 金	76,578	◎非常勤職員等雇上料 76,578	79,559
8. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	63
9. 旅 費	11	◎職員旅費 11	11
11. 需 用 費	107,089	◎消耗品費 86,621 ◎定期刊行物費 10,343 ◎印刷製本費 1,635 ◎光熱水費 3,164 ◎物品修繕料 499 ◎自動車修繕料 123 ◎施設修繕料 4,700 ◎医薬材料費 4	102,724
12. 役 務 費	39,326	◎通信運搬費 3,473 ◎手数料 35,842 ◎筆耕翻訳料 11	27,929
13. 委 託 料	151,241	◎委託料 151,241	154,987
14. 使用料及び 賃借料	51,471	◎使用料 3,254 ◎賃借料 48,217	27,536
15. 工事請負費	0	◎改修工事費 0	18,000
18. 備品購入費	10,011	◎事業用機械器具費 6,998 ◎図書費 3,013	3,529
19. 負担金補助 及び交付金	11,107	◎負担金 11,107	11,107
27. 公 課 費	0	◎自動車重量税 0	80

(4) 館別資料費

○ 図 書 館

(単位：千円)

館 名	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
中 央	34,074 (34,082)	2,710 (2,712)	36,784 (36,794)	580 (533)	6,234 (6,234)	43,598 (43,561)
行 徳	8,558 (8,503)	303 (303)	8,861 (8,806)	3,498 (427)	1,690 (1,690)	14,049 (10,923)
信 篤	2,248 (2,127)	0 (0)	2,248 (2,127)	0 (0)	550 (550)	2,798 (2,677)
南行徳	2,248 (2,127)	0 (0)	2,248 (2,127)	0 (0)	560 (560)	2,808 (2,687)
平 田	2,446 (2,130)	0 (0)	2,446 (2,130)	0 (0)	520 (520)	2,966 (2,650)
市川駅南口	4,775 (5,054)	0 (0)	4,775 (5,054)	332 (346)	735 (735)	5,842 (6,135)
全 館 リクエスト	12,496 (12,370)	0 (0)	12,496 (12,370)	0 (0)	0 (0)	12,496 (12,370)
合 計	66,845 (66,393)	3,013 (3,015)	69,858 (69,408)	4,410 (1,306)	10,289 (10,289)	84,557 (81,003)

○ 図書館類似施設

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	280 (280)	0 (0)	280 (280)	0 (0)	14 (14)	294 (294)

○ 公民館図書室（大野・西部・菅谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	2,918 (3,000)	0 (0)	2,918 (3,000)	0 (0)	0 (0)	2,918 (3,000)

○ 市民図書室（塩焼・稲越・福栄・大柏の4図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
市 民 図書室	1,248 (1,248)	0 (0)	1,248 (1,248)	0 (0)	40 (40)	1,288 (1,288)

○ 資料費総計

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
総 計	71,291 (70,922)	3,013 (3,015)	74,304 (73,937)	4,410 (1,306)	10,343 (10,343)	89,057 (85,586)

※ () 内は平成30年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

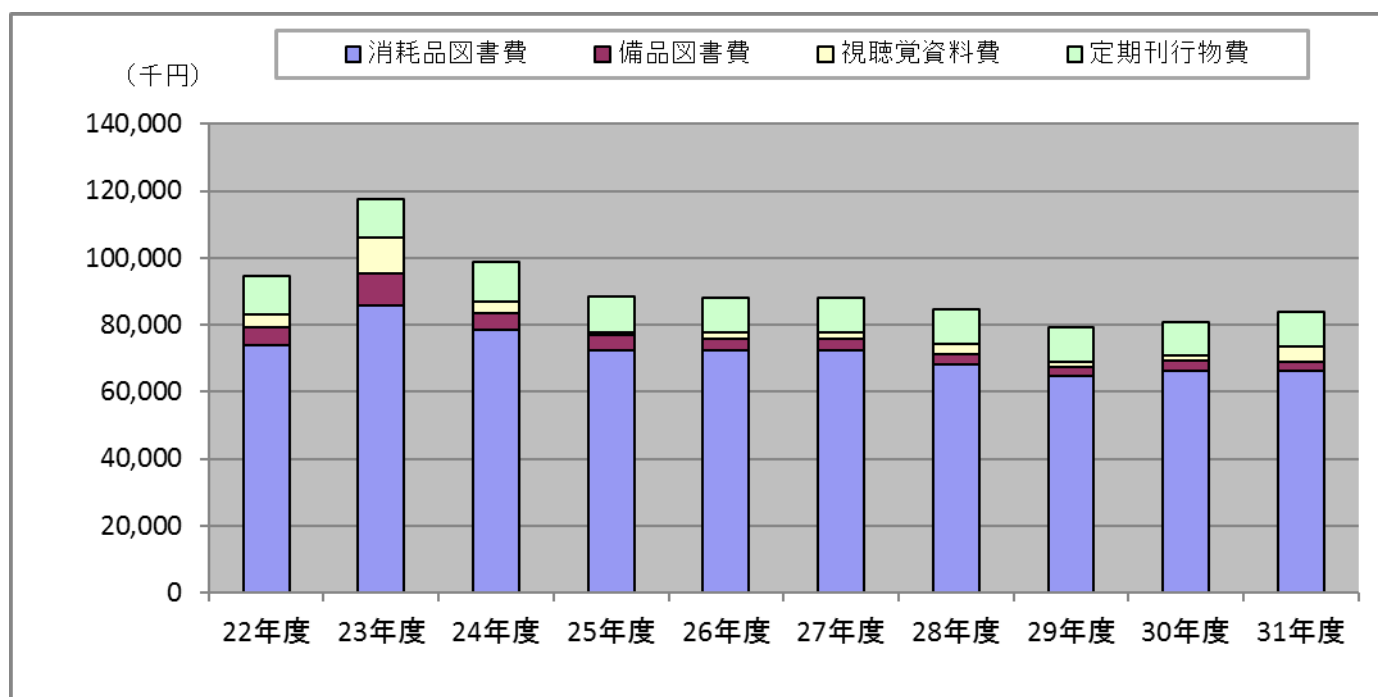
※ 資料費のより一層の有効活用を図るため、各館のリクエスト図書購入費を一本化し、「全館リクエスト」として計上

※ 歳出(予算)は切り上げ

○市川市図書館資料費当初予算額推移表

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
図書費	79,274	95,357	83,377	77,044	75,927	75,927	71,450	67,616	69,408	69,858
消耗品図書費	73,889	85,797	78,377	72,544	72,362	72,362	68,032	64,601	66,393	66,845
備品図書費	5,385	9,560	5,000	4,500	3,565	3,565	3,418	3,015	3,015	3,013
視聴覚資料費	3,731	10,655	3,714	835	1,924	1,924	2,911	1,485	1,306	4,410
消耗品費	3,263	3,246	3,245	835	1,451	1,451	2,157	855	793	3,912
備品購入費	468	7,409	469	0	473	473	754	630	513	498
定期刊行物費	11,423	11,669	11,597	10,437	10,437	10,437	10,489	10,289	10,289	10,289
合 計	94,428	117,681	98,688	88,316	88,288	88,288	84,850	79,390	81,003	84,557



9. 平成30年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成30年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,326	65	345	2,388	350	327	348	15,149
1哲学	22,453	211	730	3,550	1,004	645	713	29,306
2歴史	31,027	323	1,595	9,106	1,688	1,575	3,108	48,422
3社会科学	56,233	454	2,363	15,622	2,478	2,441	1,775	81,366
4自然科学	26,660	384	1,354	6,639	1,596	1,452	1,092	39,177
5技術	20,219	1,685	2,913	8,541	3,011	2,752	5,816	44,937
6産業	8,509	187	693	2,725	713	568	896	14,291
7芸術	35,305	412	2,060	9,305	2,395	1,549	2,915	53,941
8言語	9,720	52	396	1,916	437	329	558	13,408
9文学	51,211	5,810	8,705	29,037	10,092	8,666	7,383	120,904
郷土行政	51,983	0	412	4,021	535	594	462	58,007
参考資料	25,911	0	149	2,118	352	230	404	29,164
外国語資料	13,664	0	0	703	0	0	0	14,367
障がい者資料	10,836	240	0	597	0	0	0	11,673
コーナー別資料	266,188	0	4,412	23,554	8,295	6,220	48,015	356,684
一般計	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	930,796

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	435	30	89	274	177	73	98	1,176
1哲学	499	24	99	217	78	67	64	1,048
2歴史	4,379	95	495	1,674	456	554	461	8,114
3社会科学	4,025	107	469	1,510	382	525	472	7,490
4自然科学	8,599	593	1,252	2,788	1,160	1,366	1,253	17,011
5技術	2,755	285	403	1,154	427	480	589	6,093
6産業	1,605	83	226	563	205	260	238	3,180
7芸術	3,519	389	562	1,420	681	616	803	7,990
8言語	839	21	141	337	132	138	144	1,752
9文学	25,544	1,923	3,909	9,904	3,811	4,876	3,456	53,423
E絵本	36,426	3,045	6,580	15,454	4,965	5,889	6,521	78,880
P紙芝居	1,096	149	246	464	122	176	361	2,614
児童郷土	1,582	0	8	295	79	16	0	1,980
児童参考	760	0	18	146	68	29	85	1,106
児童研究	2,746	0	0	578	79	137	0	3,540
児童計	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	195,397

図書計	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	1,126,193
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	40,968	0	1,341	6,049	1,512	1,162	1,248	52,280
ビデオ	3,723	0	0	47	0	0	0	3,770
DVD	1,939	0	0	384	0	0	1,011	3,334
CD	12,855	0	0	7,475	0	0	0	20,330
その他付録等	1,184	0	8	102	3	3	52	1,352
図書以外計	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	81,066

総計	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	1,207,259
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳 (平成30年度)

(単位:冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	17,410	0	322	2,455	306	406	354	21,253
千葉県	22,853	0	90	1,566	229	188	108	25,034
市民文庫	5,981	0	0	0	0	0	0	5,981
特別コレクション	5,739	0	0	0	0	0	0	5,739
合計	51,983	0	412	4,021	535	594	462	58,007

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,625	0	0	670	0	0	0	7,295
中国語	3,786	0	0	10	0	0	0	3,796
韓国語	1,624	0	0	20	0	0	0	1,644
ドイツ語	118	0	0	0	0	0	0	118
フランス語	348	0	0	1	0	0	0	349
スペイン語	311	0	0	1	0	0	0	312
ポルトガル語	123	0	0	1	0	0	0	124
イタリア語	220	0	0	0	0	0	0	220
西洋の諸言語	49	0	0	0	0	0	0	49
東洋の諸言語	460	0	0	0	0	0	0	460
合計	13,664	0	0	703	0	0	0	14,367

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,154	0	0	0	0	0	0	3,154
音訳図書	2,685	0	0	0	0	0	0	2,685
DAISY図書	552	0	0	0	0	0	0	552
大活字本	2,837	240	0	597	0	0	0	3,674
CDブック	1,090	0	0	0	0	0	0	1,090
文芸カセット	332	0	0	0	0	0	0	332
布の絵本	133	0	0	0	0	0	0	133
その他	53	0	0	0	0	0	0	53
合計	10,836	240	0	597	0	0	0	11,673

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	18,934	0	0	2,159	61	1,533	0	22,687
B文庫	53,428	0	4,321	20,498	8,234	4,687	13,947	105,115
V新書	13,583	0	91	897	0	0	12,515	27,086
M外国文学	17,655	0	0	0	0	0	0	17,655
N環境	4,654	0	0	0	0	0	0	4,654
Jビジネス	31,595	0	0	0	0	0	12,300	43,895
X日本文学	52,859	0	0	0	0	0	0	52,859
W平和	9,037	0	0	0	0	0	0	9,037
H暮らし	28,340	0	0	0	0	0	※ 9,253	37,593
D趣味	19,421	0	0	0	0	0	0	19,421
Sスポーツ	5,523	0	0	0	0	0	0	5,523
G旅行	11,159	0	0	0	0	0	0	11,159
合計	266,188	0	4,412	23,554	8,295	6,220	48,015	356,684

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	584,972	9,231	27,144	109,418	48,586	29,334	66,363	875,048
平成26年度	598,006	9,920	27,463	109,920	47,685	27,579	69,097	889,670
平成27年度	609,978	10,469	27,521	107,595	47,273	27,230	71,575	901,641
平成28年度	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	916,960
平成29年度	626,801	9,457	27,065	117,054	44,100	27,094	72,473	924,044
平成30年度	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	930,796

b) 児童書の推移

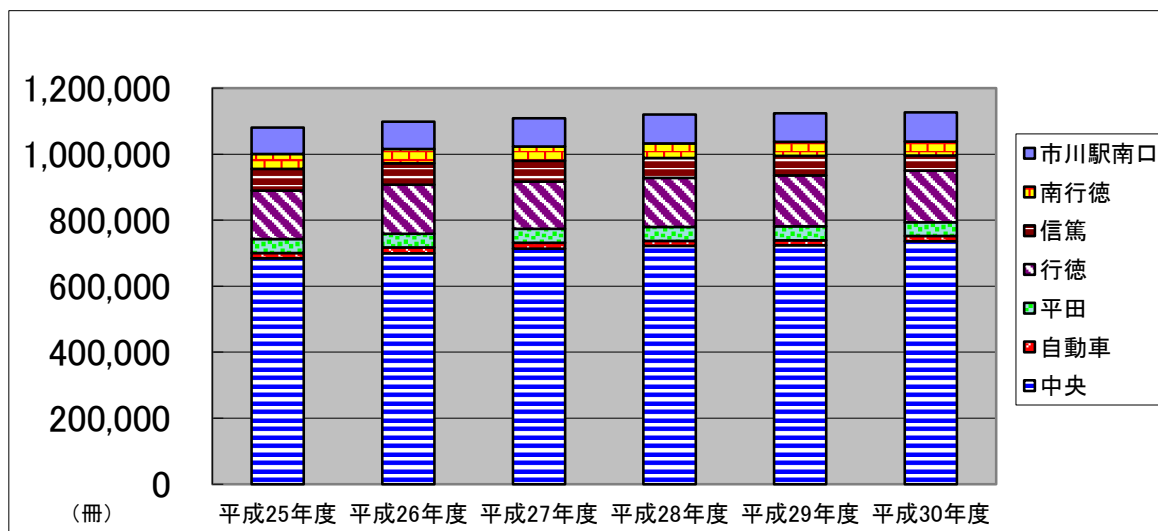
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	99,621	7,046	14,375	38,115	16,826	16,221	13,615	205,819
平成26年度	101,774	7,338	14,534	38,832	16,383	15,682	13,865	208,408
平成27年度	103,348	7,497	14,568	35,704	16,045	15,837	14,093	207,092
平成28年度	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	203,023
平成29年度	96,759	6,458	14,581	37,484	15,273	15,151	14,302	200,008
平成30年度	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	195,397

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	684,593	16,277	41,519	147,533	65,412	45,555	79,978	1,080,867
平成26年度	699,780	17,258	41,997	148,752	64,068	43,261	82,962	1,098,078
平成27年度	713,326	17,966	42,089	143,299	63,318	43,067	85,668	1,108,733
平成28年度	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	1,119,983
平成29年度	723,560	15,915	41,646	154,538	59,373	42,245	86,775	1,124,052
平成30年度	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	1,126,193



(2) 分類別貸出冊数 (平成30年度)

(単位: 冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,121	25	453	4,423	392	485	1,929	12,828
1哲学	25,554	221	1,499	13,589	1,843	2,134	8,424	53,264
2歴史	22,300	512	3,394	29,858	3,698	4,070	24,371	88,203
3社会科学	35,863	390	2,954	29,596	2,799	3,503	11,800	86,905
4自然科学	19,966	392	1,408	13,652	2,006	1,623	6,560	45,607
5技術	17,873	1,564	5,433	35,681	5,357	5,764	29,619	101,291
6産業	5,360	119	510	6,452	718	838	3,712	17,709
7芸術	21,129	193	1,438	13,490	2,728	1,695	11,171	51,844
8言語	14,344	91	507	5,403	593	581	3,883	25,402
9文学	24,003	4,795	11,295	67,454	11,614	11,461	42,052	172,674
郷土行政	3,980	3	144	591	144	122	1,071	6,055
参考資料	688	0	3	68	3	2	23	787
外国語資料	3,436	19	30	897	29	33	385	4,829
障がい者資料	6,739	45	18	525	31	28	339	7,725
コーナー別資料	570,226	1,214	17,278	138,725	34,688	22,652	208,346	993,129
一般計	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	1,668,252

(単位: 冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	944	17	194	552	72	76	429	2,284
1哲学	1,514	23	129	651	97	81	557	3,052
2歴史	5,672	73	249	2,983	280	309	1,616	11,182
3社会科学	6,603	297	300	3,118	194	434	1,549	12,495
4自然科学	17,095	841	1,098	9,934	1,027	1,221	4,859	36,075
5技術	7,960	478	818	5,846	792	1,125	3,280	20,299
6産業	2,543	112	284	1,400	191	314	786	5,630
7芸術	10,776	803	993	6,690	1,071	1,027	4,382	25,742
8言語	1,728	50	166	1,088	107	134	601	3,874
9文学	67,945	3,127	6,383	44,370	5,081	5,378	22,408	154,692
E絵本	201,995	4,097	15,273	104,739	16,411	15,785	61,214	419,514
P紙芝居	6,683	198	651	3,580	232	267	2,336	13,947
児童郷土	799	0	5	107	7	0	13	931
児童参考	80	0	1	11	3	1	5	101
児童研究	796	1	15	280	29	17	140	1,278
児童計	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	711,096

図書計	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	2,379,348
-----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位: 点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,964	43	3,293	24,390	3,784	5,712	11,043	95,229
ビデオ	1,115	0	9	75	3	7	36	1,245
DVD	15,429	0	144	2,859	191	151	4,636	23,410
CD	39,053	0	622	17,185	872	513	3,862	62,107
その他付録等	16,496	24	239	6,342	332	336	30,118	53,887
図書以外計	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	235,878

総計	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	2,615,226
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

塩焼市民図書室	3,399	大野公民館図書室	80,438	男女共同参画センター	8,061	図書館以外	154,546
稲越市民図書室	2,212	西部公民館図書室	11,344	情報プラザ	33,520	市民図書室	
福栄市民図書室	5,098	豊谷公民館図書室	6,611	千葉商科大学図書館	811	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,247	東部公民館図書室	1,563	宅配	242	その他	
市民図書室計	11,956	公民館図書室計	99,956	その他計	42,634	合計	

他施設含む総計 **2,769,772**

(2-2) 分野別貸出冊数内訳（平成30年度）

（単位：冊）

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,408	3	74	318	73	75	724	2,675
千葉県	874	0	17	158	56	12	208	1,325
市民文庫	772	0	12	97	13	29	86	1,009
特別コレクション	926	0	41	18	2	6	53	1,046
合計	3,980	3	144	591	144	122	1,071	6,055

（単位：冊）

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	2,473	19	28	827	28	30	354	3,759
中国語	694	0	0	36	1	1	16	748
韓国語	144	0	0	29	0	0	12	185
ドイツ語	17	0	0	0	0	0	0	17
フランス語	50	0	0	0	0	0	0	50
スペイン語	34	0	2	0	0	0	3	39
ポルトガル語	9	0	0	0	0	0	0	9
イタリア語	10	0	0	0	0	2	0	12
西洋の諸言語	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋の諸言語	5	0	0	5	0	0	0	10
合計	3,436	19	30	897	29	33	385	4,829

（単位：冊）

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	286	0	1	3	2	3	6	301
音訳図書	11	0	0	0	0	0	0	11
DAISY図書	13	0	0	0	0	0	0	13
大活字本	4,015	45	13	379	18	14	169	4,653
CDブック	2,314	0	3	137	11	11	163	2,639
文芸カセット	65	0	0	4	0	0	0	69
布の絵本等	35	0	1	2	0	0	1	39
合計	6,739	45	18	525	31	28	339	7,725

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

（単位：冊）

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	291	0	0	0	0	0	0	291
音訳図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書郵送	151	0	0	0	0	0	0	151
CDブック郵送	153	0	0	0	0	0	0	153
合計	595	0	0	0	0	0	0	595

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

（単位：冊）

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	30,966	53	393	5,297	751	885	2,775	41,120
B文庫	163,478	455	11,962	108,317	28,386	16,491	114,791	443,880
V新書	11,428	51	700	2,189	354	424	22,490	37,636
M外国文学	8,343	9	137	645	176	136	1,288	10,734
N環境	1,120	0	15	162	16	4	110	1,427
Jビジネス	40,799	79	1,029	5,679	878	1,196	27,791	77,451
X日本文学	110,053	193	969	6,377	1,516	1,402	6,632	127,142
W平和	2,707	2	17	200	38	37	229	3,230
H暮らし	100,761	267	1,288	6,034	1,376	1,256	26,276	137,258
D趣味	35,237	60	289	1,365	384	313	2,108	39,756
Sスポーツ	12,239	8	118	598	316	117	884	14,280
G旅行	53,095	37	361	1,862	497	391	2,972	59,215
合計	570,226	1,214	17,278	138,725	34,688	22,652	208,346	993,129

(2-3) 貸出点数の推移 (平成30年度)

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	944,774	12,276	54,179	383,142	76,582	66,684	398,745	1,936,382
平成26年度	919,675	12,207	53,973	382,740	77,251	63,643	399,362	1,908,851
平成27年度	896,060	11,275	52,164	388,747	75,297	62,982	396,763	1,883,288
平成28年度	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	1,772,937
平成29年度	803,098	9,786	47,809	363,049	69,999	56,780	372,264	1,722,785
平成30年度	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	1,668,252

b) 児童書の推移

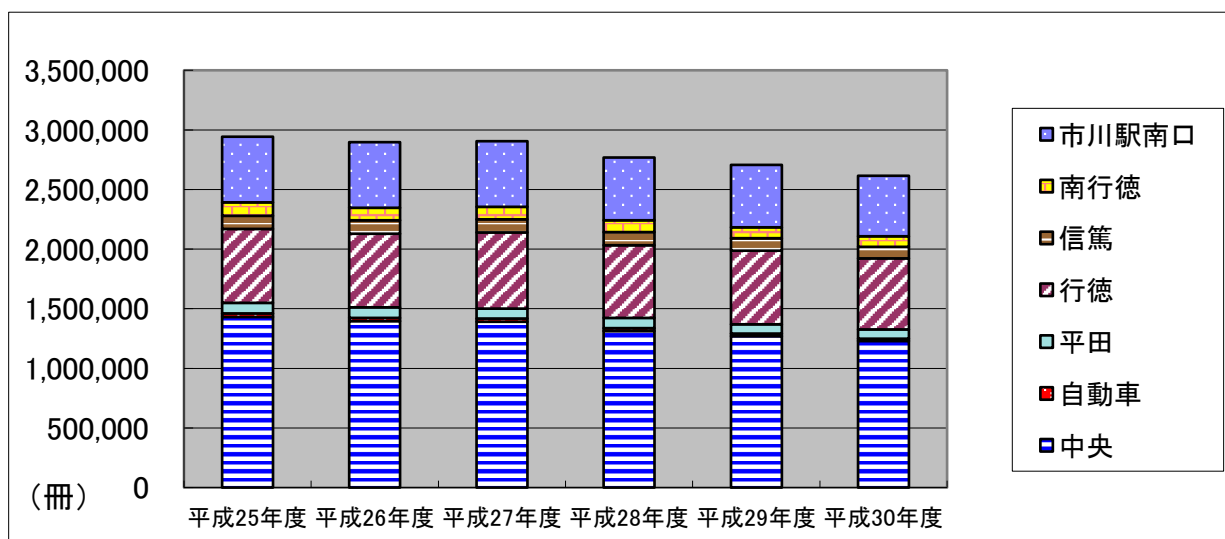
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	296,879	16,764	26,132	179,971	28,278	36,975	96,798	681,797
平成26年度	294,853	13,985	28,383	176,847	28,404	34,765	98,229	675,466
平成27年度	323,980	13,437	27,053	190,204	30,011	33,754	100,553	718,992
平成28年度	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	716,435
平成29年度	329,168	11,349	25,911	199,227	29,405	29,043	101,047	725,150
平成30年度	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	711,096

c) 一般、児童書、視聴覚、雑誌等合計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	1,432,031	29,291	86,983	621,029	111,152	111,906	548,863	2,941,255
平成26年度	1,395,619	26,386	88,626	618,130	112,051	105,765	550,598	2,897,175
平成27年度	1,391,724	24,912	84,726	637,415	111,411	103,736	552,165	2,906,089
平成28年度	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	2,767,394
平成29年度	1,268,966	21,285	78,556	616,824	105,092	93,049	523,694	2,707,466
平成30年度	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	2,615,226



(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数（平成30年度）

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.45	0.38	1.31	1.85	1.12	1.48	5.54	0.85
1哲学	1.14	1.05	2.05	3.83	1.84	3.31	11.81	1.82
2歴史	0.72	1.59	2.13	3.28	2.19	2.58	7.84	1.82
3社会科学	0.64	0.86	1.25	1.89	1.13	1.44	6.65	1.07
4自然科学	0.75	1.02	1.04	2.06	1.26	1.12	6.01	1.16
5技術	0.88	0.93	1.87	4.18	1.78	2.09	5.09	2.25
6産業	0.63	0.64	0.74	2.37	1.01	1.48	4.14	1.24
7芸術	0.60	0.47	0.70	1.45	1.14	1.09	3.83	0.96
8言語	1.48	1.75	1.28	2.82	1.36	1.77	6.96	1.89
9文学	0.47	0.83	1.30	2.32	1.15	1.32	5.70	1.43
郷土行政	0.08	---	0.35	0.15	0.27	0.21	2.32	0.10
参考資料	0.03	---	0.02	0.03	0.01	0.01	0.06	0.03
外国語資料	0.25	---	---	1.28	---	---	---	0.34
障がい者資料	0.62	0.19	---	0.88	---	---	---	0.66
ポピュラー	2.14	---	3.92	5.89	4.18	3.64	4.34	2.78
一般計	1.21	0.98	1.77	3.01	2.02	2.01	4.81	1.79

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	1.64	3.06	0.84	0.47	0.24	1.29
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
2.14	2.08	0.30	3.56	1.81	2.22	4.76

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	2.26	2.84	8.23	1.80

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	2.17	0.57	2.18	2.01	0.41	1.04	4.38	1.94
1哲学	3.03	0.96	1.30	3.00	1.24	1.21	8.70	2.91
2歴史	1.30	0.77	0.50	1.78	0.61	0.56	3.51	1.38
3社会科学	1.64	2.78	0.64	2.06	0.51	0.83	3.28	1.67
4自然科学	1.99	1.42	0.88	3.56	0.89	0.89	3.88	2.12
5技術	2.89	1.68	2.03	5.07	1.85	2.34	5.57	3.33
6産業	1.58	1.35	1.26	2.49	0.93	1.21	3.30	1.77
7芸術	3.06	2.06	1.77	4.71	1.57	1.67	5.46	3.22
8言語	2.06	2.38	1.18	3.23	0.81	0.97	4.17	2.21
9文学	2.66	1.63	1.63	4.48	1.33	1.10	6.48	2.90
E絵本	5.55	1.35	2.32	6.78	3.31	2.68	9.39	5.32
P紙芝居	6.10	1.33	2.65	7.72	1.90	1.52	6.47	5.34
児童郷土	0.51	---	0.63	0.36	0.09	0.00	---	0.47
児童参考	0.11	---	0.06	0.08	0.04	0.03	0.06	0.09
児童研究	0.29	---	---	0.48	0.37	0.12	---	0.36
児童計	3.51	1.50	1.83	5.04	2.00	1.72	7.16	3.64

図書計	1.51	1.19	1.80	3.49	2.02	1.91	5.20	2.11
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	1.15	---	2.46	4.03	2.50	4.92	8.85	1.82
ビデオ	0.30	---	---	1.60	---	---	---	0.33
DVD	7.96	---	---	7.45	---	---	4.59	7.02
CD	3.04	---	---	2.30	---	---	---	3.05

総計	1.54	1.19	1.84	3.50	2.06	2.01	5.62	2.17
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒

2.29

(4) リクエスト統計

平成30年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	122,529	24.77%	100.3%
自動車	2,388	0.48%	103.7%
平田	15,514	3.14%	100.0%
行徳	108,424	21.92%	101.7%
信篤	20,545	4.15%	96.8%
南行徳	21,890	4.43%	98.5%
市川駅南口	121,008	24.46%	101.0%
図書館合計	412,298	83.35%	100.6%
ウィズ	4,644	0.94%	93.8%
情報プラザ	31,857	6.44%	105.0%
塩焼市民	3,069	0.62%	115.9%
稲越市民	1,105	0.22%	114.3%
福栄市民	3,801	0.77%	91.4%
大柏市民	1,158	0.23%	84.1%
大野公民	19,885	4.02%	106.9%
西部公民	8,376	1.69%	94.2%
曾谷公民	6,133	1.24%	116.4%
東部公民	1,310	0.26%	59.2%
千葉商大	856	0.17%	89.0%
宅配	152	0.03%	410.8%
関連施設合計	82,346	16.65%	102.4%
総 計	494,644	100%	100.9%

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
29年度	490,193	16,720	506,913
30年度	494,644	15,653	510,297

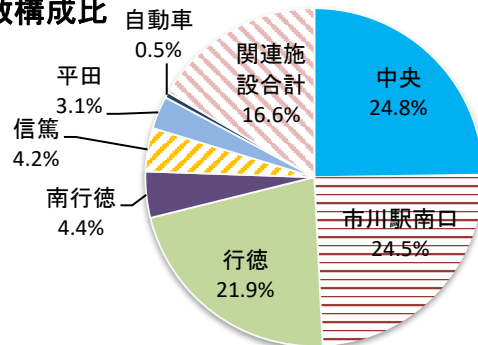
リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内 所蔵	購入	市外 借用	提供 不能	合計
25年度	469,375	9,224	5,723	598	484,920
26年度	472,359	9,049	5,392	560	487,360
27年度	478,388	9,003	5,528	510	493,429
28年度	471,289	8,621	6,545	552	487,007
29年度	475,488	8,414	5,854	437	490,193
30年度	480,591	8,076	5,527	450	494,644

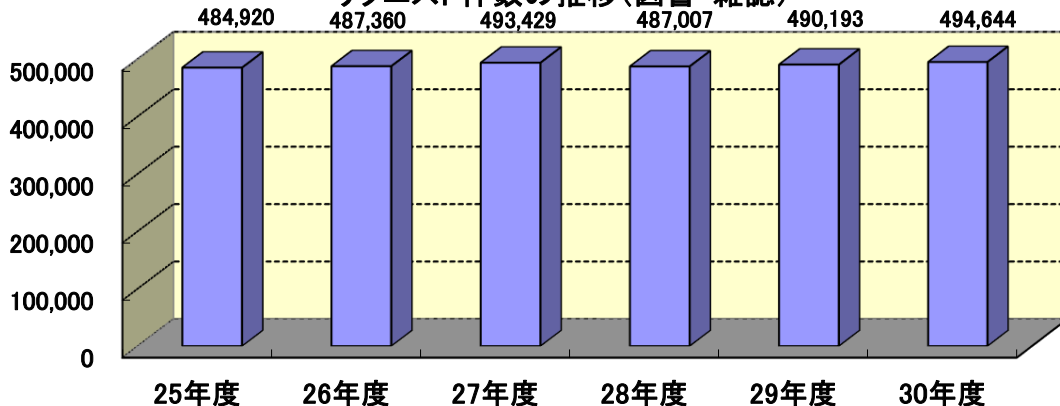
リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	C D	ビデオ	D V D	合計
25年度	19,470	425	3,871	23,766
26年度	18,551	240	4,498	23,289
27年度	17,820	190	4,078	22,088
28年度	15,102	137	3,951	19,190
29年度	13,185	108	3,427	16,720
30年度	12,895	118	2,640	15,653

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト件数の推移(図書・雑誌)



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
平成27年度	5,801	116	118	2,542	338	410	2,248	8	—	—	11,581
平成28年度	4,695	109	125	2,559	347	355	2,264	9	228	—	10,691
平成29年度	4,577	74	143	2,443	273	284	2,086	11	226	—	10,117
平成30年度	5,405	88	120	2,480	276	272	2,377	3	227	61	11,309
(計)	20,478	387	506	10,024	1,234	1,321	8,975	31	681	61	43,698
有効登録者数	54,835	431	1,690	20,014	3,195	3,351	22,341	72	1,735	146	107,810
内12歳以下	5,812	214	242	2,157	407	461	1,328	6	271	17	10,915
実利用者数	33,477	285	1,263	13,375	2,170	2,129	14,910	50	1,367	122	69,148
累積登録者数											601,566
更新者数											17,786

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：平成30年度に更新した登録者数

※数値には団体登録等も含む

有効期限内隣接地域登録者

(単位：人)

	隣接	在勤	在学	障がい	計
船橋市	5,040	422	229	7	5,698
松戸市	933	157	112	2	1,204
鎌ヶ谷市	150	46	11	2	209
浦安市	136	33	16	0	185
江戸川区	234	0	0	0	234
計	6,493	658	368	11	7,530

パスワード申請数(単位：人)

平成13年度～	66,870
平成24年度	5,138
平成25年度	5,113
平成26年度	5,466
平成27年度	5,953
平成28年度	5,726
平成29年度	365,650
平成30年度	459,916
累計	

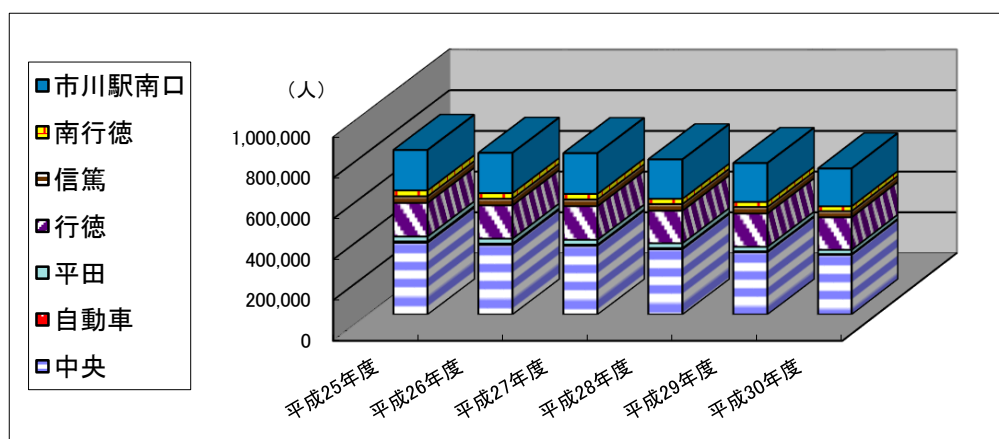
※平成13年度11月より
受付(累計)

※平成30年度12月より
全員付与(団体を除く)

(6) 延べ利用者数の推移

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成25年度	352,590	6,565	24,326	164,681	32,705	28,984	198,485	808,336
平成26年度	342,579	5,898	24,390	163,570	32,779	27,363	197,889	794,468
平成27年度	338,107	5,421	23,666	165,257	33,164	26,957	200,357	792,929
平成28年度	321,266	5,074	23,931	159,743	32,850	25,720	193,545	762,129
平成29年度	306,234	4,333	22,131	163,595	32,079	24,902	190,805	744,079
平成30年度	293,330	3,774	20,886	159,897	30,237	23,633	185,940	717,697



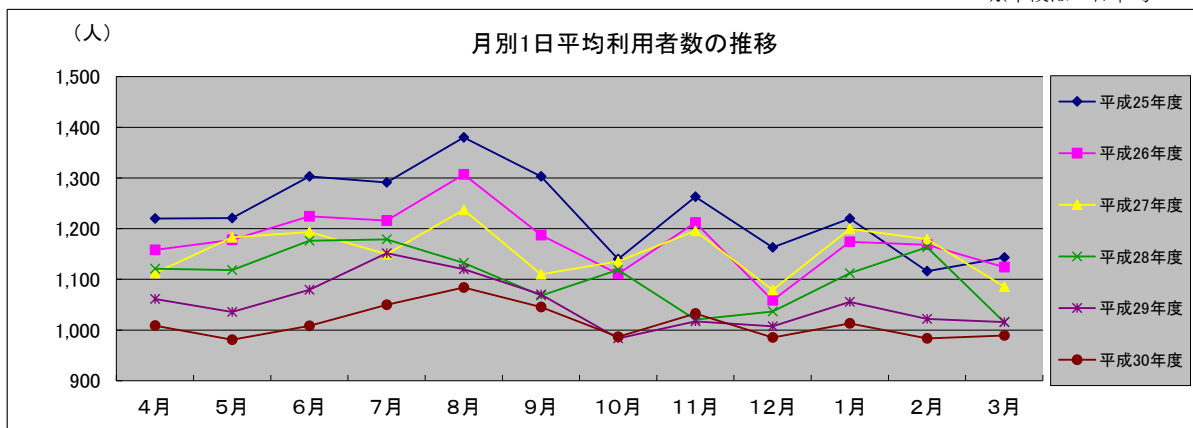
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(単位:日) 蔵書点検等
平成25年度	24	26	25	25	27	24	26	21	18	22	23	25	286	11-12月
平成26年度	25	26	21	26	27	24	26	23	23	22	23	25	291	6月・11月
平成27年度	25	26	21	26	26	25	26	22	24	23	23	26	293	6月・11月
平成28年度	25	25	22	26	26	25	25	25	23	22	21	26	291	6月・2月
平成29年度	25	25	22	25	27	25	25	25	23	22	22	25	291	6月・2月
平成30年度	25	25	25	25	27	25	25	22	19	22	23	26	289	11-12月

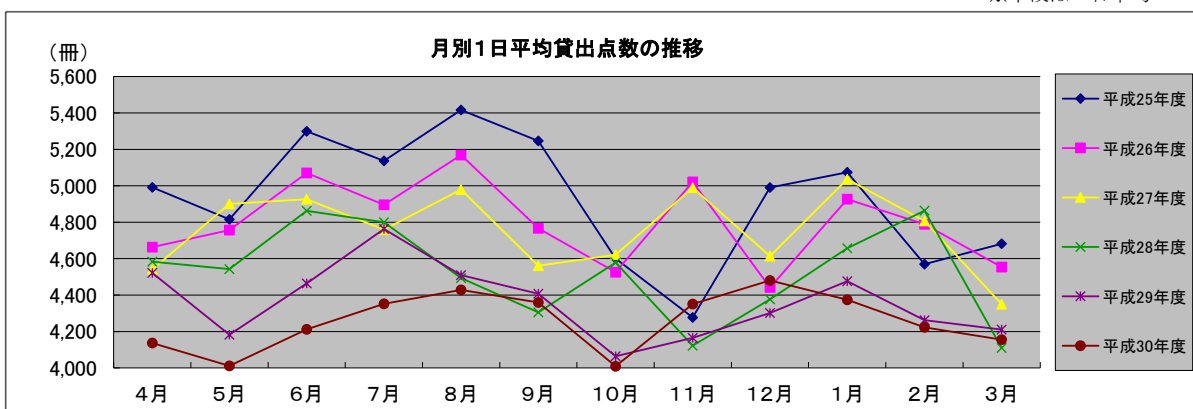
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(単位:人) 前年比
平成25年度	29,287	31,746	32,578	32,267	37,250	31,269	29,628	26,533	20,939	26,849	25,658	28,586	352,590	
平成26年度	1,220	1,221	1,303	1,291	1,380	1,303	1,140	1,263	1,163	1,220	1,116	1,143	1,212	93.3%
平成27年度	28,949	30,625	25,711	31,619	35,290	28,495	28,877	27,873	24,347	25,826	26,870	28,097	342,579	
平成28年度	1,158	1,178	1,224	1,216	1,307	1,187	1,111	1,212	1,059	1,174	1,168	1,124	1,177	97.2%
平成29年度	27,809	30,750	25,062	29,897	32,170	27,748	29,529	26,307	25,897	27,587	27,126	28,225	338,107	
平成30年度	1,112	1,183	1,193	1,150	1,237	1,110	1,136	1,196	1,079	1,199	1,179	1,086	1,154	98.7%
平成25年度	28,027	27,959	25,876	30,649	29,441	26,694	27,969	25,514	23,838	24,469	24,427	26,403	321,266	
平成26年度	1,121	1,118	1,176	1,179	1,132	1,068	1,119	1,021	1,036	1,112	1,163	1,016	1,104	95.0%
平成27年度	26,537	25,887	23,745	28,791	30,239	26,758	24,587	25,426	23,174	23,218	22,480	25,392	306,234	
平成28年度	1,061	1,035	1,079	1,152	1,120	1,070	983	1,017	1,008	1,055	1,022	1,016	1,052	95.3%
平成29年度	25,217	24,523	25,206	26,250	29,268	26,137	24,663	22,718	18,718	22,293	22,617	25,720	293,330	
平成30年度	1,009	981	1,008	1,050	1,084	1,045	987	1,033	985	1,013	983	989	1,015	95.8%

※下段は一日平均



貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(単位:点) 前年比
平成25年度	119,777	125,219	132,474	128,436	146,224	125,891	119,620	110,817	89,816	111,623	105,111	117,023	1,432,031	
平成26年度	4,991	4,816	5,299	5,137	5,416	5,246	4,601	4,277	4,990	5,074	4,570	4,681	4,921	93.3%
平成27年度	116,592	123,659	106,468	127,292	139,561	114,386	117,668	115,496	102,147	108,374	110,138	113,852	1,395,633	
平成28年度	4,664	4,756	5,070	4,896	5,169	4,766	4,526	5,022	4,441	4,926	4,789	4,554	4,796	97.5%
平成29年度	113,510	127,413	103,456	123,745	129,458	114,015	120,151	109,763	110,726	115,836	110,551	113,100	1,391,724	
平成30年度	4,540	4,901	4,926	4,759	4,979	4,561	4,621	4,989	4,614	5,036	4,807	4,350	4,750	99.7%
平成25年度	114,594	113,561	106,974	124,802	116,832	107,626	114,446	103,047	100,657	102,446	102,128	106,859	1,313,972	
平成26年度	4,584	4,542	4,862	4,800	4,494	4,305	4,578	4,122	4,376	4,657	4,863	4,110	4,515	94.4%
平成27年度	113,037	104,555	98,213	119,063	121,767	110,181	101,598	104,109	98,932	98,475	93,778	105,258	1,268,966	
平成28年度	4,521	4,182	4,464	4,763	4,510	4,407	4,064	4,164	4,301	4,476	4,263	4,210	4,361	96.6%
平成29年度	103,417	100,269	105,283	108,802	119,552	108,987	100,228	95,706	85,122	96,234	97,132	108,040	1,228,772	
平成30年度	4,137	4,011	4,211	4,352	4,428	4,359	4,009	4,350	4,480	4,374	4,223	4,155	4,252	96.8%

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数(平成30年度)

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	216	25	30	-19	192	4	0	13	0	-9	31	1	28	-7	-3	127	10	27	10	120
1哲学	549	21	141	4	433	6	3	18	0	-9	31	1	59	1	-26	193	19	45	0	167
2歴史	608	32	33	-36	571	10	4	4	0	10	162	1	185	0	-22	610	14	254	18	388
3社会科学	1,244	38	79	16	1,219	14	2	0	0	16	84	4	64	2	26	742	70	247	4	569
4自然科学	745	12	79	13	691	14	1	12	0	3	62	1	144	1	-80	337	19	418	0	-62
5技術	383	15	27	39	410	94	3	60	0	37	108	0	310	0	-202	412	22	339	11	106
6産業	225	3	14	-7	207	4	0	8	0	-4	13	0	51	-1	-39	184	12	190	1	7
7芸術	708	52	157	-10	593	12	2	8	0	6	44	1	142	0	-97	273	36	208	10	111
8言語	218	7	105	11	131	3	0	1	0	2	5	0	37	0	-32	108	6	66	2	50
9文学	347	19	203	420	583	266	33	5	20	314	535	17	1,067	-15	-530	1,151	67	430	5	793
郷土行政	194	1,102	81	93	1,308	0	0	0	0	0	4	26	5	-1	24	10	144	11	3	146
参考資料	425	34	64	28	423	0	0	0	0	0	2	0	0	-2	0	64	2	45	-5	16
外国語資料	215	9	49	-4	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3	0	0	35
読みたい資料	126	121	97	4	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	9
ポピュラー	10,190	391	3,905	682	7,358	0	0	0	0	0	247	41	251	6	43	1,183	457	1,355	28	313
一般計	16,393	1,881	5,064	1,234	14,444	427	48	129	20	366	1,328	93	2,343	-16	-938	5,434	881	3,635	88	2,768

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
					666	68	1,087	63	-290	2,479	174	1,268	179	1,564	334	2	110	3	229
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
1,948	51	368	55	1,686	40	1	8	16	49	1,510	22	144	145	1,533	774	10	155	7	636

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	22	1	28	-3	-8	1	0	0	0	1	6	0	8	0	-2	5	0	37	-2	-34
1哲学	22	2	48	0	-24	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2	6	1	11	-5	-9
2歴史	67	18	259	9	-165	2	0	0	0	2	17	0	14	0	3	48	9	75	7	-11
3社会科学	96	5	282	3	-178	7	0	0	0	7	29	3	35	0	-3	56	6	43	14	33
4自然科学	227	14	364	-5	-128	31	0	0	0	31	36	3	122	1	-82	141	12	103	24	74
5技術	74	16	167	1	-76	32	0	1	0	31	4	9	56	0	-43	46	16	84	-6	-28
6産業	41	1	83	-8	-49	11	0	0	0	11	2	1	39	0	-36	36	3	10	4	33
7芸術	106	12	404	11	-275	30	0	6	0	24	13	1	57	0	-43	66	5	64	15	22
8言語	46	3	63	0	-14	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	12	3	9	-1	5
9文学	668	228	769	-299	-172	107	0	3	0	104	157	0	150	-6	1	331	49	814	-8	-442
E絵本	1,585	63	2,241	-237	-830	83	5	11	-3	74	177	9	68	0	118	929	97	1,122	-68	-164
P紙芝居	74	1	6	0	69	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	15	0	11	0	4
児童郷土	8	104	21	-5	86	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	8	1	0	9
児童参考	8	1	6	-7	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	46	-14	-57
児童研究	35	11	229	1	-182	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	117	-29	-141
児童計	3,079	480	4,970	-539	-1,950	305	5	21	-3	286	445	27	551	-5	-84	1,698	212	2,547	-69	-706

図書計	19,472	2,361	10,034	695	12,494	732	53	150	17	652	1,773	120	2,894	-21	-1,022	7,132	1,093	6,182	19	2,062
-----	--------	-------	--------	-----	--------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-------	-------	-------	----	-------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	4,434	285	4,101	156	774	0	0	0	0	0	503	3	526	8	-12	1,662	17	1,877	0	-198
ビデオ	0	0	58	0	-58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1
DVD	49	7	19	36	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	6	4	0	37
CD	32	0	577	13	-532	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	55	287	6	-186
その他付随等	0	0	2,598	6	-2,592	0	0	0	0	0	0	0	41	0	-41	1	12	432	-1	-420
図書以外計	4,515	292	7,353	211	-2,335	0	0	0	0	0	503	3	567	8	-53	1,738	90	2,601	5	-768

総計	23,987	2,653	17,387	906	10,159	732	53	150	17	652	2,276	123	3,461	-13	-1,075	8,870	1,183	8,783	24	1,294
----	--------	-------	--------	-----	--------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-------	-------	-------	----	-------

一般書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	16	13	115	-1	-87	21	2	19	2	6	13	0	5	-6	2	428	51	237	-21	221
1哲学	43	41	291	1	-206	25	7	16	-3	13	35	1	5	-4	27	882	93	575	-1	399
2歴史	163	25	773	2	-583	154	7	263	-5	-107	263	1	104	-7	153	1,970	84	1,616	-28	410
3社会科学	105	73	867	5	-684	135	11	155	-9	-18	80	1	34	5	52	2,404	199	1,446	23	1,180
4自然科学	93	31	480	-1	-357	84	11	45	-4	46	35	1	27	-7	2	1,370	76	1,205	2	243
5技術	143	57	720	-3	-523	182	6	133	0	55	234	1	116	-17	102	1,556	104	1,705	30	-15
6産業	29	22	79	-2	-30	36	3	19	-1	19	29	0	25	-3	1	520	40	386	-13	161
7芸術	65	34	423	-2	-326	59	3	43	-6	13	71	1	19	-4	49	1,232	129	1,000	-12	349
8言語	14	8	66	0	-44	24	0	6	-1	17	30	0	7	-4	19	402	21	288	8	143
9文学	479	96	5,975	-56	-5,456	466	16	405	-208	-131	472	3	289	-272	-86	3,716	251	8,374	-106	-4,513
郷土行政	6	30	92	-3	-59	6	32	60	3	-19	6	43	4	-7	38	226	1,377	253	88	1,438
参考資料	9	0	20	-6	-17	9	0	14	-2	-7	11	1	1	-10	1	520	37	144	3	416
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	12	49	-4	206
読解いっ資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	121	97	5	163
ポピュラー	557	624	3,952	-11	-2,782	277	197	344	237	367	2,224	19	1,199	-392	652	14,678	1,729	11,006	550	5,951
一般計	1,722	1,054	13,853	-77	-11,154	1,478	295	1,522	3	254	3,503	72	1,835	-728	1,012	30,285	4,324	28,381	524	6,752

(単位:冊)

M外国文学					N環境					Jビジネス				
269	17	14	4	276	46	1	1	4	50	1,053	33	201	201	1,086
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
322	7	123	7	213	749	5	426	-2	326	0	0	0	0	0

児童書	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	5	0	13	0	-8	2	0	0	0	2	3	0	1	0	2	44	1	87	-5	-47
1哲学	4	1	20	0	-15	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	37	5	80	-5	-43
2歴史	25	1	191	0	-165	7	2	7	1	3	12	6	5	0	13	178	36	551	17	-320
3社会科学	14	3	119	0	-102	9	3	4	9	17	7	2	2	1	8	218	22	485	27	-218
4自然科学	33	4	353	0	-316	19	0	10	7	16	19	4	15	0	8	506	37	967	27	-397
5技術	5	9	90	0	-76	15	14	3	-1	25	15	13	23	0	5	191	77	424	-6	-162
6産業	6	2	30	0	-22	6	2	0	1	9	16	1	8	0	9	118	10	170	-3	-45
7芸術	15	1	106	0	-90	23	0	2	7	28	19	0	21	0	-2	272	19	660	33	-336
8言語	1	0	5	0	-4	4	0	0	1	5	5	0	1	0	4	70	6	79	0	-3
9文学	89	23	1,485	2	-1,371	105	6	27	4	88	115	65	63	0	117	1,572	371	3,311	-307	-1,675
E絵本	298	35	549	33	-183	248	15	379	-29	-145	212	10	175	0	47	3,532	234	4,545	-304	-1,083
P紙芝居	19	0	66	0	-47	0	0	0	0	0	28	6	4	0	30	136	7	88	0	55
児童郷土	0	1	3	-2	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	114	25	-7	92
児童参考	2	0	6	0	-4	2	0	0	0	2	4	0	0	-2	2	19	1	58	-23	-61
児童研究	10	0	54	0	-44	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	47	14	400	-29	-368
児童計	526	80	3,090	33	-2,451	441	43	432	-1	51	456	107	319	-1	243	6,950	954	11,930	-585	-4,611

(単位:冊)

図書計	2,248	1,134	16,943	-44	-13,605	1,919	338	1,954	2	305	3,959	179	2,154	-729	1,255	37,235	5,278	40,311	-61	2,141
-----	-------	-------	--------	-----	---------	-------	-----	-------	---	-----	-------	-----	-------	------	-------	--------	-------	--------	-----	-------

(単位:点)

図書以外	信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	567	0	665	1	-97	611	1	577	0	35	654	5	535	-142	-18	8,431	311	8,281	23	484
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	-59
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	5	10	-34	19	142	18	33	2	129
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	55	864	19	-718
その他付随等	0	0	12	0	-12	0	0	14	0	-14	0	0	88	-1	-89	1	12	3,185	4	-3,168
図書以外計	567	0	677	1	-109	611	1	591	0	21	712	10	633	-177	-88	8,646	396	12,422	48	-3,332

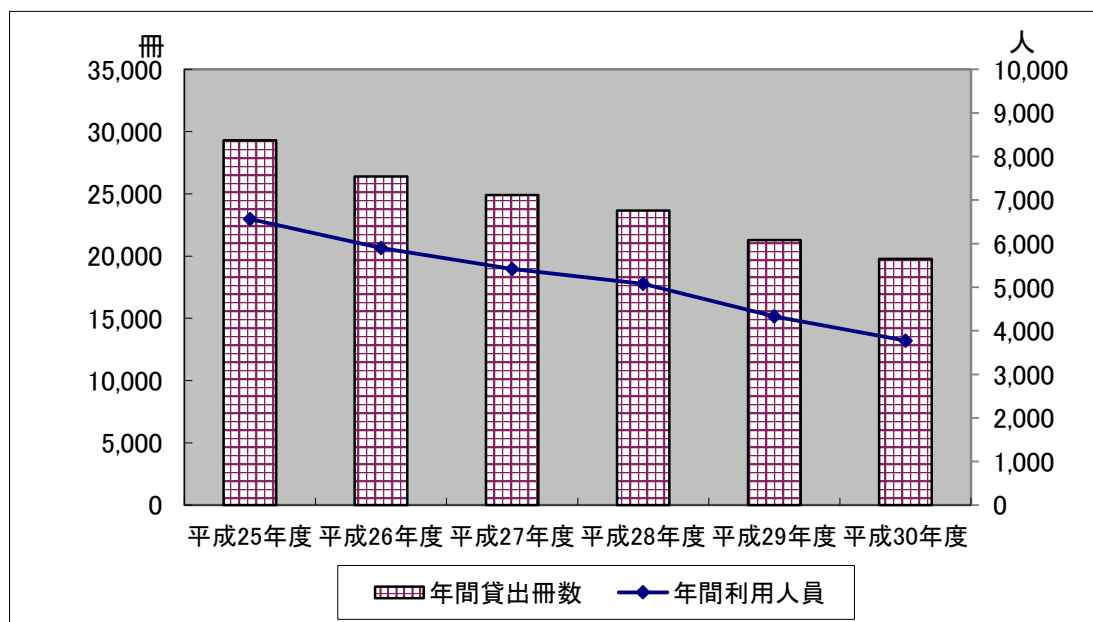
総計	2,815	1,134	17,620	-43	-13,714	2,530	339	2,545	2	326	4,671	189	2,787	-906	1,167	45,881	5,674	52,733	-13	-1,191
----	-------	-------	--------	-----	---------	-------	-----	-------	---	-----	-------	-----	-------	------	-------	--------	-------	--------	-----	--------

(9) 自動車図書館ステーション別統計 (平成30年度)

	ステーション名	巡回数	貸出冊数			利用人員		
				一日平均	前年度比(%)		一日平均	前年度比(%)
1	市営大町第1団地	22	733	33.3	107.5	134	6.1	90.5
2	市営大町第2団地	22	534	24.3	77.3	117	5.3	67.6
3	養護老人ホームいこい荘	21	566	27.0	171.5	140	6.7	127.3
4	柏井小学校	20	2,031	101.6	111.2	539	27.0	93.3
5	大野小学校	21	307	14.6	57.5	83	4.0	68.0
6	宮久保小学校	22	2,745	124.8	118.6	359	16.3	99.4
7	若宮児童公園	20	508	25.4	121.0	104	5.2	111.8
8	北国分2丁目公園	23	1,349	58.7	76.0	213	9.3	69.8
9	堀之内公園	38	2,269	59.7	62.6	457	12.0	63.8
10	歴史博物館	23	1,046	45.5	186.5	151	6.6	158.9
11	国府台児童公園	22	645	29.3	92.0	147	6.7	108.1
12	山王公園	21	876	41.7	119.7	151	7.2	131.3
13	石橋下公園	23	1,511	65.7	97.0	251	10.9	90.0
14	菅野小学校	21	728	34.7	84.4	151	7.2	92.1
15	㈱クボタ菅野ハイツ	20	1,981	99.1	109.6	331	16.6	122.6
16	塩浜体育館	37	1,428	38.6	70.7	317	8.6	72.7
17	島尻西公園	19	336	17.7	76.2	63	3.3	61.8
	ステーション外利用※	-	174	-	42.6	66	-	50.8
	合 計	395	19,767	50.0	92.9	3,774	9.6	87.1

※ 大柏川ビジターセンターにおける自動車図書館展示での利用等

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間巡回日数	155	155	155	149	153	148
年間巡回ステーション数	420	426	409	390	413	395
年間貸出冊数	29,291	26,386	24,912	23,652	21,285	19,767
一日平均	189.0	170.2	160.7	158.7	139.1	133.6
一ステーション平均	69.7	61.9	60.9	60.6	51.5	50.0
年間利用人員	6,565	5,898	5,421	5,074	4,333	3,774
一日平均	42.4	38.1	35.0	34.1	28.3	25.5
一ステーション平均	15.6	13.8	13.3	13.0	10.5	9.6



(10) 市川市の図書館サービス指標

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口1人当たりの貸出点数(点)	貸出点数	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>	<u>2,769,772</u>
	人口	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214	494,161
		6.43	6.29	6.2	5.89	5.81	5.60
登録率(単位:%)	登録者数	<u>136,569</u>	<u>130,171</u>	<u>124,353</u>	<u>117,210</u>	<u>111,504</u>	<u>107,810</u>
	人口	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214	494,161
		32.1	27.4453869	25.7	24.0	22.7	21.8
実質貸出密度(点)	貸出点数	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>	<u>2,769,772</u>
	登録者数	136,569	130,171	124,353	117,210	111,504	107,810
		22.2	22.92	24.12	24.5	25.6	25.7
蔵書回転率(単位:回)	貸出点数	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>	<u>2,769,772</u>
	資料点数	1,169,458	1,187,137	1,196,227	1,206,905	1,208,450	1,207,259
		2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3
人口1人当たりの年間購入点数(点)	年間購入点数	<u>55,061</u>	<u>54,608</u>	<u>53,353</u>	<u>49,534</u>	<u>47,233</u>	<u>45,881</u>
	人口	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214	494,161
		0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09
人口1人当たりの資料点数(点)	資料点数	<u>1,169,458</u>	<u>1,187,137</u>	<u>1,196,227</u>	<u>1,206,905</u>	<u>1,208,450</u>	<u>1,207,259</u>
	人口	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214	494,161
		2.49	2.5	2.47	2.47	2.46	2.44
人口1人当たりの資料費(円)	資料購入費:A	<u>91,387,452</u>	<u>90,705,502</u>	<u>88,854,101</u>	<u>88,170,496</u>	<u>82,891,298</u>	<u>84,299,522</u>
	人口	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214	494,161
		194	191	184	181	169	171
行政効果(単位:円)	資料購入費:B	<u>88,425,661</u>	<u>87,556,430</u>	<u>85,688,011</u>	<u>84,975,860</u>	<u>79,691,130</u>	<u>81,089,632</u>
	÷購入点数	55,061	54,608	53,353	49,534	47,233	45,881
	×貸出点数	3,024,572	2,983,506	2,999,604	2,873,532	2,855,071	2,769,772
	－総経費	763,320,301	755,932,691	767,807,631	753,499,706	714,449,345	801,582,365
		4,094,015,714	4,027,709,527	4,049,730,287	4,176,060,857	4,102,603,017	
貸出コスト(単位:円)	総経費	<u>763,320,301</u>	<u>755,932,691</u>	<u>767,807,631</u>	<u>753,499,706</u>	<u>714,449,345</u>	<u>801,582,365</u>
	貸出点数	3,024,572	2,978,271	2,997,695	2,873,532	2,855,071	2,769,772
		252.4	253.8	256.1	262.2	250.2	289.4

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数はAV・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

(11) 千葉県の公共図書館サービス指標（平成30年度）

匝 瑳	72.6				横 芝 光	17.25	成 田	595	横 芝 光	395.3
木 更 津	59.9				袖 ケ 浦	11.13	横 芝 光	572	成 田	360.1
山 武	54.3				白 井	8.93	匝 瑳	432	匝 瑳	260.6
佐 倉 *	53.9				匝 瑳	8.32	袖 ケ 浦	377	浦 安	226.4
市 原	51.7	横 芝 光	12.71	成 田	7.21	浦 安	355	袖 ケ 浦	221.5	
横 芝 光 *	45.0	浦 安	10.17	浦 安	6.27	白 井	280	山 武	206.4	
大 多 喜	44.3	成 田	9.22	君 津	6.12	山 武	272	白 井	176.3	
袖 ケ 浦 *	43.2	印 西	8.76	大 多 喜	6.05	佐 倉	229	野 田	162.3	
八 千 代	42.6	袖 ケ 浦	8.76	山 武	5.89	酒 ヶ 井	219	君 津	153.9	
香 取	42.2	君 津	8.62	印 西	5.60	君 津	213	酒 ヶ 井	149.5	
四 街 道	38.6	佐 倉	7.67	八 街	4.68	多 古	198	佐 倉	146.1	
君 津	37.8	我 孫 子	7.50	佐 倉	4.31	野 田	197	習 志 野	144.9	
我 孫 子	37.7	白 井	7.42	市 原	4.16	印 西	196	印 西	143.9	
銚 子	37.5	匝 瑳	6.87	酒 ヶ 井	4.11	鴨 川	187	船 橋	139.2	
八 街 *	34.1	野 田	6.41	富 里	4.05	四 街 道	181	多 古	138.7	
多 古	34.0	流 山	5.99	野 田	4.02	習 志 野	169	大 多 喜	125.7	
成 田 *	33.7	習 志 野	5.87	南 房 総	3.59	船 橋	165	我 孫 子	117.5	
習 志 野	32.3	八 千 代	5.87	館 山	3.48	南 房 総	164	四 街 道	116.7	
鴨 川	32.2	山 武	5.25	我 孫 子	3.22	八 街	158	八 街	114.9	
旭 井	31.8	市 川	5.08							
白 井	31.5									
項目	個 人 貸 出 率 登 録 率	人 口 1 人 あ た り				人 口 1,000 人 あ た り 年 間 受 入 冊 数				
		個 人 貸 出 冊 数	蔵 書 冊 数	図 書 費 (30 年 度 決 算)		個 人 貸 出 冊 数	蔵 書 冊 数	図 書 費 (30 年 度 決 算)		
市町村平均	31.3%	5.06冊	3.15冊	154円		5.06冊	3.15冊	154円		107.3冊
市町村合計	1,885,607人	30,462,175冊	18,961,122冊	925,061千円		30,462,175冊	18,961,122冊	925,061千円		645,682冊
	船 橋	31.1	市 原	4.99	鴨 川	3.08	我 孫 子	153	鴨 川	100.0
	勝 浦	30.8	松 戸	4.65	八 千 代	2.82	市 川	141	南 房 総	94.9
	酒 ヶ 井 *	30.3	酒 ヶ 井	4.63	四 街 道	2.81	東 金	133	館 山	94.1
	松 戸 *	29.9	柏	4.59	鎌 ケ 谷	2.78	流 山	131	茂 原	89.6
	南 房 総 *	29.5	東 金	4.45	木 更 津	2.67	松 戸	129	木 更 津	89.1
	富 里	29.3	船 橋	4.25	茂 原	2.66	鎌 ケ 谷	128	東 庄	88.6
	野 田	28.7	富 里	4.15	東 金	2.61	八 千 代	121	市 川	87.5
	印 西 *	28.7	八 街	3.94	流 山	2.57	富 里	120	富 里	83.6
	鎌 ケ 谷	26.8	千 葉	3.69	銚 子	2.55	館 山	119	東 金	82.4
	東 庄	26.3	四 街 道	3.66	船 橋	2.49	銚 子	117	市 原	81.6
	流 山	26.1	大 多 喜	3.52	勝 浦	2.32	柏	114	香 取	81.3
	千 葉 *	25.1	鴨 川	3.39	千 葉	2.30	市 原	111	八 千 代	81.2
	東 金	25.0	鎌 ケ 谷	3.29	市 川	2.28	東 庄	111	鎌 ケ 谷	80.8
	浦 安 *	24.6	木 更 津	2.99	多 古	2.26	旭	107	柏	77.8
	市 川	21.3	多 古	2.95	習 志 野	2.16	勝 浦	107	銚 子	77.8
	茂 原	19.2	香 取	2.90	柏	2.14	木 更 津	96	流 山	76.9
	柏 *	18.1	館 山	2.88	香 取	2.06	茂 原	91	勝 浦	76.2
	館 山 *	16.2	茂 原	2.84	東 庄	1.88	香 取	89	松 戸	72.5
			南 房 総	2.54	旭	1.67	大 多 喜	76	旭	63.1
			銚 子	2.05	松 戸	1.20	千 葉	57	千 葉	45.8
			勝 浦	1.66						
			旭	1.47						
			東 庄	1.10						

- (注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成31年4月1日現在)
3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である
4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む
5 個人貸出登録率は累計で自治体内数が自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

『千葉県の図書館2019(令和元年度)』

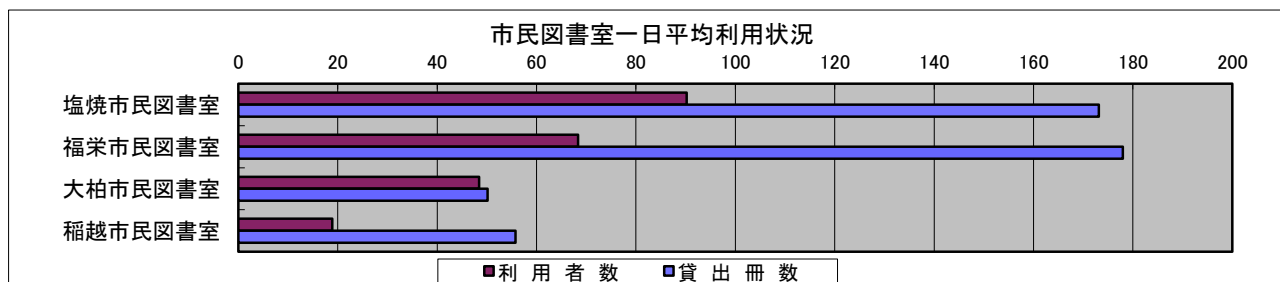
／千葉県公共図書館協会より

(12) 関連施設統計 (平成30年度)

①市民図書館

	開 室 日 数	利 用 者 数		貸 出 日 数	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	147	13,262	90.2	147	25,450	173.1	734	1,608	20,149
稲越市民図書館	144	2,725	18.9	144	8,026	55.7	316	749	15,552
福栄市民図書館	146	9,983	68.4	146	25,984	178.0	543	258	18,847
大柏市民図書館	143	6,929	48.5	143	7,171	50.1	171	576	17,431
計	580	32,899	56.7	580	66,631	114.9	1,764	3,191	71,979

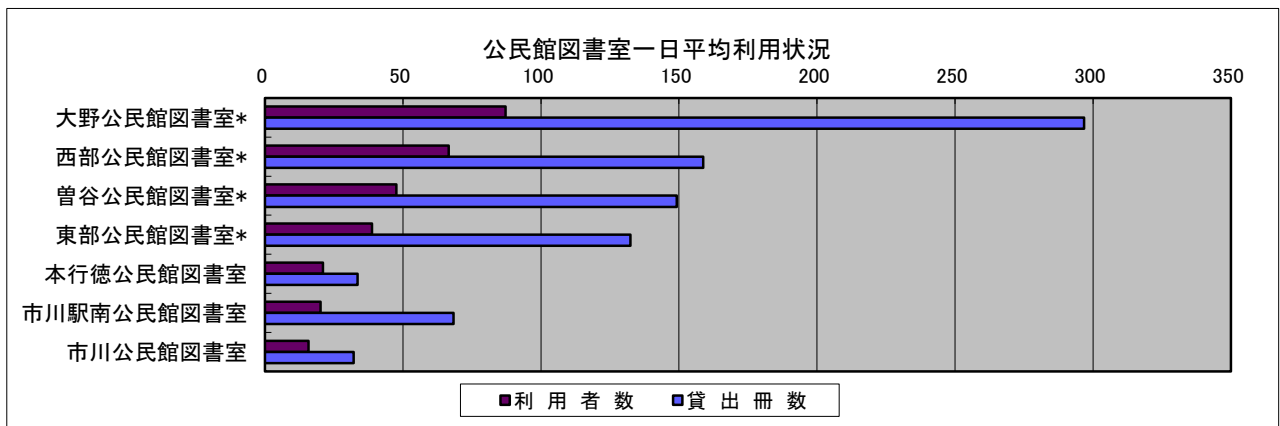
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書館

	開 日 数	利 用 者 数		貸 出 日 数	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
大野公民館図書室*	271	23,639	87.2	271	80,438	296.8	1,623	224	17,296
西部公民館図書室*	278	18,501	66.6	247	39,217	158.8	400	1,360	14,921
曾谷公民館図書室*	301	14,319	47.6	152	22,686	149.3	392	2,345	14,870
東部公民館図書室*	187	7,244	38.7	85	11,255	132.4	520	885	11,554
市川公民館図書室	296	4,664	15.8	97	3,117	32.1	654	0	7,606
市川駅南公民館図書室	300	6,037	20.1	103	7,039	68.3	195	218	6,972
本行徳公民館図書室	151	3,172	21.0	151	5,063	33.5	178	0	17,730
計	1,784	77,576	43.5	1,106	168,815	152.6	3,962	5,032	90,949

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト

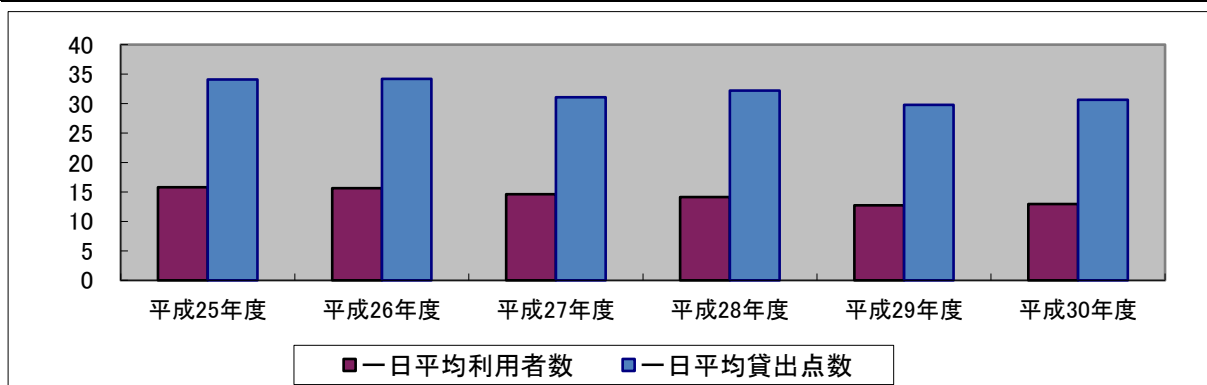
(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,600	3,399	4,470	3,069
稲越市民図書館	612	2,212	2,399	1,105
福栄市民図書館	1,835	5,098	5,337	3,801
大柏市民図書館	633	1,247	1,711	1,158
市民図書館小計	4,680	11,956	13,917	9,133
大野公民館図書館	23,639	80,438	96,072	19,885
西部公民館図書館	4,548	11,344	13,693	8,376
曾谷公民館図書館	2,645	6,611	11,721	6,133
東部公民館図書館	704	1,563	5,405	1,310
公民館図書館小計	31,536	99,956	126,891	35,704
合計	36,216	111,912	140,808	44,837

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	43,014	20.75%
旧八幡市民談話室	23,586	11.38%
市川公民館	10,430	5.03%
千葉商科大学	1,952	0.94%
歴史博物館	1,145	0.55%
ベルクス市川堀之内	15,266	7.36%
中山窓口連絡所	4,041	1.95%
市役所仮本庁舎	3,994	1.93%
イオン市川妙典	67,334	32.48%
南行徳市民センター	33,399	16.11%
塩浜市民体育館	3,172	1.53%
合計	207,333	100.00%

④男女共同参画センター情報資料室

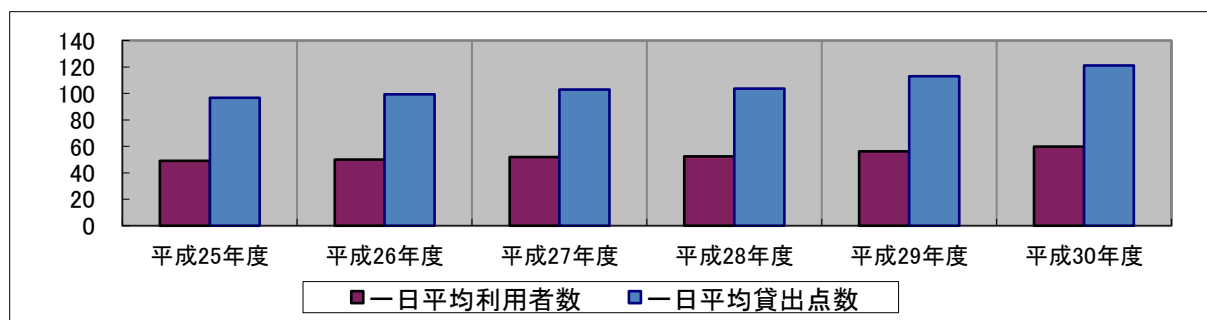
	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
			一 日 平 均		一 日 平 均			
平成25年度	268	4,228	15.8	9,135	34.1	290	577	15,797
平成26年度	271	4,236	15.6	9,269	34.2	244	85	15,956
平成27年度	268	3,917	14.6	8,320	31.0	282	92	16,146
平成28年度	270	3,816	14.1	8,687	32.2	229	26	16,349
平成29年度	267	3,406	12.8	7,947	29.8	239	737	15,851
平成30年度	263	3,409	13.0	8,061	30.7	180	788	15,243



⑤情報プラザ

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
			一 日 平 均		一 日 平 均
平成25年度	283	13,853	49.0	27,355	96.7
平成26年度	285	14,224	49.9	28,319	99.4
平成27年度	286	14,814	51.8	29,423	102.9
平成28年度	284	14,878	52.4	29,446	103.7
平成29年度	284	15,965	56.2	32,062	112.9
平成30年度	277	16,547	59.7	33,520	121.0

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
			一 日 平 均		一 日 平 均
平成25年度	251	328	1.3	862	3.4
平成26年度	255	350	1.4	860	3.4
平成27年度	254	362	1.4	942	3.7
平成28年度	255	389	1.5	1,089	4.3
平成29年度	260	313	1.2	893	3.4
平成30年度	252	311	1.2	811	3.2

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成25年度	17	106
平成26年度	15	130
平成27年度	4	20
平成28年度	22	122
平成29年度	20	128
平成30年度	33	242

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

10. 平成30年度事業概要

概況

- ・ イベントや連携企画等の拡充と情報発信

出張お話し会、バックヤードツアー等の好評なイベントを継続するとともに、庁内各部署や庁外の機関などと連携した企画展示やイベントを積極的に展開した。

保健センターと連携した展示「食の力」（6月～7月）では、和洋女子大学の石恭子准教授による講座「だしの力」を展示期間に合わせて開催し（7月24日）好評を得た。千葉県博図公連携事業の巡回展として「写真でつづる千葉県と鉄道」を文学ミュージアム企画展示室で開催（3月1日～3月14日）するとともに、「千葉を走る電車」（2月～3月）の特集展示を図書館で合わせて行った。他に、地域支えあい課との「認知症を知ろう」（8月～9月）や、伊能忠敬記念館（香取市）との「伊能忠敬没後200年～地図～」（9月～10月）など、連携の範囲を広げることで内容に深みを持たせた特集展示を行った。

また、市民まつり（大洲防災公園：11月3日）に図書館のブースを出展し、各種PR活動も展開した。

初めていちかわ真間川堤桜まつり（昭和学院会場：3月31日）でえほんの読み聞かせ会を開催した。

- ・ 図書館システムの更新とICTを活用したサービス

平成23年11月より使用していた図書館情報システムを更新し、12月6日より新システムでの運用を開始した（休館期間：11月26日～12月5日）。同時に、座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システム、デジタルアーカイブ等の新規導入や、図書館WEBページの機能拡充など、ICTの活用を通じたサービスの深化・拡大を図った。

- ・ 蔵書管理IC化に伴う蔵書へのIC貼付作業

蔵書管理効率化事業の一環として進めているIC貼付作業は、平成30年度中に中央図書館蔵書の大半について終え、信篤図書館や西部公民館図書室の蔵書を対象とした作業に着手した。平成30年度末までにIC貼付を終えた蔵書は合計約70万冊に達した。

- ・ 西部公民館図書室の蔵書管理バーコード化等

バーコードでの蔵書管理は、平成28年度に開始した大野公民館図書室に続き、西部公民館図書室でも

30年度末（3月13日）より開始した。IC機器導入までの期間が短いことから、西部公民館図書室ではバーコード化とIC貼付の作業を同時に完了させた。

（１）資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

平成30年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ・千葉商科大学附属図書館・宅配）の貸出点数は、2,769,772点、延べ利用者数は774,213人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は510,297件であった。

②資料収集

平成30年度の全館の図書費（装備費を含む）は、7,256万円であった。中央図書館と市川駅南口図書館の消耗品図書費および中央図書館の視聴覚資料費については減少したが、他の地域図書館の図書費や全館の定期刊行物費については昨年度並みである。

（平成31年度予算はp. 30に掲載）

令和元年度から実施予定である全館のICによる蔵書管理に向けて、29年度より資料へのICタグの貼付を進めている。ICタグ貼付にあたり、既存資料については、適正で有効な資料群を構成しておく必要があるため、保存資料の見直しを行った。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架の棚揃えを管理する書架担当制度を設け、各担当で積極的に既刊本の買い替えや不足分野の補充などを行った。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、中央図書館、市川駅南口図書館の購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

（２）リクエストサービス

①リクエストサービス

平成30年度図書・雑誌のリクエスト件数は、平成29年度より0.7%増加した。図書・雑誌のリクエスト件数はここ数年多少の増減はあるものの、大きな変化はないが、視聴覚資料のリクエスト件数は、CDの劣化による蔵書点数の減少に伴い6.5%減少している。

運用面では、平成30年度の図書館情報システム更新で、図書館ホームページからのシリーズ予約受付を開始した。

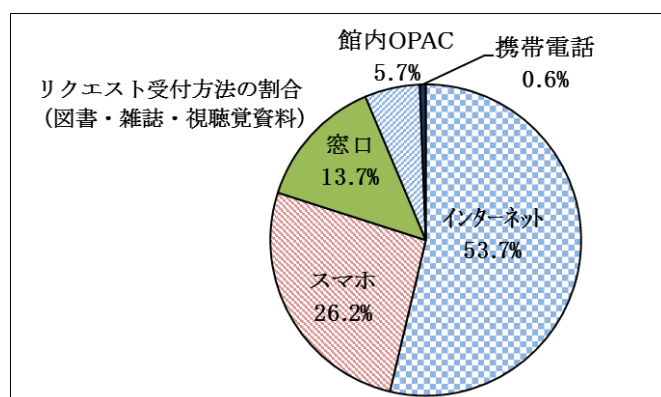
また、大野公民館図書室に続き西部公民館図書室蔵書の電算化を行い、リクエストに関しても西部公民館図書室の蔵書を活用できるようになった。

（リクエストに関する統計は、p. 40「9. 平成30年度統計（４）リクエスト統計」を参照）

平成30年度リクエスト受付方法別総数

（図書・雑誌・視聴覚資料）

受付方法		件数	
窓口	70,006		
インターネット	274,093	440,291	
スマートフォン	133,752		
館内OPAC	29,318		
携帯電話	3,128		
合計	510,297		



②国・県・市町村図書館との相互協力

平成30年度の、市川市から市町村立公民館図書室も含めた、県内各図書館への貸出冊数は3,705冊で、前年度より減少した。県外の図書館への貸出冊数は32冊であった。市外からの借用のうち、県立及び県内各市町村図書館からの借用冊数は5,854冊で、県外からの借用冊数は43冊であった。

リクエストの中で既に市内で所蔵しているものへのリクエストが増加しているのに対し、未所蔵リクエストの数は減少傾向にあり、リクエスト全体の件数が若干増加している中で、相互協力は昨年度より約0.6%減となっている。

他自治体への貸出冊数

	平成29年度	平成30年度
千葉県立	195	132
千葉県市町村立	3,543	3,573
その他（県外含）	34	32
合 計	3,772	3,737

借受け先別の借用冊数

	平成29年度	平成30年度
国立国会	7	6
千葉県立	1,233	1,252
千葉県市町村立	4,562	4,201
その他	52	68
合 計	5,854	5,527

借用冊数館別内訳

	平成29年度	平成30年度
中 央	2,065	2,013
自動車	21	23
平 田	267	174
行 徳	1,497	1,443
信 篤	430	287
南行徳	241	256
市川駅南口	1,333	1,331
合 計	5,854	5,527

（３）レファレンスサービス

平成30年度は、63,504件の質問が寄せられた。

カウンターだけでなく電話やメールも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「新・参考業務月報」として記録・発行し、「レファレンス事例集」としてホームページ上に掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数が多かったことから、国立国会図書館より市川市中央図書館へ10度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて『新・参考業務年報』として市役所内部はじめ関係部署へ配布している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、30年度には5点の新規パスファインダーを作成・配布した。

レファレンスの用に供するため、12種類の民間データベースを導入している。（p.27参照）中央図書館・市川駅南口図書館に続き、12月には行徳図書館に新聞記事データベース等を導入し、Web-OPACで利用者に開放した。

平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスも年々利用が増えている。レファレンスについては中央図書館がバックアップするなどし、小規模館においても、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

平成30年度レファレンス受付館別件数

中央図書館	32,889	信篤図書館	2,927
行徳図書館	12,367	平田図書室	1,839
南行徳図書館	1,967	市川駅南口図書館	11,515
		合計	63,504

（４）類縁機関との連携

①「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館相互が連携し図書資料や情報を流通させることにより、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用し、学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア.平成30年度参加校数

小学校	38	中学校	15
義務教育学校	1	幼稚園	6
特別支援学校	1		

イ.ネットワーク用資料の整備

複数の学校からの要望にも対応するため、中央図書館や市内図書館所蔵の資料を提供するほかにネットワーク専用資料10,755冊（平成31年3月末現在）を中央図書館で管理している。平成30年度は専用図書費として23万円を配分し、107冊を購入した。

ウ.資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、物流便で配送する。物流は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校を結んでいる。

エ.指導研究・調整事務

教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者によるネットワーク会議及び研修会を3回実施した。平成30年度の実績は下表の通り。

物流回数	70回
貸出冊数	6,386冊
依頼件数	517件 (小学校398件) (中学校114件) (幼稚園4件) (特別支援学校1件)

②大学図書館及び他機関との

ネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

- ・市川市国府台 1－3－1
- ・TEL 047 (373) 9798
- ・内容 18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

また、市立図書館所蔵の予約図書・雑誌の受取、及び大学付属図書館内に設置されている返却ポストへこれらの返却が可能である。

平成30年度新規紹介状申込みは132件。

イ. 和洋女子大学メディアセンター

- ・市川市国府台 2－3－1
- ・TEL 047 (371) 1111（代表）
047 (371) 1126（メディアセンター）
- ・内容 市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター（図書館）所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互間の物流は、毎週金曜日に中央図書館との間で行っている。平成30年度の実績は下表の通り。

	件数	冊数
和洋女子大への貸出	4	4
和洋女子大からの借受	7	12

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が上記以外の大学図書館を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

平成30年度に紹介状を発行した大学は以下の通り（9大学21件）。

上智大学図書館
清泉女子大学附属図書館
聖徳大学川並弘昭記念図書館
東京大学附属図書館
東京歯科大学図書館
日本大学文理学部図書館
明治大学図書館
明治学院大学図書館
立教大学図書館

（５）対象別サービス

①児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、館内展示を行うとともに、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施している。さらに、教育センターなど行政各部門と連携を図り、サービスの拡大を図っている。尚、各表の数値は平成30年度の実績である。

ア．ブックリスト

子どもの発達段階に応じたブックリストを作成し、配布している。

「本のぼけっと」基本版2号及び2018

「本のぼけっと」付録（読み聞かせリスト）

「新一年生の保護者の皆様へ」

「よんであげたいえほん」

（0～2才）（3・4才）（5・6才）

イ．館内特集展示

こどもとしょかんや、地域館の児童コーナーに、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

ウ．読み聞かせ等

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、絵本の読み聞かせ会などを定例化して行っている。

平田図書室では、平田保育園に出向いて読み聞かせを行っている。

読み聞かせ統計

	えほんの会		
	対象年齢	回数	人数
中央	4歳～小学生	77	556
行徳	4歳～小学生	35	164
信篤	3歳～親子	11	70
南行	3歳～親子	9	35

	らっこの会		
	対象年齢	回数	人数
中央	0～3歳親子	49	917

	おはなし会		
	対象年齢	回数	人数
中央	4歳～小学生	12	108
行徳	5歳～小学生	9	30

	わらべうたであそぼう		
	対象年齢	回数	人数
中央	0～3歳親子	44	619

エ．館内行事

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、定例の読み聞かせのほかに、イベントを実施している。

今年度、中央図書館では、7月に「英語の絵本の会」、8月に「こどもとしょかん環境デー」（環境政策課と共催）、12月に「名探偵ホームズと挑戦（冬のおたのしみ会拡大版）」、1月に「ガチャポンでドン！」などを開催した。

オ．出張サービス

市内の公立小学校・公立保育園・幼稚園を対象に「出張おはなし会」を行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	10	21	1,264
信篤図書館	1	1	77
平田図書室	1	4	156

カ．学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	5	7	280
信篤図書館	1	2	82

キ．まちたんけん

市内の小学生が授業の一環として行う「まちたんけん」として来館。

	校数	回数	人数
中央図書館	1	3	25
南行徳図書館	1	1	17

ク．学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った。（学校ネットワーク物流便利利用）

貸出冊数 （内特別支援）	小学校	4,320冊	（240冊）
	中学校	180冊	（100冊）
	義務教育学校	120冊	

ケ．乳幼児サービス

市川市版のブックスタート事業である、こども館事業の「たのしく絵本！はじめの一步」に選書面などで協力している。

②ヤングアダルトサービス

ア．中央図書館

中学生以上19歳までの世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult（若い大人）としてとらえサービスを行っている。児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー（ポピュラーライブラリー）の中に設けている。Young Adultコーナーにおいては3か月ごとにテーマを決め特集展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集している。

また、グループで調べ学習等の活動ができるYoung Adult RoomではYAきまぐれおすすめ本の小展示のほか、Young Adult世代のイラストやPOPなどの作品を掲示、展示している。

・「Young Adult通信」

Young Adult世代向けのブックリストとして年1回作成。市内公立中学校の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のホームページ上にも掲載している。

・「Young Adult通信 入門編」

Young Adult世代向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、5月に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 てっばんせれくと号」

夏休み前に、10代のうちに出会ってほしいおすすめの本のリストを市内公立中学校2年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 号外 新生活応援号」

春休み前に、市内公立中学校3年生全員に、学校ネットワーク物流便でお薦めの本のリストを配布している。

・YAイメージキャラクター大募集

「Young Adult通信」の年間キャラクター募集を、YAコーナーをイメージするキャラクターとして拡

大して実施。85件の応募があり、館内投票で、大賞、ジュニア賞をそれぞれ1件ずつ決定した。

・YA図書館脱出ゲーム

8月11日に図書館内に設置されたクイズを解いていく参加型イベントを開催。4組11人の参加があり、好評だった。

・YAハロウィンコスプレフォトツアー

10月28日に簡単なコスプレをして図書館内を見学し、おすすめポイントで写真をとる体験イベントを開催した。4組6人の参加があり好評だった。

・YA図書館本A-Z

12月に中学生以上の19歳までの方に特におすすめの本をアルファベットのAからZまでのしるしをつけ、1冊ずつ包み中身を隠して一般フロアで貸し出し、好評だった（平成30年度貸出数 26冊）。

・Yサポ（YAサポーター）大募集

Young Adultコーナーや図書館をPRする活動をするボランティアを通年で募集。イラストやPOPの制作等のべ20人、15回の活動を行った。

・学校との連携展示

1月16日から3月28日まで国府台女子学院中学部2年生が校内で作成した本のPOPを借用し、Young Adultコーナー、メインカウンター横において本とともに展示した。一緒に展示した本は、常に貸出され好評だった。

・夏休み対策

夏休みの宿題支援のため、7、8月は課題図書、自由研究コーナーを作る。課題図書は貸出期間を一週間としている。

・出張サービス

市内公立中学校対象に行っている。6月に高谷中学校で「絵本の読み聞かせ講座」を行った。

イ．地域館

行徳図書館、南行徳図書館においては、児童サービスの延長として、Young Adult世代向けのサービスを行っている。

資料は、中学生以上向けの児童書とYoung Adult向け文庫が中心である。

③障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、音訳図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、文芸カセット、布の絵本・布のおもちゃ等を、ボランティア団体が製作、または購入し、蔵書として提供している。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行い、視覚障がい者に対しては、対面朗読も実施している。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の個人利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校の保護者等を対象として案内パンフレットを配布した。

平成30年度は、DAISY図書、マルチメディアDAISY図書の累積版所蔵目録を作成した。

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

平成30年度は英語図書171冊（行徳図書館35冊を含む）、中国語図書38冊、フランス語図書5冊の新規購入と寄贈受入を行った。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 江南区電子図書コーナー

市川市は、平成17年、大韓民国ソウル特別市江南（カンナム）区と情報化分野及び職員交流に関する協定を締結。その一環として、江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館では、韓国語資料約700冊を追加購入してコーナーの充実を図り、その一画に平成18年電子図書館閲覧コンピュータを1台設置した。

ウ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市へ、市川市から11冊の贈呈を行った。

エ. 逐次刊行物（平成30年度：市内全館）

（所蔵タイトル数）

雑誌 英語10

新聞 英語5／中国語1／韓国語1

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成30年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

登録者数（ ）は平成30年度新規登録者数

	累積登録者数
視覚障がい者	97（0）
聴覚障がい者	146（0）
内部疾患・肢体不自由者	150（5）
外来困難者・その他	93（4）
合計	486（9）

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成30年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

- ・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とする。更新は年度ごととする。

貸出期間は貸出日を含め図書は31日、CDは15日である。貸出冊数は図書は無制限、CDは3点。

予約は窓口のみで受け付ける。1日5タイトル、累計20点まで。団体の予約において新規資料の購入はしない。

- ・活動場所の提供

中央図書館では、以下の図書館関連5団体に活動場所として集会室・サークル室を提供している。

市川図書館友の会 市川点訳音訳友の会

点訳ビーアイ うずしお読書会

子どもの本を考える会

イ. 読書会サポート

- ・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備されており、市立図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

	登録団体数	貸出冊(点)数
平成28年度	51	4,212
平成29年度	58	5,640
平成30年度	60	5,870

(6) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料と市民文庫

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）の収集、整理を行った。地域行政資料は、市川独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

中央図書館では絵画ラックやガラスケースを利用して地域に関連する展示を行った。8月には三番瀬、9月には一般の特集展示にあわせて、没後200年の伊能忠敬関連資料を展示した。10月～11月には、市川市の市民活動団体「まちづくり家づくりCafé Ichikawa」が主催した「クロマツのある風景市川：昔・今・あした展」を開催し、同団体が所蔵しているパネルや貴重な資料を展示した。また、12月～1月は市川市の市民ボランティアが制作した「いちかわ環境かるた」を展示、2月～3月には文学ミュージアム企画展示室で開催した千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」展にあわせて、京成電鉄の貴重な資料を展示した。

イ. 特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）

特別コレクションは論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ. 電子化とホームページによる情報発信

著作権の保護期間満了の資料を電子化して、中央図書館内のデータベース用端末（旧Web-OPAC 3台）で公開していたが、平成30年度の図書館情報システム更新に伴い、中央図書館と行徳図書館に設置した館内Web-OPACに新たにデジタルアーカイブを導入して、京成電鉄の沿線案内や古い地図を中心に館内公開を開始した。デジタルアーカイブでは今後も随時資料を整備し、追加更新していく予定。

また、ホームページで発信している地域情報データベースのページを修正更新した。

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成30年度統計（1－2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

（７）主催事業

①リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料および寄贈資料のうち既に所蔵していたり資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効に再活用するため、利用者へ無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

中央図書館では市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では行徳公民館レクリエーションホールをそれぞれ会場として、「市川図書館友の会」の協力により開催。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行っている。

そのほかの図書館においても、小規模であるがリサイクルブック市の単独開催、またはリサイクルコーナー設置を行っている。

②視聴覚資料

中央図書館では平成30年度12月の図書館情報システムの更新に合わせ、ＩＴブース及びＣＤ試聴ブースを、新たに持ち込みＰＣ利用ブース・調べもの用インターネットブースへと変更したため、ＣＤ試聴コーナーを移設し、利用方法も変更した。

また、蔵書管理効率化事業の一環として進めているＩＣ貼付作業を、平成31年３月より開始した。

ア．視聴覚資料（ＣＤ・ビデオ・ＤＶＤ）の収集・提供に関すること

・貸出点数

１人ＣＤ３点、ビデオ２点、ＤＶＤ２点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴コーナーの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ．試聴コーナーに関すること

[設置台数]

・中央図書館：

ＣＤ用（２台）

・行徳図書館：利用時間は１回30分以内

ＣＤ用（１台）

平成30年度リサイクルブック市等実施状況

	実 施 日	対象及び参加数	準備冊数及び提供冊数（提供率）	備 考
中央 (第25回)	平成30年10月26日(金)	図書室等 70団体	準備：13,275冊 提供：11,080冊 (提供率：83.5%)	市川図書館友の会の協力
	平成30年10月27日(土)	一般市民 1,273人		
行徳 (第21回)	平成31年1月26日(土)	一般市民 527人	準備：7,164冊 提供：4,560冊 (提供率：63.7%)	
信篤 (第20回)	平成30年10月20日(土)～21日(日)	集計なし	準備：3,293冊 提供：2,787冊 (提供率：84.6%)	信篤公民館の文化祭とあわせて実施
平田	平成31年1月5日(土)～2月27日(水)	集計なし	準備：3,658冊 提供：3,370冊 (提供率：92.1%)	リサイクルコーナーの設置
南行徳	平成30年9月29日(土)～9月30日(日)	集計なし	準備：2,019冊 提供：1,051冊 (提供率：52.1%)	リサイクルコーナーの設置

②特集展示

平成30年度中央図書館特集展示 []は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ガラス展示	ガラス展示	絵画ラック	
4月	ものから歴史を みてみよう	図書館記念日	桜と日本*1/ 切手・趣味・週間*2	図書館用品から 歴史をみてみよう	写真と建築雑誌 でみる市川市 中央図書館	ピーターラビット	
5月	未来への扉		極端気象から身を 守る*3/ 人権擁護の日*4 〔環境政策課〕				第3次市川市 食育推進計画 〔保健センター〕
6月		食の力 〔保健センター〕	ロシアを知ろう ブルガリアを知ろ う（オリンピック 関連）*5		三番瀬で 会いましょう	三番瀬で 会いましょう	
7月	ロシア/オリン ピック関連 空、見上げよう		伊能忠敬				
8月	海の日・山の日	認知症を知ろう 〔地域支えあい課〕			「長崎と天草地方 の潜伏 キリシタン 関連遺産」*6 自殺予防*7 〔保健センター〕	伊能忠敬	秋岡コレクション 世界古地図複製
9月	伊能忠敬 没後200年 地図 〔伊能忠敬記念 館(香取市)〕		Artの迷宮へ ようこそ 〔東山魁夷記念 館〕 〔文学ミュージアム〕	快眠のすすめ*9 〔健康支援課・ 保健センター〕 緑のあるまちづくり	生誕110年 東山魁夷の秋 〔東山魁夷記念 館〕		
10月	伝える、伝わる コミュニケーション いいふみの日 2018	Dream 夢を抱いて				福壺*10 新年寺社詣から 節分*11	装う 美 NIPPON
11月			装う 美モード 〔文学ミュージアム〕	千葉を走る 電車 〔千葉県博図公〕	YAポップ 〔国府台女子学院 中〕*12		
12月							
1月	装う 美モード 〔文学ミュージアム〕	千葉を走る 電車 〔千葉県博図公〕	YAポップ 〔国府台女子学院 中〕*12	平成23年3月11 日東日本大震災に よる中央図書館内 の被災状況	京成電鉄 沿線案内の 変遷図 千葉を走る 電車	絵本の世界へ	
2月							
3月	平成という時代						

*1 前年度から引き続き～4/15 *2 4/17～ *3 5/12～13 *4 5/19～ *5 6/8～ *6 7/18～

*7 9/11～9/19 *8 9/20～10/5 *9 10/6～31 *10 12/26～1/10 *11 1/11～21 *12 1/16～3/28

平成30年度中央図書館特集展示・児童 ヤングアダルト []は連携先

展示月	メイン展示	ガラス ケース (手前)	ガラス ケース (奥)	ロビー側	小展示	一般 展示塔
4月	みんななかよし	わらべうた	早野たづこ 人形[文化振 興財団]	星野道夫と アラスカ [文化振興財団]	入園・入学/ こいのぼり	早野たづこ人 形[文化振興財 団]
5月	みずのなかを のぞいてみたら	くまのバ ディントン 生誕60周年	星野道夫とア ラスカ[文化振 興財団]	かこさとしさん ありがとう	こいのぼり/ 母の日	星野道夫とア ラスカ[文化振興財 団]
6月				時間	父の日	
7月	なつがきた！	むしの せかい	てがみ	本のぼけっと	七夕	てがみ
8月					工作・ 自由研究	
9月	みみをすまして ごらん	にほんの でんとう ぶんか	いわさき ちひろ生誕 100年	おじいちゃん おばあちゃん	お月さま	いわさき ちひろ 生誕100年
10月				ほし・うちゅう [現産博]／40年以上 読み継がれた本	ハロウィン	
11月	クリスマス	おおきい ちいさい	クリスマス	クリスマス	—	クリスマス
12月					—	
1月	にほんかくちの おはなし	柿本幸造 1915-1998	干支 猪の本	ゆき	お正月	ネコのほん
2月			ネコのほん		おに/ おひなさま	
3月	おいしいものの はなし	はつめい	植物の ふしぎ	鉄道 [千葉県博図公 連携事業]	入園・入学	植物のふしぎ
展示月	特集タイトル（ヤングアダルト）					
4月～6月	こころ					
7月～9月	UP！					
10月～12月	本を開いたら・・・					
1月～3月	イチオシ本					
1/16(水) ～3/28(木)	国府台女子学院中学部2年生作成POP掲示 [国府台女子学院中学部]					

平成30年度行徳図書館特集展示・一般 []は連携先

展示月	メイン展示	展示月	小展示
4月	新生活スタート		
5月～6月	西郷どんと明治維新150年		
7月～8月	戦争と平和 戦火の中の子どもたち [総務課]		
9月～10月	地図本	9月	こころに効く読書（自殺予防週間） [保険セ ンター]
11月～12月	家を楽しむ（家族の週間） [子育て支援課]	1月	追悼 梅原猛
1月～2月	カレーが食べたい	2月	追悼 橋本治 追悼 堺屋太一
3月～	平成一本でふりかえる30年	3月	追悼 ドナルド・キーン

平成30年度行徳図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル	サブ展示（入口正面）	小展示	ヤング アダルト	
4月	どきどきしよう！（冒険） /入園入学新しいスタート	科学道100選ジュニア [理化学研究所]	入園・入学	過去の世界へ	
5月	いろいろなおしごと	おかあさん	こいのぼり/ ありがとう かこさとしさん	部活！	
6月		おとうさん	たなばた		
7月	よるになにかがおこる？ /戦争と平和	むし虫むし			あなたは犬 派？猫派？
8月					
9月	きつね	秋みつけた	おつきみ		
10月					
11月	クリスマス	おじいちゃんおばあちゃん [子育て支援課]			
12月		ふゆだいすき	新年		
1月	からだ	ぽかぽか	節分	恋	
2月			ひなまつり		
3月			さようなら上野紀子さん		

平成30年度信篤図書館特集展示・一般 [] は連携先

展示月	メイン展示	サブ展示
4月	食べる小説	スポーツ
5月～6月	明治維新	食べる小説 地図の楽しみ旅の楽しみ 気象を知る・災害を知る・災害から身を守る
7月	地図の楽しみ旅の楽しみ	
8月		
9月		
10月	築地	年末・大掃除
11月	家族と子育て〔子育て支援課〕	年末・大掃除
12月	年末・大掃除/認知症（信篤公民館認知症カフェ）	
1月	新しい趣味始めてみよう	
2月	春眠暁を覚えず	バレンタイン（2/1～2月中旬）新しい趣味を初めてみよう
3月	新しい時代がきます	春眠暁を覚えず

平成30年度信篤図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	本のぼけっと基本版/新一年生/入園入学おめでとう
5月	ともだち/雨
6月	雨
7月	本のぼけっと2018/課題図書/雨/夏
8月	本のぼけっと2018/課題図書/夏
9月	本のぼけっと2018/お月見

10月	秋/まほうつかい・まじよの本（ハロウィン）/家族
11月	家族[子育て支援課]/クリスマス
12月	クリスマス
1月	お正月/今年の干支/鬼（節分）/冬
2月	鬼（節分）/冬
3月	冬/ぼくのわたしのすきな本/本のぼけっと基本版/新一年生/春

平成30年度南行徳図書館特集展示・一般 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	幕末と維新
5月～6月	映画になった本
7月～8月	夏を涼しく、快適に
9月～10月	リラックス&リフレッシュ 夏の疲れを癒しましょう
11月	家族（家族の週間関連）[子育て支援課]
12月	お正月
1月～2月	芥川賞・直木賞
3月	市川市が出てくる本

平成30年度南行徳図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	本のぼけっと/はるだよ～
5月	おでかけしよう/おかあさんありがとう
6月	おでかけしよう/おとうさんありがとう
7月	おばけなんて本当にいるの？/課題図書/自由研究・工作/南行徳小6年生POP展示
8月	課題図書/自由研究・工作/南行徳小6年生POP展示
9月～10月	あき/おんがくは楽しいよ
11月	ねむりの本/かぞくっていいね[子育て支援課]
12月	クリスマス クリスマス
1月	ふゆ/おしょうがつ
2月	ふゆ/おに
3月	はるだよ～/ともだち

平成30年度平田図書室特集展示・一般 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	図書館
5月～6月	年間ベストセラー
7月～8月	レジャー
9月～11月	貸出数の少ない小説
12月	年末・年始
1月～2月	平成売れ筋本
3月	映画になった本

平成30年度平田図書室特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4 月	入園入学おめでとう
5 月	いぬどしだけど『ねこ』/追悼「ありがとう かこさとしさん」(小特集)
6 月	絵をかこう
7 月～8 月	ぼうけんたんけん
9 月	けいろうのひ
10月	あきのおいしいもの
11月	かぞく[子育て支援課]
12月	クリスマス
1 月	お正月・ふゆのあそび
2 月	夜
3 月	ともだち/追悼「ありがとう 上野紀子さん」(小特集)

③ その他イベント

講 座					
開催日	館名	講座名・内容	人数	連携先ほか	場所
5/11(金)	中央	読み聞かせ講座(初心者向け)	19人		メディアパーク 第3研修室
7/24(火)	中央	中央図書館特集展示連携講座 「だしの力」	23人	和洋女子大学 大石恭子准教授	メディアパーク 地下集会室
9/14(金)	中央	認知症サポーター養成講座	21人	地域支えあい課	メディアパーク 地下集会室
2/8(金)	中央	千公図第2ブロック研修 「災害と図書館 みんなで考えてそなえよう!」	27人	千葉県公共図書館協 会(市川市担当)	メディアパーク 第2研修室
福袋関係					
開催日	館名	イベント名	貸出数	内容・連携先ほか	場所
12/26(水)～ 1/10(木)	中央	「福壺」 一般	100セット	年末年始 図書館員おすすめの 本	図書館内
1/5(土)～ 6(日)	中央	「ガチャポンでドン!」	140セット		
12/22(土)～ 1/30(水)	中央	「YA図書館本A-Z」	26セット		
1/5(土)～ 8(火)	行徳	「福袋」 一般 35、YA2、こども 26(セット)	63セット		
1/5(土)～ 8(火)	信篤	「図書館員が選んだ本の福袋」 一般 11、こども 15(セット)	26セット		

その他イベント					
開催日	館名	イベント名	人数	内容・連携先ほか	場所
5/7(月)	中央	真間小地区読み聞かせ	19人	真間地区社会福祉協議会	真間小
6/2(土)	中央	絵本の読み聞かせの会	46人	現代産業科学館	現代産業科学館
6/28(木)・ 9/6(木)	中央	コルトン読み聞かせの会	181人	ニッケコルトンプラザ	ニッケコルトンプラザ
7/21(土)	中央	えほんのよみきかせ会	27人	中央図書館	大柏川ビジターセンター
10/18(木)	中央	新井親子の広場読み聞かせ	40人	新井親子つどいの広場	新井地域ふれあい館
10/21(日)	中央	鬼高さんしゃ祭イベント 「中央図書館バックヤードツアー」	23人	さんしゃ祭・さんしゃ祭実行委員会 環境政策課/ 環境政策委員	図書館内
		鬼高さんしゃ祭イベント 「秋空えほんの会～手作りエコバッグをつくろう～」	105人		
11/3(土)	中央	第43回いちかわ市民まつり「出張図書館」	登録 21人	いちかわ市民まつり	大洲防災公園
11/17(土)・ 2/22(金)	中央	自動車図書館がやってくる！in大柏川ビジターセンター	えほんの会 28人 乗車体験 25人 登録 10人	中央図書館	大柏川ビジターセンター
11/18(日)	中央	いちかわファミリーフェスタ 2018 「出張図書館」	12人	ファミリーフェスタ 参加イベント	ニッケコルトンプラザ
	中央	いちかわファミリーフェスタ 2018 「家族で楽しもう！絵本の世界」	34人		ニッケコルトンプラザ
11/22(木)	中央	広報広聴課施設見学会 バックヤードツアー	29人	広報公聴課	図書館内
3/1(金) ～3/14(木)	中央	千葉県博図公連携事業 「写真でつづる千葉県と鉄道」展	来場者 887人 ギャラリートーク 44人	千葉県 京成電鉄株式会社/ 協力	文学ミュージアム企画展示室
3/31(日)	中央	いちかわ真間川堤桜まつり 読み聞かせの会	50人	いちかわ真間川堤桜まつり実行委員会	昭和学院

④ 館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数
4/22(日)	中央	はるかぜえほんの会 きよだいこいのぼりをつくろう！	61
7/21(土)	中央	英語の絵本の会	38
7/28(土)	中央	きょうだけ生き虫ずかん - こどもとしゃかんで虫を観察しよう - (自然博物館／共催)	322
8/1(水)、8(水)、15(水)	中央	小学生のためのこわいおはなし会 (3回)	102
7/26(木)	信篤	小学生のためのおはなし会	3
8/8(水)	信篤	生きている虫が信篤図書館にやってくる！(自然博物館／共催)	39

8/22(水)、8/29(水)	行徳	夏のおたのしみ会	39
8/25(土)	中央	こどもとしょかん環境デー（環境政策課／共催）	47
10/21(日)	中央	秋空えほんの会（環境政策課／環境政策委員／共催）	105
12/15(土)	中央	名探偵ホームズと挑戦 怪盗ルパンがぬすんだものを取りもどせ （冬のおたのしみ会拡大版）	71
12/16(日)	南行	冬のおたのしみ会	2
12/19(水)、12/26(水)	行徳	冬のおたのしみ会	52
3/16(土)	中央	親子で楽しむ科学遊びの会 いろのふしぎ	72
開催日	館名	ヤングアダルト行事名	人数
7/1(日)～9/7(金)	中央	YAイメージキャラクター大募集	85
8/11(土祝)	中央	YA図書館脱出ゲーム	11
10/28(日)	中央	YAハロウィン！コスプレフォトツアー	6

（８）市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）

講座				
開催日	講座名	人数	講師	場所
5/25(金)	ホームページ作成超入門講座	20人	岩間麻帆氏	I-Link ルーム2
6/23(土)	忘れられた音源 ～セピア色の音色 SPレコードの世界～	32人	てこな音盤倶楽部 日下部貢一氏	I-Link ホール
9/19(水)	認知症予防セミナー	22人	和洋女子大学 教授 新谷香苗氏	I-Link ホール
10/7(日)	翻訳家が教える英語再学習法 ビジネスにも日常にも使える英語	16人	翻訳家 松村哲哉氏	I-Link ルーム2
2/17(日)	腸を元気にして、超元気になる方法	16人	堀高吏氏	I-Link ルーム1
イベント				
開催日	イベント名	人数	講師 等	場所
4/14(土)	親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた	40人	(株)ヴィアックス 神保和子氏	I-Link ホール
5/15(火)～ 5/18(金)	公共図書館カード出張登録会	103人	市川駅南口図書館 職員	千葉商科大学 附属図書館
7/26(木)、27(金)	夏休み一日図書館員	14人	市川駅南口図書館 職員	市川駅南口図書館
8/25(土)	本の世界に入ってみよう！	64人	市川駅南口図書館 職員	I-Link ルーム2
11/1(木)～ 11/25(日)	私のおすすめの一冊(投稿文の掲示)	43人	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/22(土)	えきなん 冬のおたのしみ会（人形芝居）	38人	人形芝居 燕屋	I-Link ホール
1/6(日)	迎春 はなまるで、落語と三味線とクラシック！	43人	落語：辻伸三氏 音曲：桂小すみ氏 ピアノ：小川真弓氏	I-Link ホール
3/16(土)	プラネタリウム ～星空の宅配便～	81人	木村直人氏	I-Link ホール

えきなんギャラリー展示		
開催日	タイトル	作家・写真家・テーマ等
4/1(日)～ 4/26(木)	いきいき生きがいプロジェクト ワクワク写真展	いきいき生きがいプロジェクト@いちかわの活動内容を紹介した写真の展示
	最近耳にする「健康マージャン」ってなに？	健康麻将全国会の活動内容を紹介したパネルや、大会に参加した方の写真の展示
4/28(土)～ 5/30(水)	写真でみよう！ じゅん菜池の自然	市川クロマツ会の活動内容を紹介した写真の展示
6/1(金)～ 6/29(金)	第6回 NHK学園市川 阿部油絵教室作品展	NHK学園市川オープンスクールの油絵講座の講師・生徒による作品展
7/1(日)～ 7/30(月)	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを！～	市川子どもの外遊びの会によるパネル展示
	市川子ども文化ステーション写真展	市川子ども文化ステーションの活動内容を 紹介したパネルの展示
8/1(水)～ 8/31(金)	「市川クロマツ会」展Ⅲ	市川クロマツ会の活動内容を紹介した写真の展示
9/1(土)～ 9/27(木)	まちかどの近代建築写真展 in 市川[Ⅳ] 可愛いからモダンまで医院・病院建築	赤レンガをいかす会の協力による写真展
9/29(土)～ 10/30(火)	市川アートクラブ 絵画作品展	絵画サークル会員の作品展示
	A O I E 絵画作品展	絵画サークル会員の作品展示
11/1(木)～ 11/25(日)	モナリザ 絵画作品展	絵画サークル会員の作品展示
	w i t h A R T 絵画作品展	絵画サークル会員の作品展示
12/6(木)～ 12/27(木)	市川写真家協会アマ部門 I P P S クラブ作品展 「私のお気に入り」	市川写真家協会アマ部門の会員の写真展
1/5(土)～ 1/30(水)	魅力たっぷり行徳保護区～あそびにきてね～	行徳野鳥観察舎友の会による野鳥などの写真や、保護区の紹介パネルの展示
2/1(金)～ 2/27(水)	和洋女子大学服飾造形学類卒業制作写真展	和洋女子大学生の「卒業制作展」と「卒業制作ショー」の写真展
3/1(金)～ 3/28(木)	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部専攻科 造形芸術科生徒作品展	イラスト・油絵等の作品展示

（９）委員会等

① 研修委員会

ア．職員研修参加実績

千葉県公共図書館協会や外部機関等の主催する研修20件（36日）に延べ53人が参加し研鑽に努めた。

イ．異動者研修

図書館外からの異動職員5人を対象に、4月3日に図書館業務の基本についての研修を実施した。

ウ．非常勤職員研修

平成30年度に採用された図書館スタッフを対象に、6月に第2回（参加者4人）、2月に第3回（参加者4人）の研修を実施した。

3月には平成31年4月に新規採用される図書館

スタッフ3人を対象に新任研修を行った。

エ．図書館実習

8月8日から8月21日にかけて、大学生3人（大阪大谷大学1人、慶應義塾大学1人、白百合女子大学1人）を対象に図書館実習を実施した。

オ．職場体験学習・職場訪問

市内の小・中学生を受け入れ、職場体験指導等を行った。

カ．その他の研修

県教委主催「悉皆研修」のうち「社会奉仕体験研修」として教諭12人を受け入れた。

児童・生徒の職場体験学習の受入れ（平成30年度）

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
6/12	第五中学校	中央	4	職場体験学習
6/21～22	南行徳中学校	行徳	4	職場体験学習
6/26	福栄中学校	中央	3	職場体験学習
7/4	妙典中学校	中央	5	職場体験学習
7/5	大洲中学校	中央	3	職場体験学習
7/5～6	大洲中学校	平田	2	職場体験学習
8/7～8	福栄中学校	行徳	3	職場体験学習
10/2	第四中学校	中央	9	職場体験学習
10/23	ふれんどルーム	中央	4	職場体験学習
10/25	第八中学校	中央・平田	8	職場体験学習
11/1	第七中学校	中央	5	職場体験学習
11/1～2	第七中学校	行徳	3	職場体験学習
11/15	第三中学校	中央	6	職場体験学習
11/15～16	昭和学院中学校	行徳	3	職場体験学習
1/17	下貝塚中学校	中央	4	職場体験学習
計	12校 1団体 17日 66人			

教職員の体験研修の受入れ（平成30年度）

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
7/26～27	千葉県教育委員会	中央	3	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/14～15	千葉県教育委員会	信篤	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/16～17	千葉県教育委員会	行徳	1	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
8/22～23	千葉県教育委員会	中央	3	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
12/27	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
2/8	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修（社会奉仕体験）
計	1団体 10日 12人			

②広報委員会

ア. 図書館刊行物・ホームページの作成

図書館刊行物や図書館ホームページの編集及び作成を行った。2012年3月より開始した第1号「市川市図書館メールマガジン」は、2018年10月発行の第152号で終了し、図書館からの情報発信は図書館Facebookへと移行した。

(p.69「10. 平成30年度事業概要(10) 図書館刊行物」を参照)

イ. マスコミへの情報提供

各新聞社(市役所記者クラブ)や地域のコミュニティペーパー・放送局への情報提供を行った。

ケーブルテレビ(J:COM 市川)では「マイタウンいちかわ」で図書館のレファレンスサービスの特集等が計4回、また「デイリーニュース」でも計6回の放送がされた。

ウ. オリジナルグッズの配布・販売

市川市の各課、施設等と連携してその刊行物と、図書館オリジナルエコバッグ・クリアファイルを引き続き販売している。

2月に図書館マナーキャンペーンを実施し、動植物園のコツメカワウソやレッサーパンダ、モルモット、ミーアキャットの写真にマナーのお願い文を記載した特製の栞と、特製のポケットティッシュを配布した。

エ. イベントの開催

大柏川ビジターセンターで、絵本の読み聞かせや自動車図書館乗車体験等のイベントを行った。また、鬼高さんしゃ祭や、ニッケコルトンプラザで行われたファミリーフェスタ、市民まつりに参加した。

(p.63「10. 平成30年度事業概要(7) 主催事業」

③その他イベントを参照)

③蔵書構成検討委員会

ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「平成30年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行なった。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新(買い換え、除籍等)を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応
- ・雑誌の休廃刊に対する対応
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施(毎週)

イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行
- ・資料費の執行庶務

ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、図書館システム入れ替えのための特別休館期間(11/26~12/5)に図書整理を行った。

エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施
- ・行政等他の部署との連携による展示や講演を行った。
- ・時節に臨機応変に対応した展示を実施
(年間の展示一覧は、p.59「10. 平成30年度事業概要(7) ③特集展示」を参照)

⑤その他各団体委員

- ・千葉県公共図書館協会理事・児童奉仕研究委員会委員長
館長1名
- ・千葉県公共図書館協会理事・千葉県の図書館編集委員会副委員長
主幹1名
- ・千葉県公共図書館協会第2ブロック幹事館
市川市中央図書館

(10) 図書館刊行物

	タイトル	形態	刊行頻度
①	市川市の図書館 2018	A 4・製本冊子	1回／年
②	市川図書館だより 第102号 「特集：経済小説/ビジネス小説」 第103号 「図書館資料検索ページで新しいサービスが始まりました！」	A 3・ 二つ折り 1枚	2回／年
③	新・参考業務月報 2018	A 4・1枚	1回／月
④	新・参考業務年報 2018	A 4・製本冊子	1回／年
⑤	市川市中央図書館調べ方案内 18. 世界情勢を知るには 19. 病気について調べるには 20. オリンピック・パラリンピックについて調べるには 21. 近代作家について調べてみよう	A 4・各1枚	随時
⑥	各種利用案内（システム更新のための改訂版含む） 1-Z. 中央図書館 閲覧席の案内 2-2. 自動車図書館「みどり」号 3. 関連施設のご案内 4-1. 予約サービス案内 4-2. インターネットでの予約 4-4. 千葉商科大学付属図書館で予約図書を受け取るには… 4-5. インターネットでのシリーズ予約 5-1. パスワードのご案内 5-2. メールアドレス登録のご案内 6. 貸出状況確認と貸出延長のご案内 7. 資料検索ガイド	A 4・各1枚	
⑦	中央図書館フロア案内図 こどもとしょかんフロア案内図	A 3・1枚 A 4・1枚	随時
⑧	中国語利用案内 利用指南No. 1-1、No. 1-2	A 4・各1枚	
⑨	Young Adult通信 第79号	A 4・1枚	1回／年
⑩	Young Adult通信 入門編 改訂	A 4・1枚	1回／年
⑪	Young Adult通信 号外 てっぱんせれくと号	A 4・三つ折り	1回／年
⑫	としょかんへいってみよう！	A 4・二つ折り	随時
⑬	本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 2018 3・4年生におすすめする本 2018 5・6年生におすすめする本 2018	A 4・各1枚	1回／年
⑭	市川市中央図書館調べ方案内パスファインダー 海苔（のり）をしらべるには	A 3・二つ折り	随時

(11) 視察・講師派遣等

①視察

月 日	視 察 者	視察場所（目的）	人数
4/12（木）	図書館用品 伊藤伊	図書館見学	3
4/14（土）	大韓民国原州市職員	図書館見学	16
4/19（木）	沖縄県北中城村議員	生涯学習センター全般	2
5/16（水）	北九州市議会教育文化委員会	学校図書館支援センター事業関連ほか	12
7/4（水）	愛知県知多市大府市東浦町行政視察	公立図書館と学校図書館支援センター事業関連	5
7/11（水）	北海道北広島市議会建設文教常任委員会	学校図書館支援センター事業関連	8
7/18（水）	近畿大学通信教育司書課程受講者	図書館見学	1
10/31（水）	北九州市教育委員行政視察	学校図書館支援センター事業関連	5
1/17（木）	松戸市教育委員会他	図書館見学	9
2/7（木）	練馬区光が丘図書館	生涯学習センター全般	1
2/13（水）	愛知県犬山市教育委員会	学校図書館支援センター事業関連	4

②講師派遣等

月 日	テーマ（講師）	集会名、主催団体等（講演場所）
6/27（水） 6/28（木）	図書館サービス計画の企画・立案 (叶多泰彦)	平成30年度図書館司書専門講座 主催：文部科学省生涯学習政策局 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)
7/5（木）	ノンフィクションの選書について (高柳公香)	平成30年度児童サービス基礎研修会 主催：千葉県立中央図書館 (千葉県立美術館)
8/9（木）	中央図書館見学および学校図書館の教育活動 における活用法について (前越裕子)	平成30年度小・中学校初任者研修『地域の特色のある 研修（市町村研修）』 主催：市川市教育委員会学校教育部指導課 (市川市生涯学習センター)
8/20（月）	パネルディスカッション「子どもの読書活動を 支えるために、公立図書館に求めること」 パネラー（小川健太郎）	平成30年度公立図書館と学校の連携を図るための研 修会 主催：千葉県教育委員会 (千葉市民会館)
10/10（水）	読み聞かせのコツ 初心者向け (前越裕子・高柳公香)	平成30年度千葉県教育研究会市川支会公開研究発表 会（10月定例研究会） 主催：千葉県教育研究会市川支部 (大和田小学校)
10/18（木）	絵本とのはじめての出会い (臼田千穂・大関ちあき)	新井親子つどいの広場講座 主催：新井親子つどいの広場 (新井地域ふれあい館)
10/25（木）	「図書館利用講座」 (山岸裕朋)	平成30年度東部公民館 秋の主催講座「国立国会図書 館へ行こう！」第1回 主催：市川市東部公民館 (市川市中央図書館)
11/10（土）	県内の公共図書館の動向と今後 (叶多泰彦)	千葉経済大学短期大学部とどろき祭司書課程講演会 主催：千葉経済大学短期大学部司書課程 (千葉経済大学短期大学部)

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

※市川市広報の記事は除く

①図書館紹介記事（イベント以外）

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ
千葉県内図書館、博物館、公民館連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」 於：市川市文学ミュージアム企画展示室 千葉の鉄道写真を展示 明治～昭和の 52 点 『市川よみうり』2019 年 3 月 9 日、1969 号 8 面

貸出ベスト

今年人気だった本は？市内図書館の貸し出しベスト 10 『コミュニティーペーパーいちかわ』2018 年 12 月 21 日、762 号 5 面

その他

梅雨の時期は、のんびり読書でも（WLB 本のご紹介） 『ワークライフバランス通信』2018 年 5 月 31 日、54 号
大柏川ビジターセンター内に「えほんコーナー」がオープン イベントも開催 『ポイントペーパー いちかわ』2018 年 7 月 20 日、741 号 1 面
ビジターセンターに「えほんコーナー」 『市川よみうり』2018 年 8 月 25 日、1943 号 7 面
「ICT」を活用したこれからの図書館 『市川よみうり』2018 年 10 月 27 日、1951 号 2 面

③イベント紹介記事

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ
--

はるかぜえほんの会 4 月

はるかぜえほんの会 【情報スクランブル】 ※イベント告知 『市川よみうり』2018 年 4 月 14 日、1925 号 6 面
--

YA 図書館脱出ゲーム 8 月

YA 図書館脱出ゲーム 【情報スクランブル】 ※イベント告知 『市川よみうり』2018 年 7 月 21 日、1938 号 3 面
参加型イベント「YA 図書館脱出ゲーム」 【mini guide ミニガイド】 ※イベント告知 『千葉日報』2018 年 7 月 26 日、5 面

小学生のためのこわいおはなし会 8 月 8 日、15 日

小学生のためのこわいおはなし会 【情報スクランブル】 ※イベント告知 『市川よみうり』2018 年 8 月 4 日、1940 号 6 面
夏休み、小学生集まれ！子ども図書館イベント情報 小学生のためのこわいおはなし会 ※イベント告知 『ポイントペーパーいちかわ新聞』2018 年 8 月 10 日、744 号 1 面 8/15 のみ紹介
小学生集まれ！夏休みのおもしろ体験 小学生のためのこわいおはなし会 ※イベント告知 『ポイントペーパー行徳新聞』2018 年 8 月 10 日、1960 号 8 面 8/15 のみ紹介

こどもとしゃかん環境デー

夏休み、小学生集まれ！子ども図書館イベント情報 こどもとしゃかん環境デー ※イベント告知 『ポイントペーパーいちかわ新聞』2018 年 8 月 10 日、744 号 1 面
小学生集まれ！夏休みのおもしろ体験 子ども図書館環境デー ※イベント告知 『ポイントペーパー行徳新聞』2018 年 8 月 10 日、1960 号 8 面

こどもとしょかん環境デー！ 【mini guide ミニガイド】	※イベント告知
『千葉日報』2018年8月23日，5面	

いちかわファミリーフェスタ2018 11月18日

「出張図書館」「家族で楽しもう！絵本の世界」	※イベント告知
『ポイントペーパーいちかわ新聞』2018年11月9日，756号 1面	

「ガチャポンでドン！」

なにができるかな？「ガチャポンでドン！」	※イベント告知
『ポイントペーパーいちかわ新聞』2019年1月1日，763号 2面	

市川市中央図書館 「福壺」「YA図書館本A-Z」 行徳図書館 信篤図書館「新春福袋」

中身はお楽しみ 図書館員お薦めの本貸し出し	※イベント告知
『市川よみうり』2019年1月3日，1960号 11面	

親子で楽しむ科学遊びの会～いろのふしぎ～

親子で楽しむ科学遊びの会～いろのふしぎ～ 【情報スクランブル】	※イベント告知
『市川よみうり』2019年3月9日，1969号 6面	

(13) 市川市立図書館関係テレビ番組一覧

J:COM 市川「マイタウンいちかわ」

放送日	放送内容
6/30（土）	vol.14 特集：民話で巡る市川の怖～いスポット
7/21（土）	vol.17 市川市からのお知らせ 大柏川第一調節池緑地ビジターセンターにえほんコーナーオープン
8/18（土）	vol.21 ウィークリーヘッドライン「生きている虫が信篤図書館にやってくる」（8／8）
12/15（土）	vol.38 特集：図書館を利用しよう レファレンスサービス

J:COM 市川「デイリーニュース」

放送日	放送内容
7/24（火）	大柏川ビジターセンターにえほんコーナー完成
8/3（金）	“ひやっ” として暑さ忘れる小学生のためのこわいおはなし会
8/16（木）	館長を助け出せ！図書館で参加型ゲームイベント開催
10/22（月）	鬼高の三者が協力 第24回 鬼高さんしゃ祭
12/24（月）	市川よみっこ運動 子どもたちが図書館に本を贈呈
3/1（金）	写真でつづる千葉県と鉄道 鉄道と共に学んだ歴史

11. 市川図書館友の会

F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)

①発足

平成6年9月18日

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

③会員数

68人(平成31年4月1日現在)

④役員(平成30年度)

会 長：橋場くみ

副会長：尾高有子 鵜殿幸夫

会 計：岩井みよ子 大山秀子

監 事：中里るみ 樋口勝久

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人

会 費 ・個人会員 年額 1,000円

・賛助会員 年額 5,000円

特 典 一切なし

⑥活動内容(平成30年度)

1. 図書館講座

○第1回図書館講座 平成30年6月23日

「新入会員基礎講座」

講師：椎名昭洋 橋智子 橋場くみ

配架の基礎知識

各部会説明

館内案内

DVD「図書館の達人」視聴

参加人数4人

○第2回図書館講座 平成31年2月23日

「電算更新による変更点等」

講師：叶多泰彦主幹

参加人数20人

2. リサイクルブック市の運営と募金活動

○中央図書館(第25回) 平成30年10月27日

グリーンスタジオ

入場者1,273人

○行徳図書館(第21回) 平成31年1月26日

行徳公民館3階レクリエーションホール

入場者530人

3. 図書館見学会

平成31年2月13日

国立国会図書館・法務省旧本館赤れんが棟

参加人数17人

4. 夏休み体験ボランティア講座

平成30年7月27、28、29日、8月2、3日に

中学生、高校生対象の体験ボランティアを実施。

参加人数34人

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業を行っている。活動日数289日、延べ1,409人、1日平均4.9人。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理を行っている。活動日数177日、活動時間688時間、月平均18.7人。

3. インフォメーション部

- ・新入会員基礎講座と夏休み体験ボランティアの館内案内。
- ・総会の司会と中央図書館リサイクルブック市のアナウンスを担当。
- ・図書館見学会企画。
- ・毎月第3水曜日に学習会を開催。

4. 広報部

- ・会報「F I L通信」92, 93, 94, 95号を発行。
- ・「広報いちかわ」に募集告知を掲載。
- ・市川市役所市民ボランティア・NPO課主催のスペシャル座談会に出席。

5. 総務部

入会申込みと継続会費受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で行っている。
本年度新入会員受付は7人

12. 新聞・雑誌一覧

(1) 購入雑誌一覧

令和元年12月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊	①							ウ-4	偶月 25日	
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アイ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アイ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②				③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アイ	AERA with Baby	朝日新聞出版	隔月刊	③							イ-1	奇月 15日	16年4月号で休刊
アカ	赤ちゃん和妈妈	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アク	アクアライフ	エムピージェー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アク	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5月29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							エ-1	毎月 10日	
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	③							カ-2	3・6・9・12月27日	19年6月27日号で休刊
イコ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	月刊					①				毎月 10日	
イタ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウィ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウィ	with	講談社	月刊					①				毎月 28日	
ウィ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウオ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	HR(エイチアール)	グラフィティ	隔月刊	①							エ-1	偶月 10日	18年1・2月号で休刊
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
エク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞社	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
ES	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
ES	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	
ESS	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
EM	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	
オズ	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパนมシニスト社	季刊	◎		⑤					オ-1	3・5・8・11月25日	
オト	男の隠れ家	三栄書房	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カク	科学	岩波書店	月刊	③							ケ-2	毎月 28日	
カク	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カク	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤							キ-3	毎月 1日	13年4月号から寄贈へ
カク	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		◎	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチュアエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カソ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	
カッ	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カッ	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カツ	かつくら	新紀元社	季刊	⑤							エ-1	1・4・7・10月25日	13年春号より図書登録
カテ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カウ	月刊空手道&フルコンタクト	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 27日	16年2月号で休刊
カン	考える人	新潮社	季刊	③							エ-3	1・4・7・10月4日	17年春号で休刊
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	月刊	①							ウ-1	毎月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研プラス	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キヨ	教育	かもがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キヨ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
キヨ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キヨ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3.6.9.12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クヨ	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クラ	暮らしの手帖	暮らしの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クリ	COURRIER JAPON	講談社	月刊	③					③		ア-2	毎月 25日	16年4月号で休刊
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	月刊	①		①					ア-4	毎月 7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	3・6・9・12月10日	
クロ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
クア	クアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケイ	経済界	経済界	月刊						③			毎月 22日	
ケイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
ケイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ケテ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							エ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ケン	剣道日本	スキージャーナル	月刊	③							イ-4	毎月 25日	18年1月号で休刊
コウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	月刊	③							ク-1	毎月 15日	
コウ	航空情報	せきれい社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	月刊	①							ア-3	毎月 9日	
コカ	小型全国時刻表	交通新聞社	月刊		①							毎月 20日	
コク	國文学	学燈社	月刊	◎							エ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
コク	國語と國文學	明治書院	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コク	國文學 解釈と教材の研究	学燈社	月刊	◎							エ-3		09年7月で休止
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							エ-3	不定期	
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしょかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	
コト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎							子供	毎月 25日	
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	月刊こどもの本棚	日本こどもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コモ	Como	主婦の友社	季刊	③	①						イ-1	2・5・9・12月7日	17年夏秋号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月 20日	
サイ	saita	セブン&アイ出版	不定期	①	①						ア-3	毎月 7日	19年1月号で中止
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	
サッ	SOCCER MAGAZINE ZONE	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	16年9月号より「サッカー マガジン」に改題
サッ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	不定期刊			③							
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	権出版社	不定期	③							イ-3		
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 2日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シェ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シェ	JJ	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 23日	
シェ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シェ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
シェ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シハ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シゼ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	音楽出版社	季刊	①							ウ-5	毎月 20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月 12日	19年3月号で休刊
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シャ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シャ	月刊社会教育	旬報社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シャ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	
シャ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月 28日	19年6月号で休刊
シュ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シュ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シュ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シュ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シュ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シュ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シュ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シュ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シュ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	
シュ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ケ-1	偶月 19日	
シュ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 11日	
シュ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	19年3月下旬号で休刊
シュ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シュ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シュ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シュ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	毎月 21日	
シュ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シヨ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	18年10月号で休刊
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①		①			ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							7-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		奇月 15日	
シヨ	乗馬ライフ	ワイズファクトリー マトロポリタンプレス(発売)	月刊	③							イ-3	毎月 25日	16年11月号からUMA LIFEへ変更
シン	Think !	東洋経済新報社	不定期						⑤			1・4・7・10月25日	15年AUTUMNで中止
シン	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シン	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	
シン	新潮45	新潮社	月刊	③							7-2	毎月 18日	18年10月号で休刊
シン	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シン	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			7-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3.6.9.12月12日	19年春号で休刊
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					7-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					7-5	奇月 21日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							7-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							7-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					7-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							7-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					7-5	奇月 28日	
ソウ	社快	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	木楽舎	月刊	⑤							7-4	毎月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ク-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					7-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	輸入元:タイムインク社	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド ZAi	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タイ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			7-1	毎月 6日	
タク	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タザ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タツ	Touchdown	タッチダウン	月刊	③							イ-4	毎月 30日	16年10月号で休刊
タレ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
タン	短歌	角川文化振興財団	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	ダンスファン	白夜書房	月刊	③							イ-3	毎月 27日	17年12月号で休刊
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					7-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	季刊	◎	②	⑤					イ-1	1・4・7・10月25日	
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎							7-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							7-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊	①		①					7-3	毎月 7日	
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					7-2	毎月 10日	
チリ	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤							ク-3	毎月 1日	
チル	チルチンびと	風土社	季刊	⑤							7-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							7-2	毎月 7日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信でーた	ムービーウォーカー/KADOKAWA(発売)	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	DVD&ブルーレイでーた	KADOKAWA	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	18年4月号より「DVD&動画配信でーた」に変更
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	扶桑社	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	
トウ	Tokyo Walker	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トリ	特選街	マキノ出版	月刊	①				①			ア-4	毎月 3日	
トリ	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トフ	飛ぶ教室	光村図書出版	季刊	◎							子供	1・4・7・10月25日	13年SPRINGより図書登録
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	月刊	③							ク-3	毎月 20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経おとなのOFF	日経BP出版センター	月刊				①		②			毎月 6日	19年6月号で休刊
ニッ	日経会社情報	日本経済新聞社/日本経済新聞出版社(発売)	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	17年春号で休刊
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ク-4	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ク-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ク-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ク-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経ビジネスAssocie'	日経BP社	月刊		①	①		①				毎月 10日	18年9月号で休刊
ニッ	日経ヘルス	日経BP社	隔月刊	①				①			イ-1	奇月 2日	
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニユ	Newsweek 日本版	CCCメディアハウス	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞社	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ニユ	THE NEW YORKER [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週木曜日	14年3月31日号で中止
ネコ	猫びより	辰巳出版	隔月刊	①							ウ-4	偶月 12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で中止
ノシ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノマ	ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 1日	18年3月号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	
ハイ	Hi Wind	マリン企画	季刊	③							イ-3	3・6・9・12月5日	16年7月号で休刊
ハイ	俳句	角川文化振興財団	月刊	㊦		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	権出版社	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	月刊	⑤			①	①			ア-5	毎月 21日	
ハス	HERS	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 12日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	B=PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	㊦							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	㊦		①	①		②		子供	毎月 3日	
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	㊦		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	㊦							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	㊦							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ヒシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ケ-1	毎月 28日	
ヒシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ヒシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	
ヒシ	美術手帖	美術出版社	隔月刊	㊦							イ-2	奇月 7日	
ヒツ	BIG tomorrow	青春出版社	月刊						③			毎月 25日	18年1月号で休刊
ヒツ	Hit & Run	ベースボール・マガジン社	不定期	③							子供	不定期	17年3月号で中止
ヒテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ヒハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ヒフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	㊦							子供		98年30号で休刊
ヒヨ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
ヒラ	ひらがなタイムズ [英語]	ヤック企画	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	リンクタイズ	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ケ-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月2回	③	①	①	①	①			ウ-6	第2・4火曜日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	不定期	①							ア-3		
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	3・6・9・12月7日	2019年6月号で休刊
フル	フルコンタクトKARATE	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 23日	15年7月から「月刊空手道」と統合
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	PRESIDENT WOMAN Premier	プレジデント社	季刊	①					①		ア-3	3・6・9・12月28日	
フル	PRESIDENT WOMAN	プレジデント社	月刊	①					①		ア-3	毎月 7日	19年春号から「PRESIDENT WOMAN Premier」へ変更
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	季刊			①						1・4・7・10月15日	
フル	ブレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	月刊	③							ウ-2	毎月 8日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	㊦							エ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フン	文藝界	文藝春秋	月刊	㊦							エ-3	毎月 7日	
フン	文藝	河出書房新社	季刊	㊦							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	㊦							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で紙版休刊
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	㊦	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フン	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月26日	17年秋号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							エ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	CCCメディアハウス	月2回	③							ア-4	毎月1・15日	
ホウ	法学教室	有斐閣	月刊	㊦							オ-3	毎月 28日	
ホウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	㊦							オ-3	毎月 12日	
ホウ	訪問看護と介護	医学書院	月刊	⑤							ケ-3	不定期	
ホウ	法律時報	日本評論社	月刊	㊦							オ-3	毎月 27日	
ホウ	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ホス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月 22日	
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	㊦							ア-1	毎月 25日	16年5月号から寄贈へ

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ホソ	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
マツ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	月刊	①				①	③		ア-4	毎月 28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①	①		①				ア-3	毎月 7日	
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ケ-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミヨ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メノ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月 15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で冊子版休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 24日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 28日	
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
ヤサ	やさい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	毎月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラグ	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールビーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リー	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リカ	RikaTan理科の探検	SAMA企画 文理(発売)	不定期	③							ケ-2		
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リユ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3、6、9、12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③							ウ-5	毎月 20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月 25日	
ロッ	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロッ	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月 10日	
購入タイトル数			372	320	33	105	36	37	41	3			

注1:所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2:配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3:網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

令和元年12月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」に変更
アフ	aff(農林水産省広報誌)	農林水産省	月刊	①			○				キ-1	19年4月で休刊
アル	ALPS ライフプラン情報誌	地域社会ライフプラン協会	季刊	②登							ア-3	
イイ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊	①登		◎登					ア-2	19年5月号で休刊
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
ウマ	馬の科学	日本中央競馬会競走馬総合研究所	季刊	②							イ-3	19年第56巻4号で休刊
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①登							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニューズ・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②登							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カワ	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①登							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年4回	③登							ク-3	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①登							オ-3	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②登							キ-1	
コウ	皇室	扶桑社	季刊	③登							オ-2	
コウ	交通科学	交通科学研究会	年2回	③							キ-1	Vol49で休刊
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①登							オ-2	
コウ	高齢社会をよくなる女性の会会報	高齢社会をよくなる女性の会	隔月刊							○		
コク	国土交通	国土交通省	隔月刊	②							キ-1	18年4・5月号で休刊
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	年2回	③登							キ-2	
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コム	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②登							オ-3	
サナ	サ～ナ sana	イフ	不定期	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②登							キ-1	
シグ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シチ	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	②			○				オ-2	18年4月号で寄贈中止
シテ	city & life	第一生命財団	年3回	②登							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シホ	司法の窓	最高裁判所	不定期	⑤							オ-3	81号で寄贈中止
シャ	JAXA's	宇宙航空研究開発機構	隔月刊	③							ク-2	19年12月から新聞扱い
シャ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シュ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シュ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	18年6月号で休刊
シヨ	食品安全	内閣府食品安全委員会	年4回	②							キ-2	54号で寄贈中止
シヨ	書斎の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①登							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学会	年2回	③登							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セカ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	16年秋号(23号)で終刊
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
タノ	たのくら	明光企画	月刊			◎登						07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①登							キ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年5月号で寄贈中止・購入へ
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①登							キ-2	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①登							ウ-1	
テン	電撃文庫MAGAZINE	KADOKAWA	隔月刊	①登							エ-1	
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							オ-1	
トリ	TALK TALK	経心会	年刊	②登							ア-2	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登	○	①	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ニュー	THE NEW YORKER [英語]	CONDE NAST PUBLICATIONS	週刊	③							イ-5	18年1/15で寄贈中止
ノ	のんびる	パルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句界	文學の森	月刊	③登							エ-3	
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①登							ク-1	
ハス	Her Story	ノートルモンド社	月刊	②							オ-2	
ハッ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	
ホウ	防災ニュース	日本防災協会	年4回	②							オ-2	214号で寄贈中止
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②登							ウ-1	
ホーム	ホームエコノミストワイズ	山雄	月刊	①登							ア-3	19年4月号で休刊
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎登							ア-1	
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	KADOKAWA	月刊	◎登							ア-1	19年7月号で休刊
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともふらす	明光企画	隔月刊	②登		◎登					イ-1	
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
マン	マンション管理センター通信	公益財団法人マンション管理センター	月刊	①登							ク-1	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	mr partner for real life	ミスター・パートナー	隔月刊	②登					②登		ア-3	
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミト	緑と水のひろば	東京都公園協会	季刊	②登			○				ウ-1	19年4月95号で休刊
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②登							キ-1	
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①登							オ-2	
レキ	歴博	国立歴史民俗博物館	隔月刊		○		○					
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数 76 73 2 4 5 0 1 2

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

平成31年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	eパートナーちば	ちば県男女共同参画センター	青ファイル
2	いちかわ:商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
3	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
4	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
5	いちかわし農業委員会だより	市川市農業委員会	緑ファイル
6	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル(I/R1)
7	いちかわ夢マガジン:市川市メールマガジン	市川市	緑ファイル(I/F5)
8	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川よみうり)
9	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	緑ファイル(I/N0)
10	Event Guide:市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
11	ウィズレター	市川市男女共同参画センター	緑ファイル
12	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
13	SSU市川会報	SSU市川	黄ファイル
14	沖	沖発行所	BOX(沖)
15	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
16	かいづか	市川博物館友の会	緑ファイル
17	科学館ニュース	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
18	かずさDNA研究所ニュースレター	かずさDNA研究所	BOX(かずさDNA研究所ニュースレター)
19	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	図書登録(I/Q4)
20	ガーデニング通信	市川市まち並み景観整備課	緑ファイル
21	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
22	鎌ヶ谷市史研究	鎌ヶ谷市教育委員会	図書登録(C22.4/B0)
23	環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
24	監査結果	千葉県監査委員	青ファイル(C10/F7)
25	監査結果の公表について	市川市監査委員	緑ファイル(I/F7)
26	教育いちかわ	市川市教育委員会	ファイル(I/Q1)
27	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
28	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館	青ファイル
29	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県教育委員会	青ファイル(C10/F7)
30	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
31	クオリティライフいちかわ	市川市消費生活センター	緑ファイル
32	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(Green Port Report)
33	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
34	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
35	京葉タイムス	行徳ニュース社	BOX(京葉タイムス)
36	月刊いちかわ	エピック	BOX(月刊いちかわ)
37	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
38	研究紀要	千葉市立郷土博物館	図書登録(C21.1/B0)
39	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
40	県水だより:千葉県営水道広報紙	千葉県企業局	BOX(県水だより)
41	考古・歴史博物館だより	市川考古博物館/市川歴史博物館	緑ファイル
42	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
43	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
44	国際交流つつしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
45	こちら119番	市川市消防局	緑ファイル
46	コミュニティサポートだより	コミュニティサポート委員会	緑ファイル
47	コミュニティクラブ遊びの情報	市川市教育委員会学校地域連携推進課	緑ファイル
48	採蓮:千葉市美術館研究紀要	千葉市美術館	図書登録(C21.1/R4)
49	三番瀬署名ニュース	三番瀬を守る署名ネットワーク	黄ファイル
50	しいむじな:房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
51	CUC: View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
52	C'n scene news	千葉市美術館	ピンクファイル
53	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
54	市史研究いちかわ	市川市文化スポーツ部文化振興課	製本登録(I/B0)
55	自然通信	自然通信社	製本登録(I/U0)
56	City Voice:市川の街から	市川市	図書登録(I/F5)
57	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
58	じゅんかんニュース	市川市環境部生活環境整備課	緑ファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
59	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
60	市立いちかわ自然博物館だより	市立市川自然博物館	緑ファイル
61	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
62	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
63	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
64	聖徳大学生涯学習研究所紀要	聖徳大学	図書登録(C22.8/Q3)
65	清和大学短期大学部紀要	清和大学短期大学部	図書登録(C35.1/Q3)
66	生命のにぎわいとつながり:生物多様性ちばニュースレター	千葉県生物多様性センター	青ファイル
67	袖ヶ浦市史研究	袖ヶ浦市郷土博物館	図書登録(C35.3/B0)
68	たかつほ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
69	ちいき新聞 市川北部版	地域新聞社	BOX(ちいき新聞)
70	ちいき新聞 市川中央版	地域新聞社	BOX(ちいき新聞)
71	ちいき新聞 中山版	地域新聞社	BOX(ちいき新聞)
72	ちいき新聞 本八幡版	地域新聞社	BOX(ちいき新聞)
73	ちいき新聞 八幡北版	地域新聞社	BOX(ちいき新聞)
74	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
75	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(G10/K0)
76	千葉県SLA会報	千葉県教育研究会学校図書館教育部会	青ファイル
77	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
78	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(ちば県議会だより)
79	千葉県財政事情	千葉県総務部財政課	青ファイル(C10/G2)
80	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県監査委員	青ファイル(C10/F7)
81	千葉県毎月常住人口調査	市川市総務部	青ファイル(C10/M2)
82	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
83	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
84	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
85	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
86	千葉市史編さんだより	千葉市立郷土資料館	ピンクファイル
87	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
88	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	青ファイル(C10/M1)
89	ちばの博物館	千葉県博物館協会	青ファイル
90	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
91	ちばまなびの森(千葉市生涯学習情報誌)	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
92	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
93	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
94	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部・現代教養学部	図書登録(C22.1/Q3)
95	定年時代:千葉版	新聞編集センター	BOX(定年時代)
96	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
97	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
98	流山市史研究	流山市教育委員会	図書登録(C22.5/B0)
99	なのはな通信	アイビー千葉	BOX(なのはな通信)
100	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
101	成田市史研究	成田市教育委員会	図書登録(C23.2/B0)
102	NEWS LETTER	中央学院大学システム研究所	黄ファイル
103	野田市史研究	野田市	図書登録(C22.6/B0)
104	千潟を守る	千葉の千潟を守る会	ファイル(I/T0)
105	FIL通信	市川図書館友の会	緑ファイル
106	福祉ちば	千葉県社会福祉協議会	青ファイル
107	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
108	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(ふれあい毎日)
109	ヘルシースクールだより	市川市教育委員会保健体育課	緑ファイル
110	ポイントペーパーいちかわ新聞(旧コミュニティ・ペーパーいちかわ新聞)	明光企画	BOX(ポイントペーパー市川新聞)
111	ポイントペーパー行徳新聞(旧コミュニティ・ペーパー行徳新聞)	明光企画	BOX(ポイントペーパー行徳新聞)
112	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
113	ほくそう	北総鉄道	BOX(ほくそう)
114	まいたうん:市川・本八幡版	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
115	楨:文学同人誌	文学グループ・楨の会	図書登録(C34.1/W0)
116	真木:千葉県俳句作家協会会報	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
117	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
118	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館	図書登録(C22.8/R3)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
119	ママとも+ぶらす 東京ベイ・千葉	明光企画	BOX(ママともプラス)
120	ミーティアムガイド:市川市公民館講座情報紙	市川市教育委員会社会教育課	BOX(ミーティアムガイド)
121	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
122	みどりの道:外環千葉県区間情報誌	国土交通省関東地方整備局	BOX(みどりの道)
123	ミュージアムレター	市川市文学ミュージアム	緑ファイル
124	みる かたる つくる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
125	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
126	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
127	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報部	BOX(Lounge)
128	LINK:千葉商科大学学内広報誌	千葉商科大学	BOX(LINK)
129	例月出納検査結果報告	市川市監査委員	緑ファイル(I/F7)
130	歴博	国立歴史民俗博物館	BOX(歴博)
131	和洋教育	和洋国府台女子中学校・高等学校	図書登録(I/Q3)
132	和洋女子大学紀要	和洋女子大学	図書登録(I/Q3)

注1:配架分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

令和元年12月1日現在

ミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①			
カン	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	高校生新聞(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
コク	国民民主Press(寄贈)	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シャ	JAX's(寄贈)	○					
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主(寄贈)	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スポ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
タイ	The Times [英語]	○					
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
チュ	中小企業振興(寄贈)						①
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ユエ	USA TODAY [英語]	○					
ミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存

注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)

駅南(3ヶ月)

※朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

「萬朝報」 明治25年11月～大正9年12月
「日本」 明治22年2月～明治39年6月

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」 昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」 昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」 昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～

欠号: 昭和13年1～2月

欠号: 昭和14年9月

欠号: 昭和15年5月

欠号: 昭和27年11月

欠号: 昭和29年4月

欠号: 昭和30年12月

欠号: 昭和31年3月, 5～12月

欠号: 昭和34年11月

欠号: 昭和35年11月

欠号: 昭和39年10月

欠号: 昭和41年8月

欠号: 昭和45年11月

欠号: 昭和49年6月, 8月

欠号: 昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

欠号: 昭和60年7月 欠号: 昭和63年7月

欠号: 昭和61年7月 欠号: 平成元年7月

欠号: 昭和62年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

13. 条例・規則等

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日 条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。
（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。
（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。
（平23条例45・一部改正）
（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。
（館外貸出しを受けることができるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。
（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

- 2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。
- (1) 個人 登録の日から起算して3年
 - (2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで
- 3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。
- 4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。
- (1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
 - (2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）
（登録の申請等）
第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（開館時間）

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。
ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

（休館日）

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

（入館の制限等）

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- （1） 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- （2） 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- （3） その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

（損害賠償）

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- （1） 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- （2） 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- （3） 館外貸出しの承認を行うこと。
- （4） 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- （5） 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。
- （6） その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年 3 月31日 教育委員会規則第 6 号
改正 平成23年 3 月25日 教委規則第 2 号
平成24年 3 月14日 教委規則第 2 号
平成28年 3 月31日 教委規則第 5 号

市川市立図書館規則（平成 6 年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第 1 条の 2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（蔵書の構築）

第 2 条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適応するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（館内利用）

第 2 条の 2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（レファレンスサービス）

第 3 条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不適當と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第 2 項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（登録の申請等）

第 4 条 条例第 6 条第 1 項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第 1 号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第 2 号）及び団体構成員名簿（様式第 3 号）

- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあっては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあっては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあっては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号
（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。
- 3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。
- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

○市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

	平成6年9月28日	条例第22号
改正	平成15年6月25日	条例第42号
	平成17年9月22日	条例第38号
	平成19年12月20日	条例第44号
	平成20年12月12日	条例第40号
	平成23年12月7日	条例第45号
	平成25年3月25日	条例第20号
	平成28年9月28日	条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

- 名称 市川市生涯学習センター
- 位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（休館日）

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認める

ときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（駐車場の供用日等）

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

（平20条例40・追加）

（使用権の譲渡等の禁止）

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正）

（使用の停止等）

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

（平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正）

（入館の制限等）

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則（抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（市川市教育センター設置条例の廃止）

- 3 市川市教育センター設置条例（昭和36年条例第9号）は、廃止する。

（市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止）

- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例（昭和63年条例第20号）は、廃止する。

附 則（平成15年6月25日条例第42号）

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成17年9月22日条例第38号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則（平成19年12月20日条例第44号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年12月12日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則（平成25年3月25日条例第20号）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行）

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則（平成28年9月28日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

（準備行為）

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

	平成 6 年 10 月 18 日	教育委員会規則第 9 号
改正	平成 8 年 2 月 7 日	教委規則第 1 号
	平成 10 年 6 月 10 日	教委規則第 7 号
	平成 15 年 8 月 13 日	教委規則第 11 号
	平成 17 年 2 月 16 日	教委規則第 3 号
	平成 18 年 3 月 22 日	教委規則第 1 号
	平成 19 年 10 月 24 日	教委規則第 14 号
	平成 19 年 12 月 20 日	教委規則第 18 号
	平成 21 年 3 月 19 日	教委規則第 4 号
		〔題名改正〕
	平成 23 年 3 月 25 日	教委規則第 2 号
	平成 24 年 3 月 14 日	教委規則第 1 号
	平成 25 年 7 月 12 日	教委規則第 5 号
		〔題名改正〕
	平成 28 年 3 月 31 日	教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成 6 年条例第 22 号。以下「条例」という。）第 27 条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平 21 教委規則 4・平 25 教委規則 5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第 2 条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平 24 教委規則 1・追加)

(蔵書の構築)

第 2 条の 2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

- 2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。
- 3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平 21 教委規則 4・全改、平 24 教委規則 1・旧第 2 条繰下・一部改正)

(館内利用)

第 2 条の 3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

- 2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平 24 教委規則 1・追加)

(レファレンスサービス)

第 3 条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不適当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード

の交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

- 3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

- 2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3 月 30 日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8 月 26 日

(趣旨)

第 1 条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第 6 号）

第 2 条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成 6 年教育委員会規則第 9 号）第 2 条の 2 の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第 2 条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第 3 条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。

3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。

5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。

6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第 4 条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第 5 条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）

(2) 逐次刊行物

(3) 地域資料

(4) 視聴覚資料

(5) 障害者用資料

(6) 電磁的記録

(7) その他

(資料別収集方針)

第 6 条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和元年6月7日法律第26号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関し必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協

議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長）が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

（図書館の補助）

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

２ 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

（都道府県教育委員会との関係）

第二十五条 都道府県教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

２ 都道府県教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

（国及び地方公共団体との関係）

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

（入館料等）

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

（図書館同種施設）

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

２ 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

市川市教育振興基本計画

【第3期】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成31年1月
市川市教育委員会



3 計画の体系

【基本理念】
人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

家庭・学校・地域の連携・協働	【方針1】 感性を豊かに働かせ、 社会の中でたくましく 生きていくことのでき る子どもを育てる	《目標1》自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む
		《目標2》主体的に学びに向かい、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する
		《目標3》健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する
		《目標4》社会的・臨時的自立に向けた能力・態度を育成する
		《目標5》家庭・学校・地域の教育力の向上に向けた取組を推進する
	【方針2】 “自分らしく輝くための 学び”の環境の実現 と学びのセーフティ ネットを構築する	《目標6》人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する
		《目標7》特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援を充実させる
		《目標8》グローバルに活躍する人材を育成する
		《目標9》新しい地域づくりを推進する
	【方針3】 社会の変化を見据えた 教育環境の整備を図り、 市川の質の高い教育を 推進する	《目標10》持続可能な学校指導体制を整備する
		《目標11》教育の未来環境を整備する
		《目標12》安全・安心で充実した教育環境を実現する

《基本的な考え方》
Ⅰ 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます
Ⅱ 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます
Ⅲ 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

▶施策 1) 人と関わる力を身に付ける活動の充実 2) 道徳教育の充実 (点を大切に教育の推進)	3) 読書教育の推進
▶施策 1) 幼児期における教育の推進 2) 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進	3) 情報教育の推進 4) 学校間の連携の推進
▶施策 1) 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進 2) 食育の推進 3) 体力向上の取組の推進	
▶施策 1) キャリア教育・職業教育の推進 2) 地域と企業との連携推進	
▶施策 1) 学校・地域と連携・協働した家庭の教育力の向上	2) 学校・家庭と連携・協働した地域の教育力の向上 3) 家庭・地域と連携した学校の活性化
▶施策 1) “自分らしく輝くための学び”の機会の充実 2) 学校卒業後における障がい者の学びの支援 3) 図書館機能を活用した学習活動の充実	4) 博物館などの活用を通じた学習活動の推進 5) 公民館を活用した地域の学習拠点づくり 6) 文化財の保護と活用
▶施策 1) 特別支援教育の推進 2) 教育的支援が必要な子どもへの対応 (不登校児童生徒や日本国籍者が少ない児童生徒など) 3) 夜間中学の充実	4) 学校教育における学力保障・道徳支援、子ども・福祉関係部署等との連携の強化 5) 教育費負担の軽減に向けた経済的支援 6) 地域の教育資源の活用
▶施策 1) 外国語教育の推進 2) 国際理解のための学習の推進 3) 青少年の海外交流支援	4) 地域の歴史や文化に関する教育の推進
▶施策 1) 新しい地域づくりに向けた学びの場づくりの創出	2) 地域を支える人材の育成と“自分らしく輝くための学び”の成果活用 3) 生涯学習と体験活動の充実
▶施策 1) 地域とともにある学校づくりの推進 2) 特色ある学校運営（教育課程づくり） 3) 教職員の仕事力の向上	
▶施策 1) 教育のICT環境整備 2) 教職員のICT活用能力の向上	
▶施策 1) 子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取組の推進 2) いじめ、暴力行為などへの対応や、子どもや保護者を支援する相談体制の強化	3) 放課後の子どもの居場所づくりの推進 4) 防災教育の推進 5) 安全・安心で質の高い教育環境の整備

方針2

“自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

年齢、性別、国籍、経済事情、障がいの有無等に関わらず、人には無限の可能性があります。よりよい人生、よりよい社会にしていけるために、誰もが社会の一員として自立し、社会に主体的に参画できるようにすることが必要です。

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて主体的に活動できるよう、多様な教育的ニーズに的確に応えられる体制づくりも必要です。

そのために、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりの中で、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習“自分らしく輝くための学び”の環境の実現を目指します。

そして、夢や希望を持ち、自らの個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭や地域と連携し、個に寄り添った支援の充実や、地域の多様な教育資源を効果的に活用するなどの取組を進めます。また、豊かな地域社会をつくるためには、地域の教育力の向上を図るとともに、学んだ成果を地域社会に還元する、学びと活動の循環を促進します。

さらに、多様な学習のニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効活用を進めます。また、地域にある大学と連携することにより、交流活動や学びの場を広げます。

目標 6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設けていますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

▶施策

1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実

一人一人が生涯にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的に行います。

- 【主な事業】
○公民館主催講座活動事業
○いちかわ市民アカデミー講座

2 学校卒業後における障がい者の学びの支援

市川市が設置している特別支援学校には高等部がありますが、学校卒業後も自立に向けて生涯を通して学べるよう、ニーズを的確に捉え、関係機関との連携を図り、教育やスポーツ、文化等のさまざまな学習機会を充実させます。

- 【主な事業】
○日曜大学との連携
○公民館の活用

3 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{*1}の充実、図書館ネットワーク^{*2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

^{*1} レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。
^{*2} 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

- 【主な事業】
○蔵書構築事業

4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

博物館の持つさまざまな機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を推進します。また、子どもの学習活動を支援するため、博物館などの社会教育施設と学校との連携を図ります。

- 【主な事業】
○博物館調査研究・保存事業
○博物館教育普及事業
○博物館運営基本方針の運用（博物館運営事業）
○博物館の体験学習を支援するボランティアの養成
○博物館企画展事業

5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり

地域の学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効利用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し、連携することで地域に密着した公民館運営を推進します。

- 【主な事業】
○公民館主催講座活動事業

6 文化財の保護と活用

市川市の自然・風土・歴史・文化的遺産を貴重な学習資源と捉え、学校の体験学習や生涯学習など、幅広い教育活動に活用します。また、市内に残る貴重な文化財を未来の子どものために継承するため、市川市文化財指定基準に基づき、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護を図ります。

- 【主な事業】
○博物館の活用の推進（文化財を活用した博物館事業）
○指定文化財維持管理費補助金事業
○史跡公有化事業及び史跡維持管理事業

施策

成果指標	現状	目標 (計画開始年度)	関連施策 (目標・施策)
「地域には学ぶ場と機会（文化活動やスポーツ活動を含む）が十分にある」と回答する人の割合	17% (平成30年度)	30%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがある」と回答する人の割合	36% (平成30年度)	50%	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「生涯学習に関する情報提供が十分である」と回答する人の割合	今後把握	平成31年度の 実績より増	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6
「学校卒業後に学習やスポーツ、文化等の活動の機会が確保されている」と回答する障がい者の割合	今後把握	平成31年度の 実績より増	6-2

参考指標	現状
生涯学習をしたことがある場所や形態の把握	公民館 47% 図書館 23% 学校 23% (平成30年度)
公民館が学校や地域と連携した講座数	103件
文化財資料の延べ利用回数	3,274回

資料（２）

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市生涯学習推進計画

第四次【平成27年度～平成31年度】



平成27年4月 市川市教育委員会



いつも新しい流れがある いちかわ

グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会への対応を図る
生涯学習推進「6つの方向性」

（１）市民の学習ニーズに対応した 生涯学習の環境づくり

- 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
- ライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 地域支援活動を目指す人材の育成

（２）ネットワークの充実

- 行政内の情報交換、事業面での連携強化
- 高等教育機関・NPO・民間企業等を含めたネットワークの連携強化
- 育成した地域支援人材とコーディネーター、社会貢献活動を計画する団体等との連携強化

（３）自然・風土・歴史・文化的資産の保護と活用

- 市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いでいくため、学習資源としての活用を推進

（４）家庭教育支援

- 保護者の学びを支援する体制の充実
- 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進

（５）学校教育支援

- 家庭・学校・地域の連携強化
- 児童生徒の社会体験・生活体験の充実

（６）地域活動支援

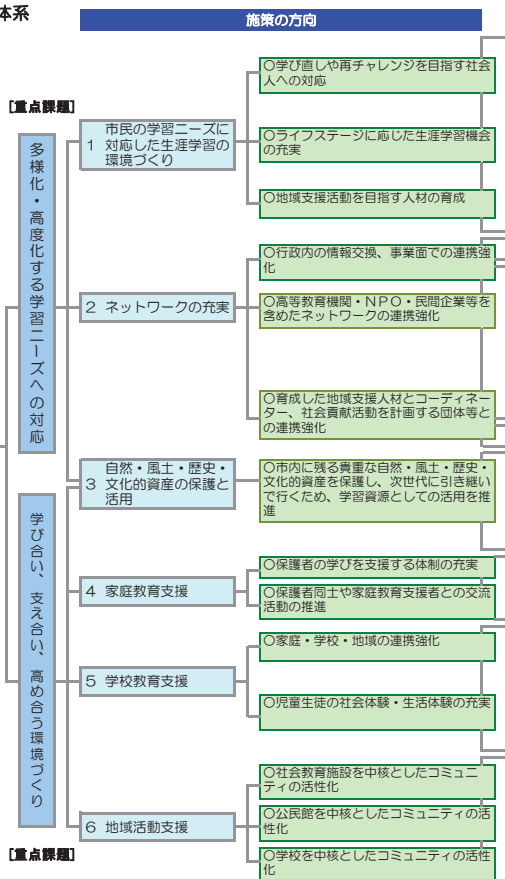
- 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
- 公民館を中核としたコミュニティの活性化
- 学校を中核としたコミュニティの活性化

多様化・高度化する
学習ニーズへの対応

高め合う環境づくり
学び合い、支え合い

10

4 推進の体系



主な取り組み/学習機会	関連する取り組み/学習機会
1-4 学校支援実践講座 1-8 学校施設開放 1-13 子ども育成会 1-14 青少年指導者育成 1-19 市民アカデミー 1-20 公民館主催講座 1-22 観察会・散策会 1-24 教育普及 1-25 身体メンテナンス 1-26 自然講座 1-27 野草の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動 1-32 レファレンスサービス 1-39.45 縄文体験フェスティバル	3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講演会 5-1.3.4 各種関係団体の育成・支援 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談・啓発 8-1 スポーツ指導者育成 8-4 健康スポーツ教室 8-6 スポーツ推進負担金 8-8 大会等派遣参加費用補助 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-1 家庭教育学級 1-12 青少年相談員連絡協議会 1-19 市民アカデミー 1-36.38.42.44 教育普及 1-37.39.43.45 縄文体験・フェスティバル 1-40.46 広報活動 5-2 情報提供 5-3.4 各種関係団体の育成・支援 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 7-3 子ども発達相談室 8-2 スポーツ推進委員会活動 8-7 体育協会補助	1-3 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講演会 5-1 各種関係団体の育成・支援 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談・啓発 7-1 すこやか応援隊 7-2 ことども館 8-1 スポーツ指導者育成 8-6 スポーツ推進負担金 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-5 史跡公園化 1-6 指定文化財維持管理 1-21 指定文化財管理 1-22 観察会・散策会 1-23.24.36.38.42.44 教育普及 1-25 身体メンテナンス 1-26 自然講座 1-27 野草の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動	1-29.30.31 少年自然の家 1-34 地産地消推進 1-35.41 展示事業 1-37.39.43.45 縄文体験・フェスティバル 4-1 東山稲刈記念会 4-2 文芸ミュージアム 4-3 市川市文化人脈・収蔵作品展 4-4 市史編さん 4-5 街回遊展 4-7 文化の街か回遊マップ
1-1 家庭教育学級 1-18 少年相談 3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講演会 7-2 ことども館	1-3 コミュニティサポート 1-9 体験学習 1-29.30.31 少年自然の家 1-33 子どもの読書
1-2 社会教育活動助成 1-3 コミュニティサポート 1-4 学校支援実践講座 1-9 体験学習 1-16 少年健全育成 1-17 環境美化啓発 1-20 公民館主催講座 1-21 常設展・企画展 1-23 教育普及	1-29.31 少年自然の家 1-33 子どもの読書 2-1 学習支援推進 2-2 校内・まなびくらぶ 2-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発事業 7-4 中高年保育ボランティア 8-5 スポーツ推進団体補助 8-8 大会等派遣参加費用補助
1-3 コミュニティサポート 1-10 コミュニティクラブ 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-20 公民館主催講座 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 1-39.45 縄文体験フェスティバル 1-40.46 広報活動 3-2 人権啓発講演会 8-3 スポーツ振興	1-1 家庭教育学級 1-2 社会教育活動助成 1-4 学校支援実践講座 1-8 学校施設開放 1-16 少年健全育成 1-19 市民アカデミー 1-24 教育普及 2-1 学習支援推進 2-2 校内・まなびくらぶ 3-1 男女共同参画センター講座
1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-32 レファレンスサービス 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室	1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-30 自然の家 1-32 レファレンスサービス 7-1 すこやか応援隊 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室
1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-32 レファレンスサービス 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室	1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-30 自然の家 1-32 レファレンスサービス 7-1 すこやか応援隊 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室
1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-32 レファレンスサービス 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室	1-1 家庭教育学級 1-11 子ども読書推進 1-15 少年指導員 1-18 少年相談 1-25 身体メンテナンス 1-30 自然の家 1-32 レファレンスサービス 7-1 すこやか応援隊 7-2 ことども館 7-3 子ども発達相談室

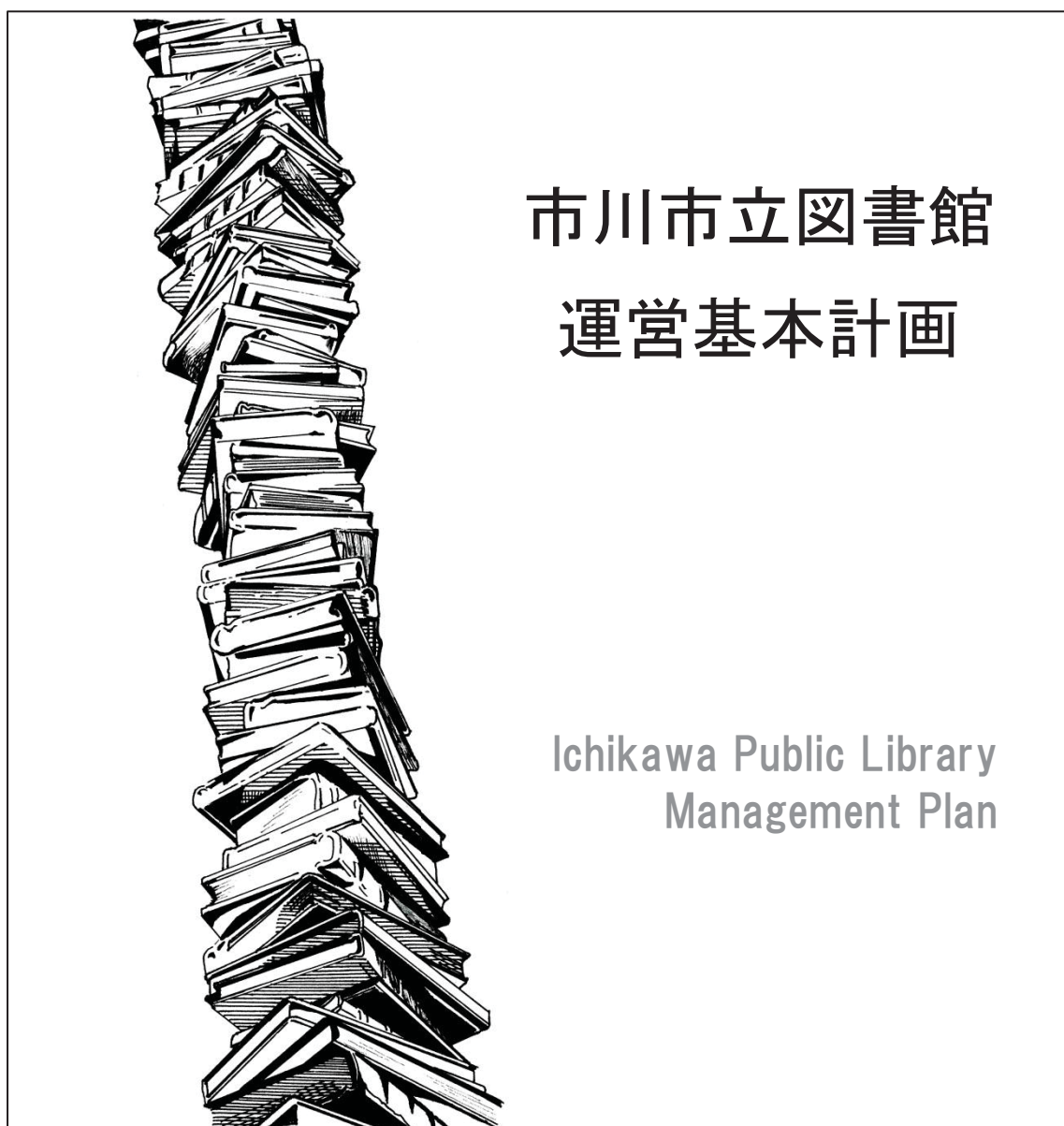
事業名	1-32 レファレンスサービス (中央図書館)	
事業概要	市民の学習要求に応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行い、市民の生涯学習活動を支援する。また市内の大学図書館や県立図書館、国会図書館等とも連携し、市民や行政、議会の課題解決のための調査・研究に努める。	
◎ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	◎ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
○ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 各資産の保護と学習資源としての活用
○ (5) 学校教育支援	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	○ 保護者の学びを支援する体制の充実
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
◎ (6) 地域活動支援	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度	30年度
事業推進目標	・市民の学習活動の充実について、社会情勢や生活の変化に応じた市民ニーズを把握して図書館資料を収集する。 ・レファレンスサービスについて、司書のレファレンス技量の向上に努め、市内外の図書館等との連携を強化し、市民の学習要求、調査研究に努める。 ・レファレンスの事例について、「レファレンス記録集」を作成、職員間で情報共有し、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに事例を提供する。	※31年4月検証
成果指標	レファレンス事例集及びレファレンスツール（パスファインダー等）の発行	
実績・目標値	25年度実績 発行	30年度目標 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名	1-33 子どもの読書活動推進事業 (中央図書館)	
事業概要	子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような児童書を収集・研究し、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施する。読書離れが著しい中高生に対しても、本を紹介しイラスト等の募集を行う等、図書館を調べ学習や情報提供の場として提供する。また教育センターや学校、子育て支援課など他部署と連携・協働し、児童サービスの拡大を図る。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
○ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 各資産の保護と学習資源としての活用
◎ (5) 学校教育支援	◎ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	◎ 保護者の学びを支援する体制の充実
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
◎ (6) 地域活動支援	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度	30年度
事業推進目標	・ブックリストについて、子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなものを子どもの発達段階に応じて作成し、市内の小学校や図書館来館者に配布する。 ・学校図書館支援について、市内公立小中学校に対象年齢に応じたセット貸出を行うなど、教育センターや学校図書館との連携を強化する。	※31年4月検証
成果指標	ブックリスト、読み聞かせの会、福袋、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための取り組み	
実績・目標値	25年度実績 実施	30年度目標 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名	1-34 地域行政資料の収集・保存と活用 (中央図書館)	
事業概要	地域の歴史や文化を後世に伝えるために、市川市及び千葉県に関する資料を、行政各部署や市民団体等と連携して、幅広く収集し、保存する。また市民の学習資源として広く活用できるように整理し、積極的な情報発信をも行う。市民の生涯学習の成果である市民の著作物については、「市民文庫」として収集する。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
○ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 各資産の保護と学習資源としての活用
○ (5) 学校教育支援	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	○ 保護者の学びを支援する体制の充実
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
◎ (6) 地域活動支援	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化	◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度	30年度
事業推進目標	・市民の著作物について、寄贈を呼びかけ積極的な収集を図り、図書館資料として保存する。 ・地域資料の収集・整理について、地域の資料や情報を蓄積し、貴重な資料の劣化防止のため電子化を推進する。	※31年4月検証
成果指標	地域行政資料の蔵書冊数	
実績・目標値	25年度実績 51,022冊	30年度目標 55,000冊 30年度達成数 ※31年4月確認



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

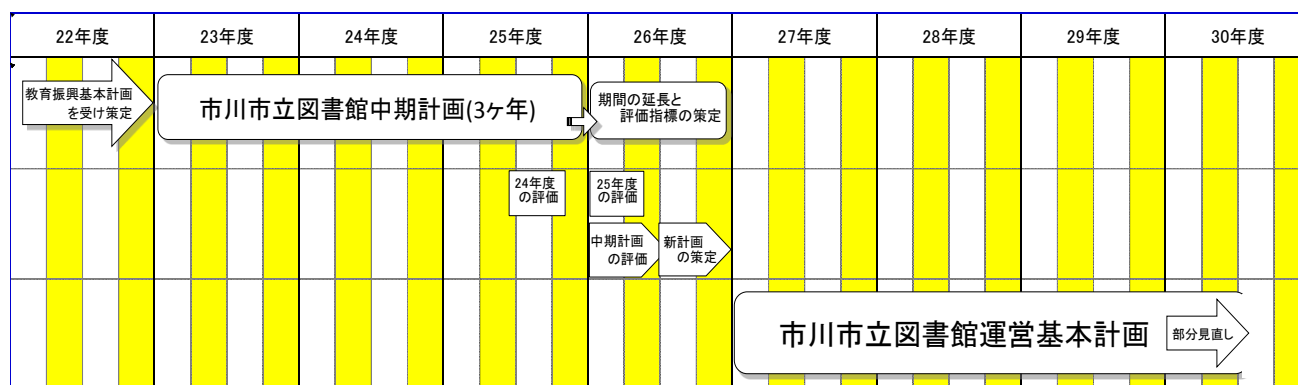
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

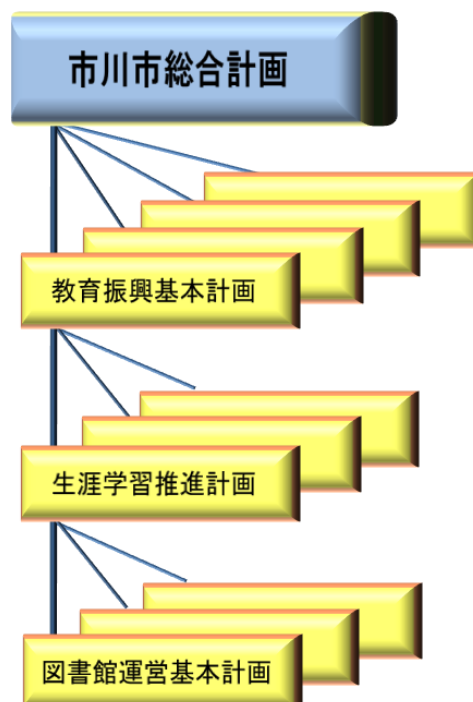
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

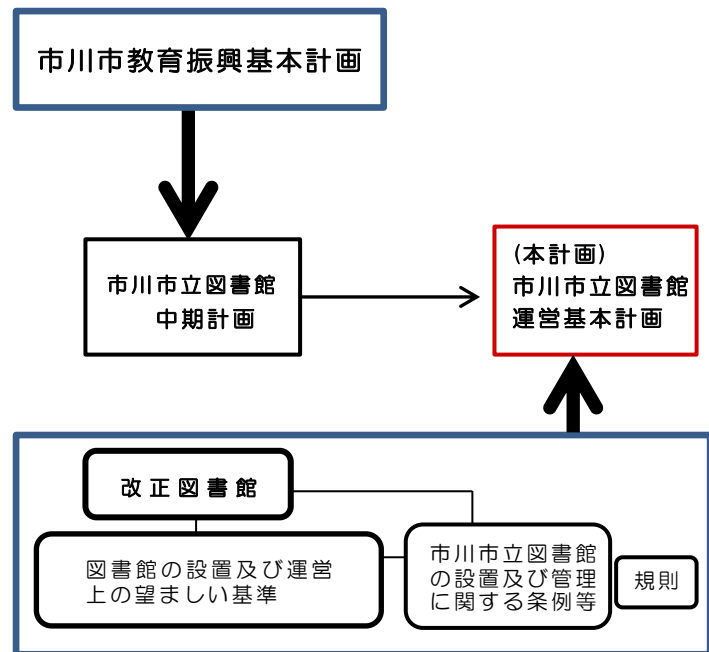
「図書館法」（昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正）の平成20年（2008）の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年（2012）に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24（2012）年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期		内 容
平成 26 年	2月13日	策定方針についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
	4月3日	策定方針について（議決）（定例教育委員会議）
	4月23日	策定方針についての意見聴取（関係各課）
	9月26日 ～10月6日	e-モニターの実施
	10月25日	計画（素案）についての意見聴取（図書館ボランティア）
	11月15日 ～12月14日	計画（素案）についての意見聴取（パブリックコメント）
	11月20日	計画（素案）についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
平成 27 年	2月5日 ～3月6日	パブリックコメント実施結果公表
	2月5日	計画（案）について（定例教育委員会議）
	2月12日	計画について（報告）（市川市社会教育委員会議）
	4月	「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書斎」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学附属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3ヵ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組むことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報入手するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

（３）今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

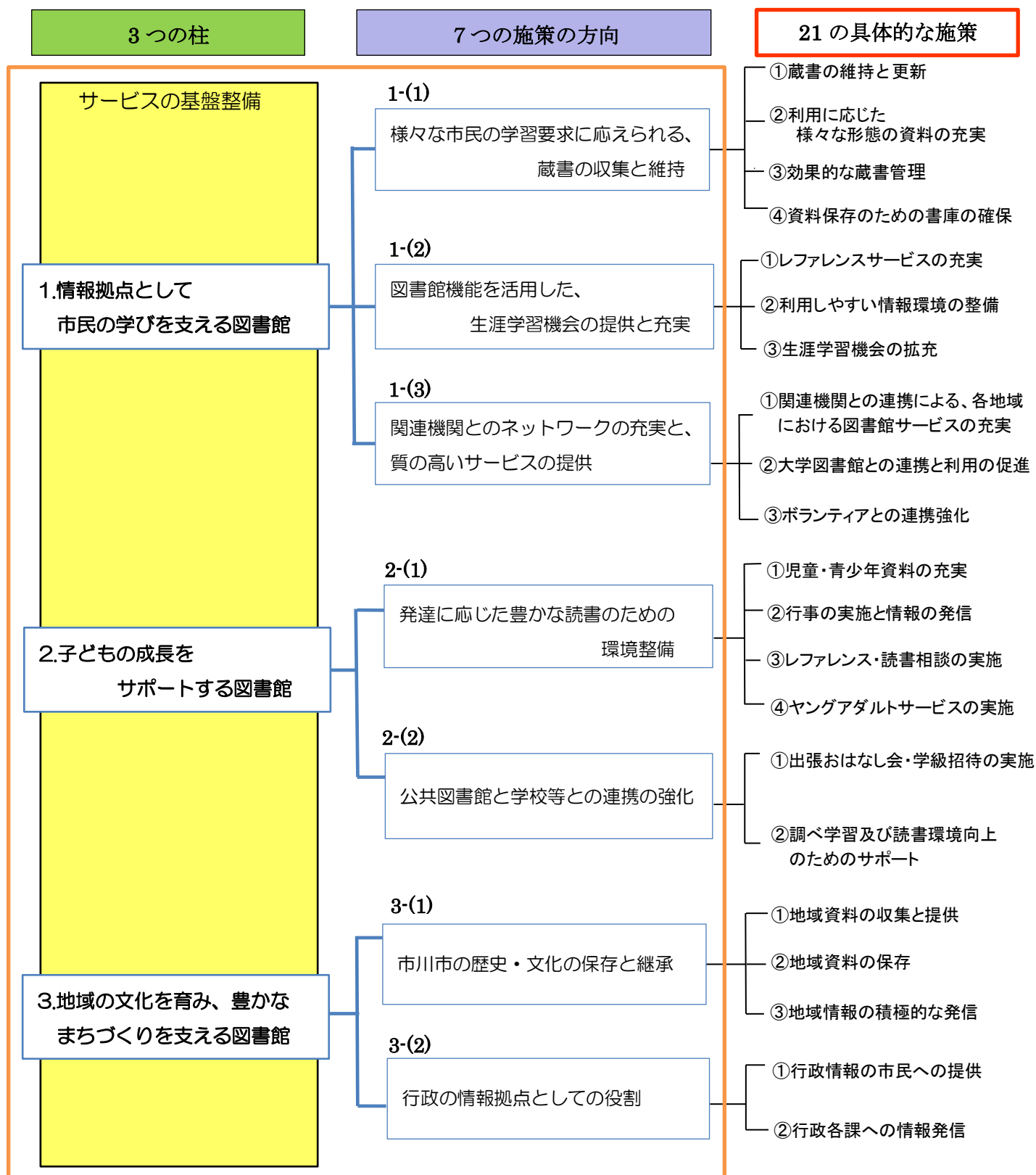
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。
これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

（１）「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

①蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

②利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的に行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

（１）「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

（２）「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書の更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実に努めます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1)「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

(2)「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

市川市立図書館運営基本計画 第二次実施計画（平成 30 年度～平成 32 年度）

市川市立図書館運営基本計画（平成 27 年策定）で掲げた 3 つの柱の下、7 つの「施策の方向」と 21 の「具体的な施策」に基づき、平成 30 年度～平成 32 年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげる PDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行なうため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の受入（購入と寄贈の合計冊数）		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	50,000 冊	50,000 冊	50,000 冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障害の特性に応じた資料の収集と目録の整備

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 図書館資料への IC タグ貼付及び IC 機器導入と、全館的な IC タグによる蔵書管理の実施

数値目標等	IC 機器による蔵書管理への移行		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	図書館資料への IC タグ貼付	IC 機器の導入	IC タグによる 蔵書管理の実施

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供 **生涯学習推進計画**

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(パスファインダー等)の発行		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	継続発行、発展	継続発行、発展	継続発行、発展

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進

数値目標等	図書館利用登録者数の拡大		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

実施事業 2 北部地域の図書館サービスの充実

実施事業 3 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、 質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの充実

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障害者サービス関連のボランティアと連携した、障害者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	継続的な資料の受入(購入と寄贈の合計冊数)		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信 **生涯学習推進計画**

数値目標等	ブックリスト、読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	継続実施及び拡大	継続実施及び充実	継続実施及び充実

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

実施事業 3 中学・高校生へのヤングアダルトサービスの PR

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの拡大

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理 **生涯学習推進計画**

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	55,000 冊	前年度比増	前年度比増

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 著作権保護期間満了の資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

資料（３）－２

平成 30 年度 市川市立図書館評価報告書

令和元年 12 月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」(昭和 25 年法律第 118 号) 第 7 条の 3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年文部科学省告示第 172 号)、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」(平成 21 年教育委員会規則第 6 号) 第 1 条の 2 及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」(平成 6 年教育委員会規則第 9 号) 第 2 条に基づき、平成 30 年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第 3 章 実施計画編(平成 30 年度～令和 2 年度)の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、平成 30 年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7 つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合して A～D の 4 段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3 つの柱」についての取り組みを 4 段階評価で表した。(3 つの柱と 7 つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7 を参照)

実施内容	評価
十分達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。)	A
概ね達成できた。(目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。)	B
やや不十分だった。(実施したが、十分な成果をあげることができなかった。)	C
不十分だった。(実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。)	D

4. 自己評価結果

平成 30 年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の 3 つの柱のうち「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」は、全ての目標を達成することができ A 評価となった。特に、地域行政資料については積極的な収集を行い、利用者アンケートでは地域行政資料に対して高い満足度が示された。「情報拠点として市民の学びを支える図書館」「子どもの成長をサポートする図書館」の 2 つについては、市民の学習要求に応えられる資料の選定を行ったが、購入単価の上昇等の要因により、資料の受け入れ冊数が目標値に及ばなかったため B 評価となった。

全体としては、7 つの施策の方向のうち 3 つが A 評価、4 つが B 評価であったため、30 年度の目標は概ね達成でき、一定の成果をあげたといえる。

5. 平成 30 年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙

外部有識者 2 名(図書館情報学)から、平成 30 年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

平成 30 年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評 価	☐ A〔十分達成できた〕	☒ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
-----	-------------------------------------	--	--------------------------------------	------------------------------------

資料の受入冊数については目標値に届かなかったが、西部公民館図書室の蔵書管理を市立図書館と一元化したことで、北西部地域の利便性の向上を図ることができた。また、図書館情報システムの更新に伴う新たな合理化や機械化を実現するなど、ICT の活用を通じたサービスの深化・拡充を図ることができた。

今後予定している全館的な IC タグによる資料管理を見据え、中央図書館の保存機能を意識した資料の選定や適正な蔵書の維持に努めるとともに、連携やイベントなどの機会を活用した図書館の利用の拡大を引き続き進めていく。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評 価	☐ A〔十分達成できた〕	☒ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
-----	-------------------------------------	--	--------------------------------------	------------------------------------

児童・青少年資料や学校向け貸出資料の受入冊数は目標値に届かなかったものの、新たな参加・体験型イベントの実施、小学生 1 年生向け利用案内や郷土に関するパスファインダーの作成・配布等、児童・ヤングアダルト世代に対するサービスを積極的に展開し、概ね目標を達成した。

今後も、学校や地域と連携したイベントを企画・実施し、本の魅力をより多くの子どものに伝えていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評 価	☒ A〔十分達成できた〕	☐ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
-----	--	-------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------

地域行政資料の収集や電子化、地域情報データベースの更新を行う等、様々な媒体によるサービスの充実に努め、全項目で目標を達成した。新たにデジタルアーカイブシステムを導入し、電子化した地域行政資料を館内 Web-OPAC で公開することで、地域情報の積極的な発信に努めた。また、行政各部署と連携した行事や展示を行い、行政情報を市民に提供することができた。

今後も、地域の文化を後世に伝えるために地域資料の電子化を継続して行い、積極的な地域情報の発信を図る。

30 年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1ー(1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持(購入と寄贈の合計冊数)	50,000冊	42,513冊	B
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・導入の検討	導入	
	・障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備	DAISY 図書の目録の作成	DAISY 図書の目録の作成(墨字版)	
③効果的な蔵書管理	・図書館資料への IC タグの貼付及び IC 機器導入と、全館的な IC タグによる蔵書管理の実施	図書館資料への IC タグ貼付	IC タグの貼付(約 70 万冊)	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用	可動式書庫の活用	可動式書庫の活用	

実績と評価	蔵書の受入れ冊数は目標値の約 85%(大野・西部公民館除く)であった。図書館としての保存に耐えうるような資料選定を心がけたこと等により購入単価が増加したことが一因としてあげられる。 館内 Web-OPAC にデジタルアーカイブシステムを導入し、電子化した資料の館内公開を開始した。また、効果的な蔵書管理として、平成 31 年度の中央図書館への IC 機器導入に向け、中央図書館と信篤図書館の蔵書へ IC タグの貼付・登録を行った。
課題	限りある予算を有効に利用するため、的確な資料選定を継続して行うとともに、様々な形態の資料の充実を図り、適切な蔵書管理を全館で進めていくことが課題である。
方向性	図書館全体で市民の学びを支えられるよう、引き続き各図書館の役割やニーズを意識した資料の選定を行う。中央図書館が地域図書館の蔵書面での支援を行い、市全体としての蔵書のバランスを考慮した調整を図る。 IC による蔵書管理を全館で展開していくほか、媒体にとらわれない情報資源の整備についても引き続き検討していく。

施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の提供	継続発行・発展	継続発行・発展 (15回)	B
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施	実施(222点)	
	・市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備	実施	実施充実	
③生涯学習機会の拡充	・中央図書館及び地域図書館の特性を活かしたサービスの拡充とPRIによる利用の促進(図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度29,201人)	29,095人	
	・北部地域の図書館サービスの充実	実施と周知	実施充実	
	・イベントの開催や地域イベントへの参加・協力	実施	実施(20回)	

実績と評価

レファレンスは全館で約 63,000 件の受付・回答を行い、中央図書館は地域館のバックアップも行った。
また、12 月の図書館情報システム更新に伴い、座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システム等の新規導入や、図書館 WEB ページの機能拡充など、利用環境・情報環境の整備を図った。
図書館利用の促進を図り、地域イベントに参加したほか、新たに大柏川ビジターセンターで自動車図書館車を用いた図書館のPR活動を行い、図書館登録者数を目標値に近づけることができた。また、3 月より西部公民館図書室の蔵書管理をバーコード化し、市立図書館と一元化した貸出・返却、蔵書検索、予約等が可能となったことに加え、同室で図書館利用券の発行を開始したことが、北西部地域の図書館サービスの充実につながった。

課題

利用者向け案内の整備や図書館の活用についてのPRを進める必要がある。利用登録者数拡大のため、来場者を惹きつけるイベントの工夫が課題である。

方向性

今後予定されている中央図書館での自動貸出機等の導入により、利用者サービスの向上を目指すとともに、図書館の利用を促進するため、イベントの開催や広報活動を引き続き積極的に行っていく。

施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの充実	実施	実施	A
②大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施 (153件)	
	・市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進	実施	実施	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施(3名)	
③ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	実施	実施(5回)	
	・障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施	実施(31点)	

実績と評価

大学図書館との連携では、市川駅南口図書館が千葉商科大学大学付属図書館で行った「出張登録会」で 100 名を超える市立図書館利用券の新規登録者があったことに加え、紹介状の発行も 150 件を超え、大学図書館との相互利用の拡大がみられた。また、和洋女子大学の学生の図書館見学会を今年も継続して実施したほか、平成 30 年度は新たに同大学から講師を招聘して講座「だしの力」を開催した。講座のアンケートでは「役に立つ内容だった」と回答した参加者が 100%となり好評を得た。

課題

今後も継続して公民館等、関連施設と連携をとりながら、各地域におけるサービス内容の整理を進めていく必要がある。

方向性

大学や関連施設との連携により、各地域における図書館サービスの拡充と地域住民の利便性の向上を目指す。また、ボランティアとの連携を強化し、より質の高い図書館サービスの提供に努めていく。

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-1「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新	受入れ冊数 (9,000冊)	受入れ冊数 (8,824冊)	B
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施及び拡大	継続実施及び拡大	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備	実施	実施拡大	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施継続	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(10回)	
	・中学・高校生へのヤングアダルトサービスのPR	実施	実施充実	

実績と評価

資料の充実については、乳幼児向けや調べ物の本の買い替えを重点的に行った。

イベントは、「英語の絵本の会」や謎解きゲーム「名探偵ホームズと挑戦」等を新たに開催した。また、情報発信として、利用案内「としょかんへいってみよう！」を市内公立小学校の1年生全員に配布して図書館の利用促進に努めた。また、レファレンスの多い「市川の海苔」のパスファインダーを作成し、調べ学習に役立つと好評を得た。

ヤングアダルトサービスとして、「YA 図書館脱出ゲーム」や「YA ハロウィン！コスプレフォトツアー」など参加型イベントを開催し、ヤングアダルト世代の図書館への来館を促した。市内中学・高校生が自主的に図書館PR活動をするYサポ活動を20回実施し、図書館とつながるきっかけ作りになると同時に、中高生が同世代に向け図書館の情報を発信することで、世代に合った効果的なPRを展開することができた。

課題

児童書の単価が上昇している中、子どもたちが興味を見出せる資料をいかにバランスよく購入していくかが課題である。また、小学生を対象とした読み聞かせの会について参加者の定着を図るため、開催日や時間、内容面等を検討していく必要がある。

方向性

子どもの発達に応じた魅力のあるイベントを実施することで、子どもたちやヤングアダルト世代が読書に親しむ機会を提供していく。また引き続き、子どもと本を結びつけるブックリストやパスファインダー等を発行し、子どもの読書活動を支援していく。

施策の方向 2-2「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施充実	実施充実 (41回)	B
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	参加・協力	参加・協力 (資料依頼件数517件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	前年度比増 (前年度129冊受入れ)	107冊	
	・外部機関等と連携した児童・青少年サービスの拡大	拡大充実	拡大充実 (19回)	

実績と評価

出張おはなし会は、小学校・幼稚園・特別支援学校で内容の充実を図りながら継続して行っていることに加え、新たに中学校でも実施しサービスの幅を広げることができた。

前年度から引き続き教育センター主催の学校図書館研修会に図書館職員が講師として参加したほか、大和田小学校図書室で行われた読み聞かせの研修で図書館職員が講師を務めるなど、「学校図書館支援センター事業」や学校図書館への協力も積極的に行っている。連携事業は、自然博物館と共催した毎年好評の「きょうだけ生き虫ずかん」や、環境政策課共催の「こどもととしょかん環境デー」を行い、昆虫の観察や雲に関する実験、打ち水体験を通して子どもの科学への興味を引き出すことができた。また新たに、いちかわ真間川堤桜まつり実行委員会と連携し、「いちかわ真間川堤桜まつり」でえほんの読み聞かせ会を開催し、連携の幅を広げた。

課題

学校図書館向け貸出資料については内容の更新を図り、多様化する調べ学習の要求にこたえられる資料を充実させていく必要がある。

方向性

出張おはなし会では、図書館の利用につながるようおすすめの本の紹介や利用券登録の案内を行い図書館の利用につなげていく。また中学校への出張サービスの定着を図る。調べ学習に対応していくため、学習指導要領に沿って計画的な資料の更新に努める。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-1「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理	蔵書冊数 (55,000冊)	蔵書冊数 (59,383冊)	A
②地域資料の保存	・著作権保護期間満了の資料の電子化	実施	実施 (10点)	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域情報の追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数の目標値に達した。中央図書館の利用者アンケートにおいても、「地域情報資料の充実について」の満足度が 91%と非常に高い数値となっている。

著作権保護期間が満了した、京成電鉄の沿線案内や古い地図を中心とした資料 10 点の電子化を行った。電算システムの更新に伴い、中央図書館と行徳図書館の館内 Web-OPAC に新たにデジタルアーカイブシステムを導入し、電子化した資料の館内公開を行った。

図書館ホームページでは、「市川の音楽」のページを更新し、市川市に関連する音楽について情報を集約し、地域情報の積極的な発信に努めた。

課題

地域行政資料を永く保存していくための十分なスペースの確保と資料の劣化対策を計画的に進めることが課題となっている。収集保存している資料について、広く市民が利用できる環境を整備する必要がある。

方向性

地域行政資料の積極的な収集と受入れに努め、引き続き資料の充実を図る。資料の劣化対策として著作権保護期間満了の資料の電子化を進め、デジタルアーカイブシステムで館内公開するコンテンツの充実を図るとともに、図書館ホームページの地域資料データベースを活用した電子化資料の公開についても検討していく。

施策の方向 3-2「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	内容充実	内容充実 (18回)	A
	・市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布	継続充実	継続充実 (販売118点)	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信	実施	実施 (12回)	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、前年度に引き続き、地域支えあい課、環境政策課等と実施したほか、新たに伊能忠敬記念館(香取市)との連携展示を行った。地域支えあい課との連携展示「認知症を知ろう」では、展示期間中、課の担当職員を講師とした「認知症サポーター養成講座」を開催した。講座には幅広い年齢層の参加があり、市民の関心の高い行政情報を提供することができた。また、千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」展では、千葉県立中央博物館で所蔵のパネル展示に加え、市川市内に本社のある京成電鉄株式会社所有の資料や図書館所蔵の古い鉄道関連資料もあわせて展示し、内容の充実を図ることができた。展示期間中には 887 人が来場、会期中にギャラリートークも実施した。来場者からは「興味深かった」「内容が濃く勉強になった」という声が多く寄せられた。

また、庁内各課へ向けた情報発信として、各部署での政策研究に活かせるよう、調べ方案内やレファレンス事例等を発信した。

課題

図書館が行政の情報拠点として活発に利用されるために、行政各部署と連携し、市民生活に役立つ地域行政情報を分かりやすく発信していくことが課題である。行政各部署へ向けて、図書館サービスについての定期的な PRを行い、更に連携を強化していく必要がある。

方向性

関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画するほか、身近な行政情報を市民に積極的に提供していく。図書館の活用法を行政各部署に PRし、地域の課題解決やまちづくりに活かせるよう情報発信していく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

- ・西部公民館図書室の蔵書管理が市立図書館と一元化され、全域サービスの課題となっていた北西部地域の利便性が向上したことは高く評価できます。中央図書館との緊密な連携、あるいは分館化を推進していくことが今後の課題となると考えます。また、館内 Web-OPAC にデジタルアーカイブシステムを導入し、電子化資料の館内公開を開始したことも、当初予定の調査及び導入の検討から進捗を早め、発信型図書館の取組みを推進したものとして評価できます。館外からのアクセスも可能となるように、コンテンツの拡大とともに更なる充実が期待されます。蔵書の受入れ冊数が目標値の 85%にとどまったことは残念でしたが、次代への保存に耐える資料選定のために、購入単価の増加が一因となったことは理解できます。具体的にどのような資料に選定の重点が移行したのかは不明ですが、より合理的な調達の方法や必要な資料の寄贈依頼なども含め、蔵書構築に一層の工夫を求められると思います。全国的にも先進的な活動を展開してきたレファレンスサービスや、市内の大学との連携については、市川市立図書館の強みとして、引き続き、質の高いサービスの拡充を進められるよう望みます。
- ・資料の受入冊数は目標値に達していないが、適切な資料選定による単価の上昇などによるものであり、「量」と「質」のバランスを確保していることから、必ずしもマイナスに評価すべきではない。また、デジタルアーカイブシステムによる資料へのアクセス環境の向上や IC タグによる管理・利用効率の向上は、さらに進展させてほしい。レファレンスの受付・回答が 6 万件を超え、身近な相談の場として、図書館が市民にしっかりと受け入れられていることがわかる。また、システム更改に伴う機能拡充や公民館図書室の一元管理による利用範囲の拡大など、利便性の向上も生涯学習を支える基盤として重要である。イベント開催やイベント参加・協力や広報・PR の工夫などを通して、図書館の認知・利用がさらに広がっていくことを期待したい。なお、予定されている自動貸出機の導入を含め、ICT の利用を促進していくことによって、図書館の資源を人的なサービスのさらなる拡充に向けていくことを望みたい。関連機関との連携については、出張登録会や、学生の見学、講師の招聘など、人的な交流が展開されていることを評価したい。利用者ニーズを踏まえながら、連携の対象を適切に拡大・選択していくことが望まれる。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

- ・児童・青少年資料と学校図書館向け貸出資料が、目標値の受入冊数にわずかに届かなかったものの、児童書の単価が上昇している中、乳幼児向けや調べる本の買い替えに重点を置いたことは、児童書の特性や利用の状況を踏まえたものとして首肯できます。子どものためのサービスは、市川市図書館の特長であり、英語の絵本やゲームを用いた活動、学びに資する資料の作成が、これまでと同様に展開されていることは立派です。特に注目すべきは、ヤングアダルト向けの参加型イベントで、必ずしも参加者は多くなかったものの、たいへん面白い試みであり、目先を変えつつも継続的な実施が強く求められます。今後は、身体表現(音楽、演劇、ダンス等)を伴った活動も視野に入れると、新たな展開が可能かもしれません。中学・高校生のボランティアによる Y サが活動と併せ、図書館ならではのヤングアダルトに対する居場所づくり、仲間づくりの場として、読書との接点を提供されるよう望みます。学校図書館との連携も、全国的に知られる市川市図書館の大きな特長です。出張おはなし会を小学校から中学校に拡大し、また、市の他部署とコラボした連携事業も引き続き実施され、図書館活動の間口の広さに感心します。ブックトークやビブリオバトルなど、読書にさまざまな活動を加えながら、学校との密な関係が維持されるよう願っています。
- ・1. でも触れたとおり、図書館資料は「量」のみでなく「質」も重要である。また、資料を所蔵していることのみでなく、資料が利用されることも重要である。児童・青少年資料の受入冊数は目標に届かなかったが、発達段階に応じた適切な資料選択や資料利用を促進する謎解きゲームなどのイベントの工夫によって、施策の方向性を踏まえたサービスが展開されていると受け止めることができる。とりわけ、ヤングアダルトを対象としたイベント、PR・情報発信を積極的に実施している点は、読書離れが言われる同世代への働きかけとして、ブックリストやパスファインダーなどといったツールによる支援も継続的になされる点とあわせて、高く評価できる。出張おはなし会、実験・体験活動、読み聞かせ会など、関係機関・地域と多様な連携の機会をつくり出していることは着目すべきである。子どもたちが主役となる機会づくりを今後も進めていくことが期待される。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

- ・図書館の地域資料は、その図書館のレベルを示すもので、収集・整理・保存・提供のそれぞれにおいて特別な対応が必要となります。蔵書冊数の目標値を達成し、利用者アンケートの結果でも満足度が 91%となったことは、継続的な努力の成果であると高く評価できます。また、資料の電子化も 10 点にとどまっていますが、市の他の文化施設と連携し、全市的な取組みのなかで、図書館としての役割を果たしていただいていると思います。地域の行政資料も、公立図書館にとって重要なもので、地方公共団体が設置者であることの根拠を示すものとなります。行政情報の市民への提供は、これまででも行事や展示の活動によって活発に展開され、庁内での図書館の位置づけが明確になっていることが伺われます。一方で、行政支援としての各課への情報発信は、やや影が薄い印象を与えます。図書館が本庁から距離的に離れ、行政事務に図書館資料が必ずしも必要とされないのかもしれませんが、まずは市民への広報の前線基地として、図書館を庁内各課に利用してもらうことが現実的であるように思われます。地域資料・行政資料の取り扱いとそのサービス活動は、市川市図書館の役所としての力量を示しており、図書館らしい図書館の王道をいっていると解せます。市民にも市職員にも、サービスの成果を劇的に実感してもらうのは容易ではありませんが、これからも地道に取り組まれることを念じています。
- ・行政資料を含めた地域資料の収集・提供・保存は、公立図書館が地域における中核的な機能を担う重要なサービスである。目標とする蔵書冊数を達成するほか、資料の電子化と公開を進めるなど、着実な取り組みがなされている。今後も公立図書館としての役割を踏まえ、積極的な資料収集とともに、電子化・公開によるアクセス機会の向上をさらにめざすことを期待したい。行政各部門・関連団体との連携や行政各部門への情報発信など、行政の情報拠点として充実した取り組みがなされている。展示や講座は来場者の評価も高く、今後も継続していくことによって、市川の文化の継承に相応の役割を果たすことが望まれる。図書館として「資料」「情報」に関わる取り組みを軸としつつ、関連団体を含めた市民の力とうまく融合させた取り組みが増えていくことを期待したい。

総 評

・自己評価は妥当であると考えます。ただし、目標値や結果に具体的な数値や状態が示されていないものも少なくないので、適切な評価であることを客観的に見える化していくことが望まれます。

市川市図書館は、全国的にも高度なサービスを展開しており、活動実績を維持していただけても大変な努力が要求されていると思います。幸いにも、市役所全体の理解、関係諸機関の協力、ボランティア活動を始めとする市民の支援もあって、たいへん良い図書館運営が続いています。図書館サービスの「不易」なところは、愚直なまでに基本にのっとり一方、さまざまな環境変化がもたらす「流行」のところは、前例にとらわれずにチャレンジしていくことが大切であると考えます。

・三つの柱に対して、妥当な自己評価がなされている。全国的に見ても、公立図書館としてたいへん充実したサービスが展開されており、職員・関係者の努力に敬意を表したい。図書館の「内向き」な取り組みではなく、行政・学校・団体を含めた地域との連携・協力が充実している点は、地域の情報拠点、生涯学習の拠点としての公立図書館として望ましい方向であると受け止められる。とはいえ、職員・関係者を含めて、限られた資源のなかで今後も図書館の活動を拡充していくためには、活動に利用者がさまざまななかたちで「参加」していくような仕組み(利用者協働)をさらに発展させていくことが期待される。

行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代が25.4%と最も多く、続いて30代、50代の順となっている。期間中に行ったリサイクルブック市の参加者にも回答をいただいているため、利用者層の結果にも反映されているものと考えられる。居住地別では回答者の95.8%が市内在住者であり、職業別では会社員・公務員が最も多く40.6%であった。



問1 行徳図書館の利用目的について

問1では行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数334人。複数回答可)
最も多かった回答は「本や雑誌を借りる」で76.6%だった。「館内で、本・新聞・雑誌などを読む」が39.2%で昨年より5.5ポイント増加し2番目となった。続いて「子どもの本を借りる」が36.5%の順となった。「調べものや資料調査・相談をする」は5.4%に留まっているため、調べものに関する資料の更なる充実や職員のレファレンス対応の向上に努めたい。

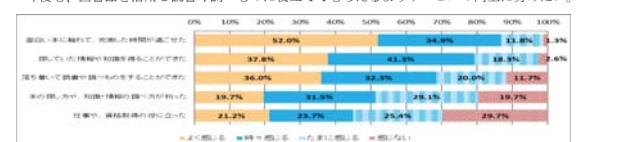


質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・中高生対象資料)を借りる	256	76.6%
館内で、本・新聞・雑誌などを読む	131	39.2%
子どもの本を借りる	122	36.5%
図書などの予約申し込み・受取りをする	120	35.9%
リサイクルブック市などへの参加	99	29.6%
CDやDVD・ビデオを借りる	78	23.4%
2F・3Fの座席を利用する	45	13.5%
4F閲覧室を利用する	38	11.4%
調べものや、資料調査・相談をする	18	5.4%
パソコンルーム(持込パソコン・電卓)を利用する	13	3.9%
特に目的はない	4	1.2%
その他(あまり利用していない)	1	0.3%

5

問2 図書館を利用した成果

「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」が98.7%、「探していた情報や知識を得ることができた」が97.4%と非常に多かった。「落ち着いて読書や調べものをすることができた」と感じている人も9割近くいることがわかった。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	167	52.0%	112	34.9%	38	11.8%	4	1.3%	321
探していた情報や知識を得ることができた	118	37.8%	129	41.3%	57	18.3%	8	2.6%	312
落ち着いて読書や調べものをすることができた	108	36.0%	97	32.3%	60	20.0%	35	11.7%	300
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	58	19.7%	93	31.5%	86	29.1%	58	19.7%	296
仕事や、資格取得の役に立った	59	21.2%	66	23.7%	71	25.4%	83	29.7%	279

問3・4 行徳図書館の満足度

問3と問4では、行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。「満足」や「やや満足」を合わせた満足度は、「自動貸出機の利用について」が最も高く95.5%となった。また、「職員の対応」についても95%で高い数値を示した。「図書館でのイベントについて」や「特集展示について」の満足度は昨年度より下がっているため、利用者の知的関心を引くような企画を考えていきたい。
「図書の充実(全般)」についての満足度は72.8%となり、一昨年、昨年と比較して年々満足度が高くなってきている。また、「地域・行政資料の充実」については84.6%であった。資料については引き続き計画的な収集を図り、魅力ある棚づくりに努めていく。
総合的な満足度は93.1%となり、昨年度とほぼ同じ結果となった。今後もサービスの向上に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
自動貸出機の利用について	190	66.0%	85	29.5%	11	3.8%	2	0.7%	288
職員の対応について	198	61.9%	106	33.1%	13	4.1%	3	0.9%	320
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・おはなし会など)	73	40.8%	85	47.5%	19	10.6%	2	1.1%	179
特集展示について	35	23.8%	93	63.3%	17	11.6%	2	1.3%	147
本の案内・調べもの相談について	57	34.6%	85	51.6%	21	12.7%	2	1.2%	165
図書館の施設・設備について	113	35.0%	162	50.2%	39	12.0%	9	2.8%	323
地域・行政資料の充実について	30	24.4%	74	60.2%	17	13.8%	2	1.6%	123
子どもの本の充実について	62	33.5%	94	50.8%	27	14.6%	2	1.1%	185
蔵書検索システムの使いやすさについて	83	33.5%	112	45.2%	41	16.5%	12	4.8%	248
図書の充実について(全般)	64	20.1%	168	52.7%	71	22.2%	16	5.0%	319
総合的な満足度	157	47.3%	152	45.8%	22	6.6%	1	0.3%	332

6

問5. 自由記入

調査票335 記入者97 未記入238 (記入率29%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	25	一般書、児童書とともに蔵書を充実してほしいとの要望が多い。
2 AV資料に関する記入	4	CDやDVD資料を増やしてほしいとの要望。
3 施設に関する記入	13	トイレなどの施設や椅子などの備品の老朽化や空調について改善を求める意見のほか、お茶を飲んだりくつろげるところを、との希望があった。
4 座席に関する記入	10	フロア内や閲覧室の座席数を増やしてほしいとの要望や、椅子や仕切りについての要望あり。
5 ITに関する記入	15	Web システムの使い勝手の良さ悪しに関する意見がほぼ同数であった。その他電子図書の導入や館内全域でのフリーWiFiの導入を希望する意見もあった。
6 マナーに関する記入	5	新聞を数紙独占する人を見かける、居眠りをしているなど。
7 職員に関する記入	6	親切で助かっているというお褒めの言葉が多い。忙しそうで声がかけづらいという声もあった。
8 運営に関する記入	22	面白い企画展示を期待している、リサイクルブック市いつも楽しみ、お正月の福袋おもしろかったなど。開館時間の延長希望あり。
9 感想	14	年々図書館の改善が進んでいて良い。充実した時間で幸せなど感謝のことば多数。
10 その他の記入	0	

7

信篤図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

今回のアンケートでは、50代の利用が31.9%と最も多く、次に40代が25%と続き、この2つの年代で5割以上を占めている。居住地別では、市内在住者が9割以上を占め、市外在住者(船橋市)は5.6%だった。他の地域館に比べ市外在住者の割合が高い。職業別では、会社員・公務員が41.7%と最も多く、次いでパート・アルバイト、主婦、無職という結果になった。



問1 信篤図書館の利用目的について

問1では信篤図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数73人。複数回答可)
最も多かったのは、「本を借りる」で91.8%となった。続いて「図書などの予約申込み・受取をする」が52.1%、「子どもの本を借りる」が27.4%という順になった。昨年と同様、「館内で本・新聞・雑誌等を読む」「座席を利用する」を選択した人は少なく、子どもの本も含め、貸出と予約本の受取に利用されていることがわかった。

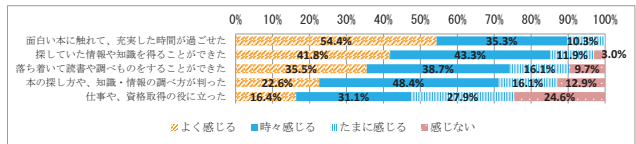


質問	選択数	割合
本(大人・学生対象資料)を借りる	67	91.8%
図書などの予約申込み・受取をする	38	52.1%
子どもの本を借りる	20	27.4%
館内で本・新聞・雑誌等を読む	17	23.3%
座席を利用する	11	15.1%
調べ物や、職員へ読書相談をする	8	6.8%
リサイクルブック市への参加	0	0%
特に目的はない	0	0%
その他	0	0%

8

問 2. 図書館を利用した成果

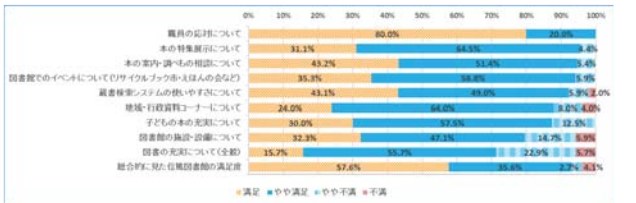
全員が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じた事が有ると回答している。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も 97%となった。引き続き、図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	37 54.4%	24 35.3%	7 10.3%	0 0%	68
探していた情報や知識を得ることができた	28 41.8%	29 43.3%	8 11.9%	2 3.0%	67
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	22 35.5%	24 38.7%	10 16.1%	6 9.7%	62
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	14 22.6%	30 48.4%	10 16.1%	8 12.9%	62
仕事や、資格取得の役に立った	10 16.4%	19 31.1%	17 27.9%	15 24.6%	61

問 3・4 信濃図書館の満足度

問 3と問 4では信濃図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「職員の対応」は全員が「満足」「やや満足」と回答している。続いて「本の特集展示」「本の案内・調べもの相談」がほぼ同率で約 95%となった。一方、「図書館の施設・設備」については、施設の高さから満足度が他の項目に比べて低くなっている。また、「図書の実態(全般)」の満足度も昨年のアンケートより 4.5 ポイント下がり 71.4%に留まっている。今後予定している IC タグによる蔵書管理に向けて、資料の更新を図り、魅力ある資料構成に努めたい。
総合的な満足度は 93.2%となった。今後も更に満足度が上がるよう、サービスの向上に努めていきたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の対応について	50	80.0%	14	20.0%	0	0%	0	0%	70
本の特集展示について	14	31.1%	29	64.5%	2	4.4%	0	0%	45
本の案内・調べもの相談について	16	43.2%	19	51.4%	2	5.4%	0	0%	37
図書館でのイベントについて (リサイクルブック市・えほんの会など)	12	35.3%	20	58.8%	2	5.9%	0	0%	34
蔵書検索システムの使いやすさについて	22	43.1%	25	49.0%	3	5.9%	1	2.0%	51
地域・行政資料コーナーについて	6	24.0%	16	64.0%	2	8.0%	1	4.0%	25
子どもの本の充実について	12	30.0%	23	57.5%	5	12.5%	0	0%	40
図書館の施設・設備について	22	32.3%	32	47.1%	10	14.7%	4	5.9%	68
図書の充実について(全般)	11	15.7%	39	55.7%	16	22.9%	4	5.7%	70
総合的に見た信濃図書館の満足度	42	57.6%	26	35.6%	2	2.7%	3	4.1%	73

問 5. 自由記入

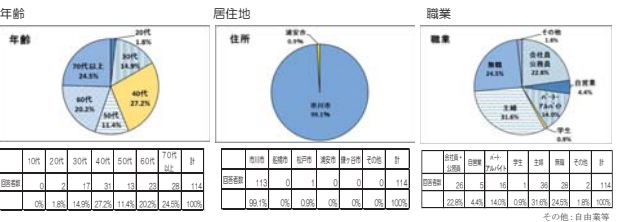
調査票 73 記入者 14 未記入 59 (記入率 19.2%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) IT に関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	3	新刊を多めにしてほしい。本の量が少ないなど。
2 A V 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	6	施設の老朽化を指摘する声やトイレの整備についての要望が多く、階段を登るのが大変と言う声も。
4 座席に関する記入	1	席数が少なく落ち着かない。
5 IT に関する記入	2	蔵書検索方法がより細かく絞れるようにしてほしいなど。
6 マナーに関する記入	1	子どもに静かにする場所と教えているので、立ち話している人を注意してほしい。
7 職員に関する記入	2	職員は親切で丁寧で好感がもてる。職員に対するお礼。
8 運営に関する記入	2	開館時間の延長の要望。隣接市利用者の予約を受付けないのが不便。
9 感想	2	気軽に利用できる。小さいが駅近で便利。
10 その他の記入	0	

南行徳図書館 アンケート結果

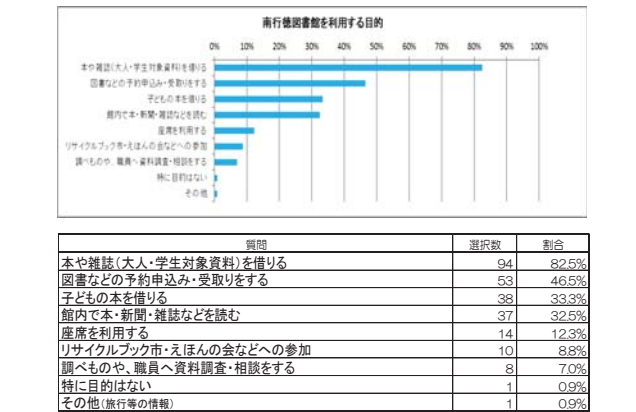
年齢・居住地・職業について

40 代の利用が 27.2%と最も多く、続いて 70 代以上が 24.5%、60 代が 20.2%とシニア層が全体の 44.7%を占めている。居住地では 99.1%が市内に在住者である。職業別では、主婦が 31.6%と最も多く、次に無職、会社員・公務員という結果になった。



問 1. 南行徳図書館の利用目的について

問 1では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数 114 人。複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で 82.5%となり、次に「図書などの予約申込み・受取りをする」が 46.5%である。続いて「子どもの本を借りる」が 33.3%となり、「館内で新聞・雑誌などを読む」が 32.5%と続く。本を借りることを主目的としている利用者が多数である。



問 2. 図書館を利用した成果

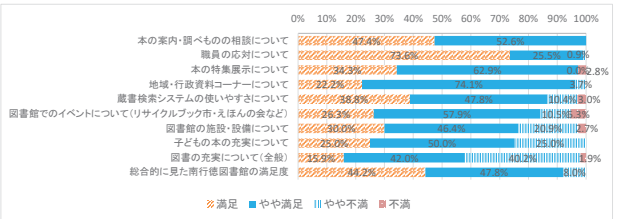
97.3%の回答者が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたと答えている。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と 90%以上の人が回答している。今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	46	41.4%	16	14.5%	3	2.7%	111		
探していた情報や知識を得ることができた	40	40.0%	35	35.0%	17	17.0%	8	8.0%	100
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	28	30.1%	18	34.4%	20	21.5%	13	14.0%	79
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	19	21.9%	29	33.3%	21	24.1%	18	20.7%	87
仕事や、資格取得の役に立った	9	10.8%	18	21.7%	21	25.3%	35	42.2%	83

問 3・4 南行徳図書館の満足度

問 3と問 4では、南行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「本の案内・調べもの相談について」が最も高く 100%となった。「職員の対応について」の満足度が 99.1%となり昨年度より 0.3 ポイント上がった。これらに比べ、「図書館の施設・設備」や「図書の充実」「子どもの本の充実」については若干満足度が低くなっている。
総合的な満足度は 92%となり、一定の満足度は得られている。今後も資料の更新を図るなど、なおよ一層サービスの向上に努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計		
本の案内・調べもの相談について	18	47.4%	20	52.6%	0	0%	38
職員の対応について	78	73.6%	27	25.5%	1	0.9%	106
本の特集展示について	12	34.3%	22	62.9%	0	0%	34
地域・行政資料コーナーについて	6	22.2%	20	74.1%	1	3.7%	27
蔵書検索システムの使いやすさについて	26	38.8%	32	47.8%	7	10.4%	67
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・えほんの会など)	10	28.3%	22	57.9%	4	10.5%	38
図書館の施設・設備について	3	30.0%	61	46.4%	23	20.8%	97
子どもの本の充実について	12	25.0%	24	50.0%	12	25.0%	58
図書の充実について(全般)	17	17.5%	45	42.0%	43	40.2%	105
総合的に見た南行徳図書館の満足度	50	44.2%	54	47.8%	0	0.0%	113

問 5. 自由記入

調査票 114 記入者 32 未記入 82 (記入率 28.1%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	14	蔵書を増やしてほしいという要望が多い。
2	A V 資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	6	スペースの充実、リニューアルの要望、コピー機の設置の要望あり。
4	座席に関する記入	1	もう少し座れる場所が欲しい。
5	I T に関する記入	2	検索システムが使いたい。
6	マナーに関する記入	0	
7	職員に関する記入	4	職員が親切。
8	運営に関する記入	3	開館時間の延長。
9	感想	6	ありがとうございます等のお礼。
10	その他の記入	1	南行徳市民センターに新聞・雑誌コーナー設置や予約図書受取の希望あり。

平田図書室 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

回答者の属性については、今回は前年に比べると 40 代、50 代が増えた。居住者別では前年同様、市内在住者がほとんどである。職業別では、主婦が 3 割を占め、次いで会社員・公務員、無職の順となった。



問 1. 平田図書室の利用目的について

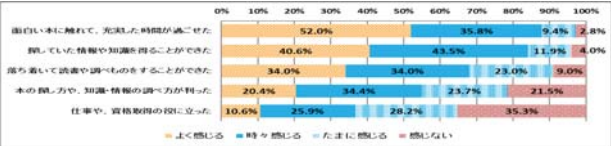
問 1 では平田図書室の利用目的について尋ねた。(回答者 112 人、複数回答可)
最も多かったのは「本や雑誌を借りる」で 90% を超えた。次の「図書などの予約申込み・受取りをする」が 48.2%、続いて「子どもの本を借りる」が 26.8%、「館内で新聞・雑誌等を読む」が 24.1% となっている。「リサイクルブック市への参加」が昨年より 8.5 ポイント増えているが、これはアンケートの実施時期がリサイクルブック市の開催日だったからだと考えられる。



質問	選択数	割合
本や雑誌(大人・学生対象資料)を借りる	101	90.2%
図書などの予約申込み・受取りをする	54	48.2%
子どもの本を借りる	30	26.8%
館内で本・新聞・雑誌等を読む	27	24.1%
リサイクルブック市への参加	19	17.0%
調べものや、職員へ資料調査・読書相談をする	14	12.5%
座席を利用する	8	7.1%
特に目的はない	1	0.9%
その他(初めて訪問)	1	0.9%

問 2. 図書館を利用した成果

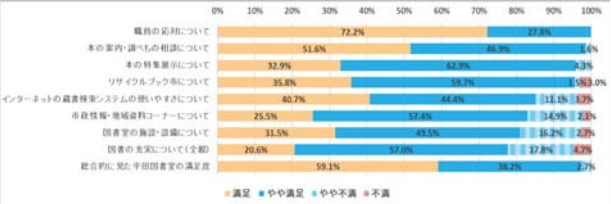
回答者の 9 割以上が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」「探していた情報や知識を得ることができた」「落ち着いた情報や調べものをすることができた」と、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	55	52.0%	38	35.8%	3	2.8%	106		
探していた情報や知識を得ることができた	41	40.6%	44	43.5%	12	11.9%	4	4.0%	101
落ち着いた情報や調べものをすることができた	34	34.0%	34	34.0%	23	23.0%	9	9.0%	100
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	19	20.4%	32	34.4%	22	23.7%	20	21.5%	93
仕事や、資格取得の役に立った	9	10.6%	22	25.9%	24	28.2%	30	35.3%	85

問 3・4 平田図書室の満足度

問 3 と問 4 では平田図書室のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が 100% を得られた。「本の案内・調べもの相談」も 98.6% と非常に高かった。他の項目に比べ「図書室の施設・設備」「図書の充実(全般)」については満足度が低く、総合的な満足度は 97.3% となっている。
規模の小さい図書室であるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に努めている。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の応対について	78	72.2%	30	27.8%	0	0%	0	0%	108
本の案内・調べもの相談について	33	51.6%	30	46.9%	1	1.6%	0	0%	103
本の特展展示について	23	32.9%	44	62.9%	3	4.3%	0	0%	100
リサイクルブック市について	24	35.8%	40	59.7%	1	1.5%	2	3.0%	103
インターネットの蔵書検索システムの使いやすさについて	33	40.7%	36	44.4%	9	11.1%	3	3.7%	101
市政情報・地域資料コーナーについて	12	25.5%	27	57.4%	7	14.9%	1	2.1%	95
図書室の施設・設備について	35	31.5%	55	49.5%	18	16.2%	3	2.7%	111
図書の充実について(全般)	22	20.6%	61	57.0%	19	17.8%	5	4.7%	117
総合的に見た平田図書室の満足度	65	59.1%	42	38.2%	3	2.7%	0	0%	110

問 5. 自由記入

調査票 110 記入者 24 未記入 84 (記入率 23.6%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

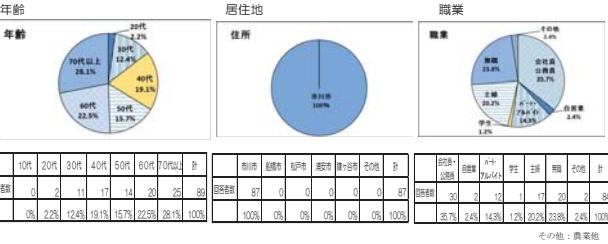
	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	3	
2	A V 資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	7	エレベーター、除菌機設置の希望があった。
4	座席に関する記入	2	
5	I T に関する記入	2	フリーW i f i 導入の希望や中央図書館のような検索システム利用の希望があった。
6	マナーに関する記入	1	本の書き込みやシミが残念。
7	職員に関する記入	4	古い新聞もリサイクル市に回してほしいという要望。開館時間の延長や開館日を増やしてほしいという要望があった。
8	運営に関する記入	8	
9	感想	5	近くに住んでいるので利用しやすい、ゆったりしているとの声があった。
10	その他の記入	1	中央図書館や行徳図書館のリサイクルブック市について。

大野公民館図書室 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

年齢は、70代以上が28.1%と最も多く、続いて60代の22.5%となり、この二つの世代で昨年は全回答者の7割近くを占めていたが、今年は約5割となった。50代は5.3ポイント増え15.7%、40代は9.9ポイント増え19.1%、30代は3.2ポイント増え12.4%になった。

居住地別では回答者すべてが市内在住者であった。職業別では、会社員・公務員が35.7%で最も高く、無職の23.8%、主婦の20.2%が続いた。



問 1. 大野公民館図書室の利用目的について

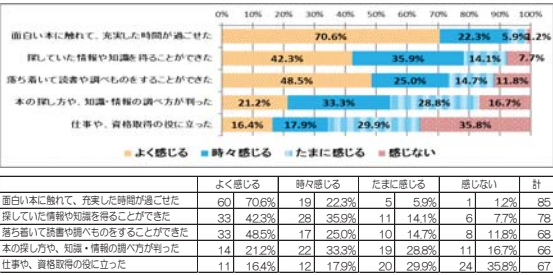
問 1 では大野公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数 90 人。複数回答可)

最も多かったのは、「本を借りる」で 90% となり、それ以外の利用は半数を下回った。一方、「公民館の講座・集会参加の際に立ち寄る」という回答は 3.3% にとどまった。



問 2. 図書室を利用した成果

回答者の 98.8% が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたと答えている。また、92.3% が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答、88.2% が「落ち着いた気持ちで読書や調べものをする事ができた」と回答している。今後も図書室を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらうよう、サービスの向上に努めたい。

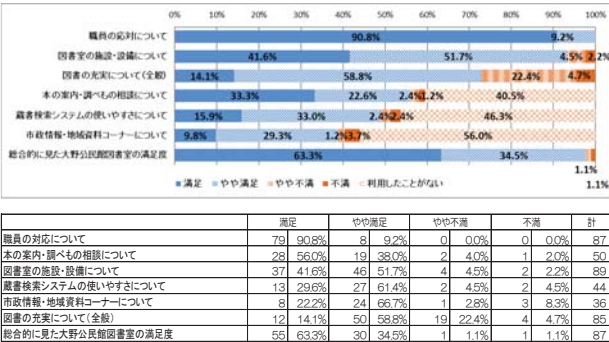


問 3・5 大野公民館図書室の満足度

問 3 と問 5 では、大野公民館図書室のサービスについての満足度を尋ねた。

‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は、「職員の対応」が 100% を得られた。続いて「本の案内・調べもの相談」が 94% となった。これらと比較すると「図書の充実」については、72.9% と低くなっているが、昨年より 19.8 ポイント高くなっている。

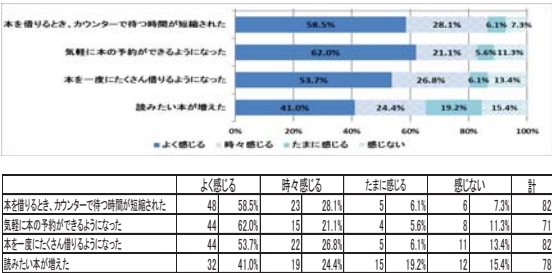
総合的な満足度は 97.8% と高い数値となった。今後も引き続きこの満足度を保てるよう、北部地域における図書館サービスの充実に努めたい。



問 4. 貸出方法の変更について

問 4 では、平成 28 年 12 月から大野公民館図書室での貸出がバーコードによる方法に変更になったことで、以前と比べて感じることを尋ねた。

回答者の 92.7% が「カウンターで待つ時間が短縮された」と感じたと答えている。また、9 割弱が「気軽に本の予約ができるようになった」「本を一度にたくさん借りるようになった」と感じる回答し、「読みたい本が増えた」と感じている人も 84.6% となった。問 4 の全ての項目でポイントが増えている。



問 6. 自由記入

調査票 90 記入者 24 未記入 66 (記入率 26.7%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

(1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入

(4) 座席に関する記入 (5) I T に関する記入 (6) マナーに関する記入

7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	8	蔵書数を増やしてほしいという要望が多くあった。
2 A V 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	0	
4 座席に関する記入	1	自習やスマホ利用にきている人がある。学生の自習室になっていて読書しにくい時がある。
5 I T に関する記入	2	ネットでの予約の仕方がわからない人に声をかけてほしい。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	3	職員の対応が丁寧で気持ち良く利用できるなど。
8 運営に関する記入	3	開館日を中央図書館と同じに、購入希望の受付をしてほしい。ネット予約 20 冊までにしてほしいなど。
9 感想	7	近所にあり便利という意見が多く、本をかりる機会が多くなったなどの好印象の意見が多い。
10 その他の記入	0	

資料（５）

市民要望（平成 30 年度）

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式Webサイトの『市民の意見箱』投稿フォーム、及び図書館ホームページの各ページにある「各課問い合わせフォーム」から、広報広聴課が「市民の声システム」として受付けている。

そのほか、各図書館に直接寄せられる要望として、「利用者の声」投稿箱があり、窓口での要望も様式に書き留めている。

市民要望・内容分類別	件数
「質問」 …利用案内、施設案内等について	39
「意見」 …対応の違い・悪さ、間違い等について	48
「苦情」	14
「要望」 …現状実施していないことに対して	21
「その他」 …情報提供、相談、宣伝、許諾など	14
合計	136

市民要望・内容詳細別	件数
運営に関すること	25
資料に関すること（寄贈・レファレンスを含む）	26
システムに関すること（ホームページ含む）	58
施設に関すること（備品を含む）	14
職員に関すること（接遇・手続きミスを含む）	6
その他	7
合計	136

※市川駅南口図書館分 57 件は除く

30 年度は、12 月のシステム更新に伴う意見や要望が様々寄せられたが、今までのご意見・要望で実現できたこと（⇒で表示）もいくつかある。

システムに関すること

- Web の貸出延長受付時間の拡大 ⇒24 時まで
- 自分の貸出履歴の参照 ⇒履歴を残すか否かを選ぶ。

- ビジネスルームの利用について、市外にもケーブルを貸して欲しい ⇒座席管理システムを導入し、有線ケーブルとマニュアルを室内に配置
- シリーズ予約について説明がわかりにくい
- スマホを図書館利用券とする機能について、もっと PR して欲しい。
- 開館時間をホームページトップに載せて欲しい。⇒表形式で掲載
- 読書通帳機の導入について

運営に関すること

- 休館日について
- 開館時間について
- 公民館での予約図書受け取りについて（菅野・本行徳）
- 駅近くに図書館施設が欲しい。（本八幡駅・南行徳駅）
- 絵本の読み聞かせをボランティアにもさせて欲しい

資料に関すること

- 県立図書館所蔵本の借用（大野公民館図書室）
- Web での新刊図書の購入希望について
- 関連施設での新刊図書の購入希望について

職員に関すること

- ウィズでの視聴覚資料返却が不可の説明について
- 本を返却した際の汚れについて追及された

施設に関すること

- 洋式トイレの整備について
- 中央図書館にバイク置き場が欲しい
- 花壇の整備に御礼

市 川 市 の 図 書 館

2 0 1 9

令和2年（2020）1月発行 第1版 ￥200

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内

T E L 047（320）3333（機械音声応答）

047（320）3346（直通）

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/index.html>
